

「治安に関する県民意識調査」 〈データ〉

秋田県警察マスコット



まもるくん



あいちゃん

平成26年10月

秋田県警察本部

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性について	2
III	調査結果	
1	秋田県の治安について	3
2	秋田県警察の印象について	4
3	安全で安心なまちづくりについて	22
4	広報広聴について	38
5	犯罪被害者支援について	47
6	交通安全対策について	49
7	警察の施設について	52

I 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、県民の皆様から県内の治安状況や警察活動についてのご意見、ご要望などをお聞きし、その結果を今後の警察活動に反映させていくために、実施したものです。

(2) 調査の項目

- a 秋田県の治安について
- b 秋田県警察の印象について
- c 安全で安心なまちづくりについて
- d 広報広聴について
- e 犯罪被害者支援について
- f 交通安全対策について
- g 警察の施設について

(3) 調査の方法

- a 調査対象 秋田県内の各市町村に居住する満 20 歳以上の男女
- b 対象者数 2,000 人
- c 抽出方法 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
- d 調査方法 郵送による調査票の配布及び回収
- e 調査期間 平成 26 年 7 月 18 日（金）～同年 8 月 29 日（金）
- f 調査委託先 一般財団法人 秋田経済研究所

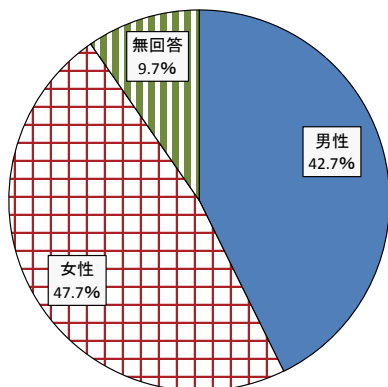
(4) 回収の結果

調査票送付数	(A)	2,000 件
総回収数	(B)	1,090 件
	有効回収数	(C) 1,087 件
	無効回収数	3 件
回収率	(B/A)	54.50%
有効回収率	(C/A)	54.35%

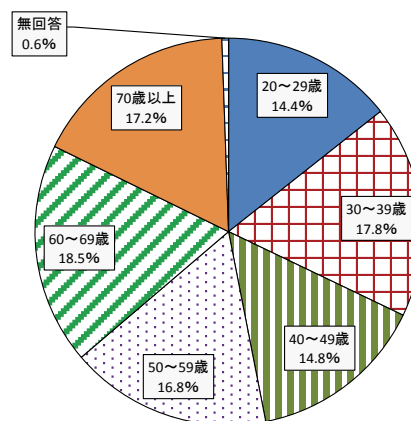
Ⅱ 回答者の属性について

属性—性別、年齢、お住まいを管轄する警察署

(1) 性別



(2) 年齢



性別および年齢階層

(単位:人、%)

	合計	年齢							無回答
		20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
全体	1,087	14.4	17.8	14.8	16.8	18.5	17.2	0.6	
性別	男性	10.6	12.1	16.6	18.5	22.2	19.8	0.2	
	女性	12.2	15.6	16.2	18.7	18.9	18.3	0.0	

(3) お住まいを管轄する警察署

(単位:人、%)

	人数	割合
鹿角警察署	49	4.5
大館警察署	77	7.1
北秋田警察署	41	3.8
能代警察署	91	8.4
五城目警察署	76	7.0
男鹿警察署	33	3.0
秋田市内3警察署	286	26.3
秋田臨港警察署	69	6.3
秋田中央警察署	109	10.0
秋田東警察署	86	7.9
不明	22	2.0
由利本荘警察署	88	8.1
にかほ警察署	20	1.8
大仙警察署	124	11.4
仙北警察署	24	2.2
横手警察署	102	9.4
湯沢警察署	62	5.7
無回答	14	1.3
合計	1,087	100.0

Ⅲ 調査結果

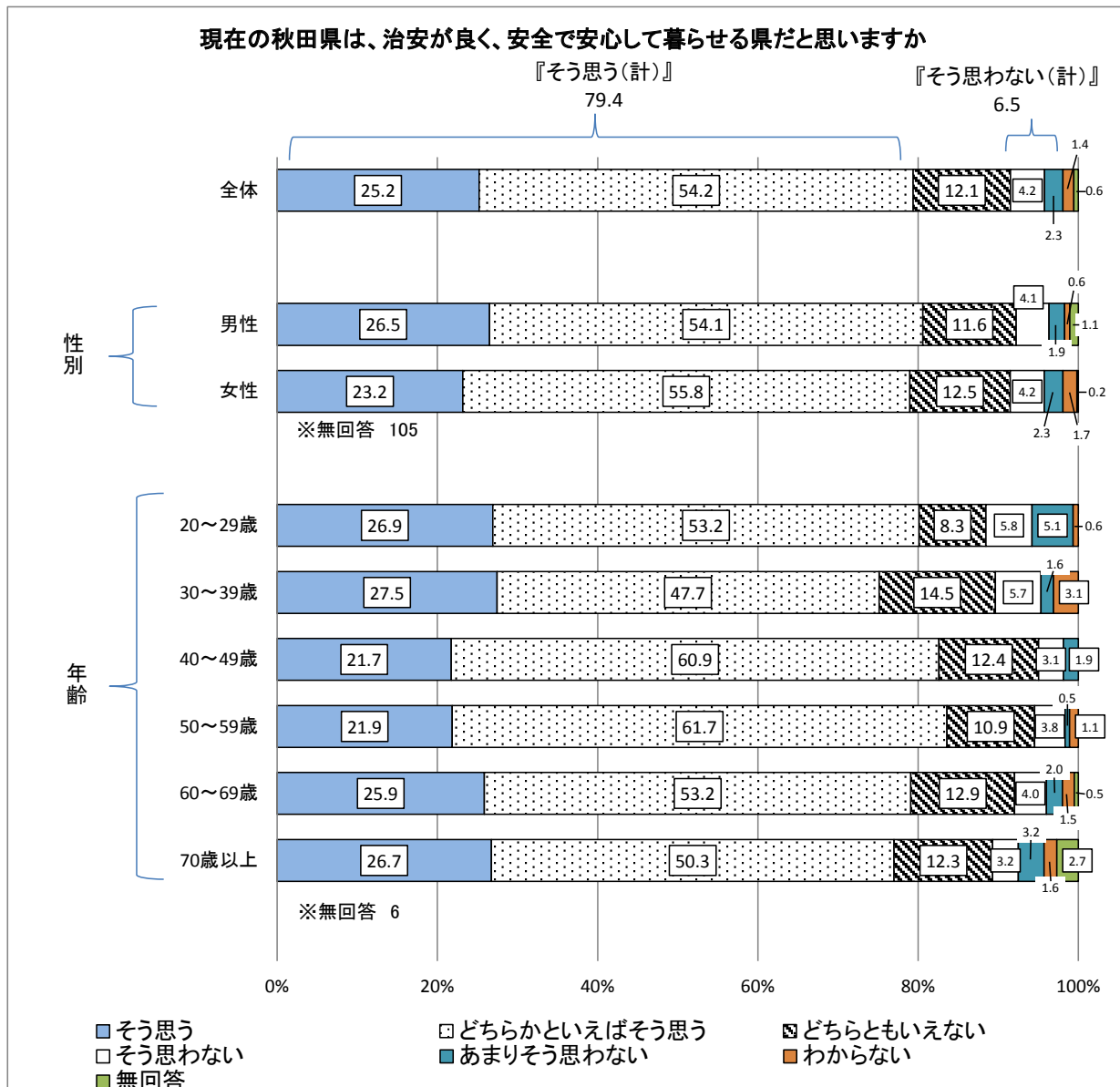
1 秋田県の治安について

□問1 あなたは、現在の秋田県は、治安が良く、安全で安心して暮らせる県だと思いますか。

回答者全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計（以下、「そう思う（計）」と表記）が79.4%、「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計（以下、「そう思わない（計）」と表記）は6.5%にとどまり、治安が良いと思っている県民が圧倒的に多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、「そう思う」の割合は男性が女性より3.3ポイント高い。また年齢別にみると、20代、40代、50代の年齢層で「そう思う（計）」の割合が80%を超え、他の年代よりも高い。

※ 集計結果はすべて小数点以下第2位を四捨五入しており、複数の項目を合計した比率（「そう思う（計）」などと、各項目（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」など）の比率の合計が一致しないことがあります。

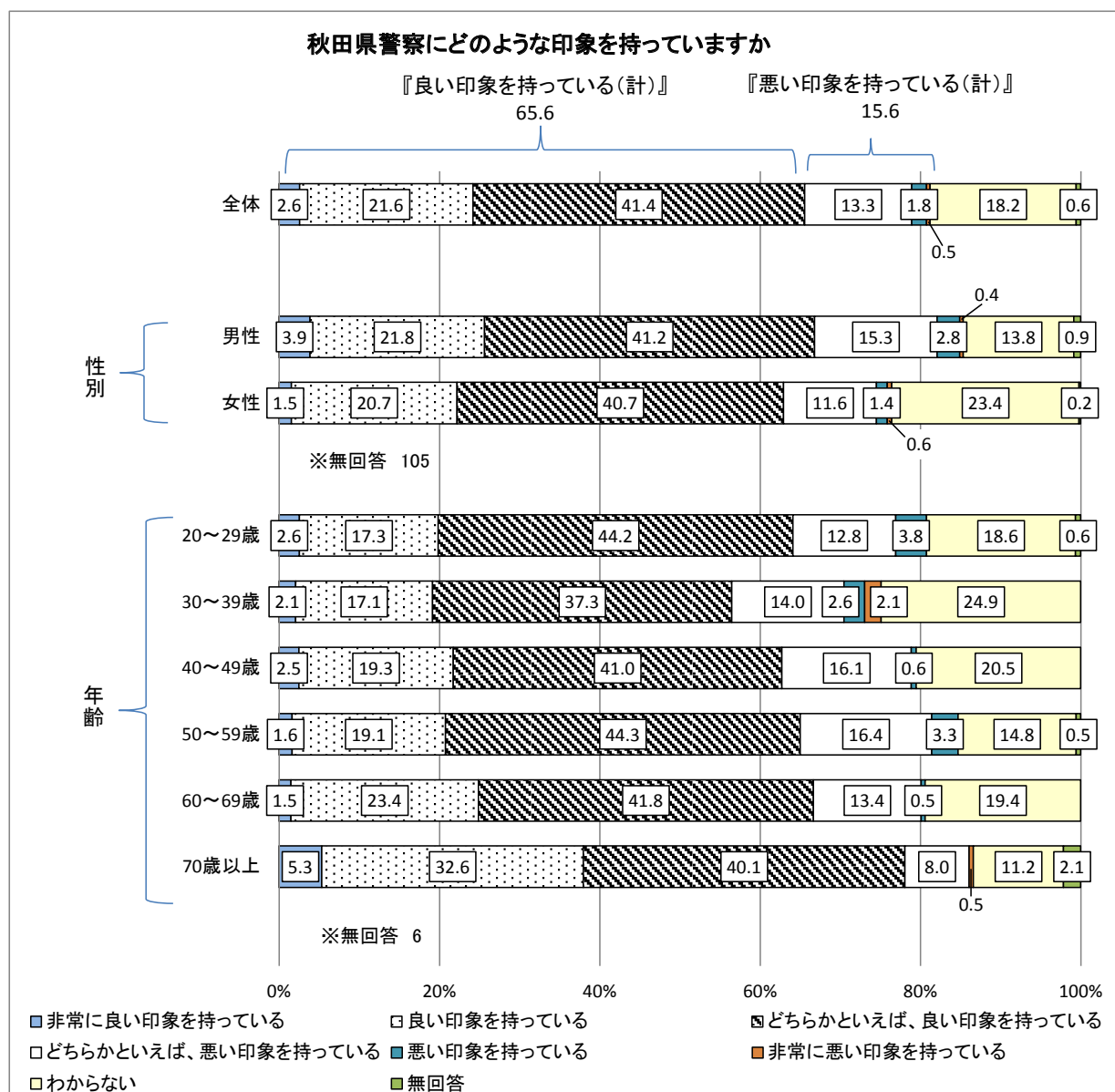


2 秋田県警察の印象について

□問2 あなたは、秋田県警察にどのような印象を持っていますか。

回答者全体では、「非常に良い印象を持っている」、「良い印象を持っている」、「どちらかといえば、良い印象を持っている」の合計（以下、「良い印象を持っている（計）」と表記）が65.6%、一方、「非常に悪い印象を持っている」、「悪い印象を持っている」、「どちらかといえば、悪い印象を持っている」の合計（以下、「悪い印象を持っている（計）」と表記）は15.6%であり、秋田県警察に対し良い印象を持っている県民の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、「良い印象を持っている（計）」、「悪い印象を持っている（計）」とも男性の方が割合が高く、女性は「分からない」の割合が高い。また年齢別では、「良い印象を持っている（計）」の割合は70歳以上が78.1%と年齢別で唯一7割を超え、他の年代に比べ良い印象を持っている人が多い。

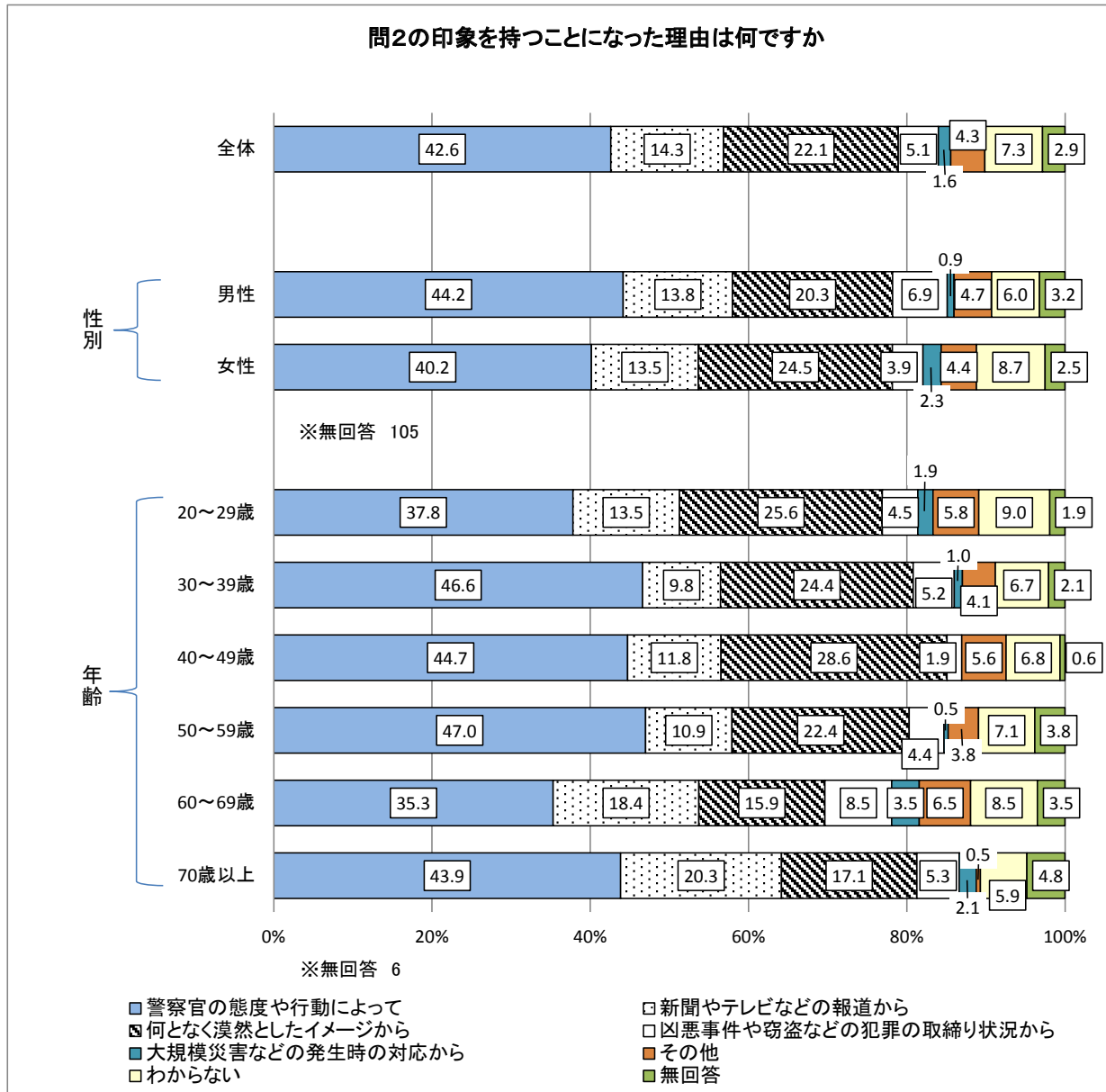


□問3 (全員にお聞きします)

問2の印象を持つことになった理由は何ですか。

回答者全体では、「警察官の態度や行動によって」の割合が42.6%と最も高い。「何となく漠然としたイメージから」の割合が22.1%で2番目に高い。3番目が「新聞やテレビなどの報道から」で14.3%である。

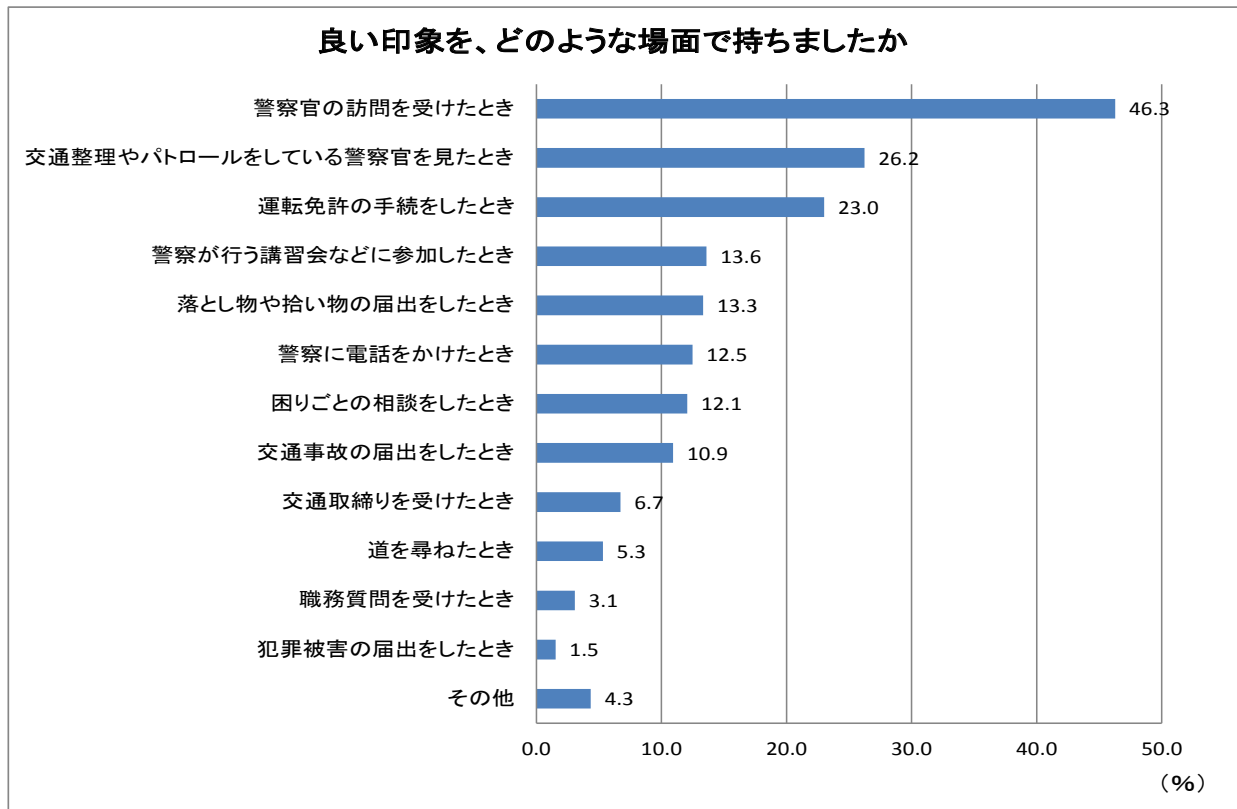
回答者の属性別にみると、男女別では、「警察官の態度や行動によって」の割合は男性が女性よりも4.0ポイント高く、反対に「何となく漠然としたイメージから」の割合は女性が男性より4.2ポイント高い。年齢別では、60代は「警察官の態度や行動によって」、「何となく漠然としたイメージから」という理由の割合が他の年代より低く、「凶悪事件や窃盗などの犯罪の取締り状況から」や「大規模災害などの発生時の対応から」という具体的な対応を評価する理由が他の年代より多い。



□問4 (問2で「1非常に良い印象を持っている」「2良い印象を持っている」「3どちらかといえば、良い印象を持っている」と答えた方だけにお聞きします)

あなたは、その印象をどのような場面で持ちましたか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「警察官の訪問を受けたとき」の割合が46.3%で、他の項目を引き離して高い。これに次いで、「交通整理やパトロールをしている警察官を見たとき」、「運転免許の手続をしたとき」の割合が20%台で高い。回答者の属性別にみると、年齢別では、30代は総じて各項目の割合が高く、特に「警察官の訪問を受けたとき」が66.7%、「運転免許の手続をしたとき」が40.3%であり他の年代に比べて顕著に高い。



(単位:件、%)

	合計	警察官の訪問を受けたとき	交通整理やパトロールをしている警察官を見たとき	運転免許の手続をしたとき	警察が行う講習会などに参加したとき	落とし物や拾い物の届出をしたとき	警察に電話をかけたとき	困りごとの相談をしたとき	交通事故の届出をしたとき	交通取締りを受けたとき	道を尋ねたとき	職務質問を受けたとき	犯罪被害の届出をしたとき	その他	
全体	713	46.3	26.2	23.0	13.6	13.3	12.5	12.1	10.9	6.7	5.3	3.1	1.5	4.3	
性別	男性	342	40.6	24.9	24.0	16.1	11.4	13.5	9.4	8.8	8.2	6.1	5.0	1.5	4.4
	女性	367	40.6	22.1	18.0	8.7	12.8	9.0	12.3	9.5	4.4	3.3	0.8	1.1	3.8

※無回答 4

年齢	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上								
20~29歳	73	42.5	37.0	26.0	15.1	17.8	12.3	13.7	17.8	12.3	8.2	11.0	0.0	4.1
30~39歳	72	66.7	38.9	40.3	15.3	23.6	12.5	11.1	26.4	6.9	4.2	5.6	2.8	5.6
40~49歳	110	30.0	27.3	20.0	10.0	8.2	13.6	16.4	10.9	5.5	6.4	0.9	1.8	9.1
50~59歳	135	35.6	24.4	20.0	14.1	11.1	14.8	11.1	10.4	7.4	5.2	4.4	1.5	3.7
60~69歳	154	46.8	18.8	22.7	14.9	13.0	13.6	11.0	7.8	7.8	5.2	1.3	1.9	3.2
70歳以上	165	58.2	23.6	18.2	12.7	12.7	9.1	10.9	4.8	3.6	3.6	0.0	1.2	2.4

※無回答 4

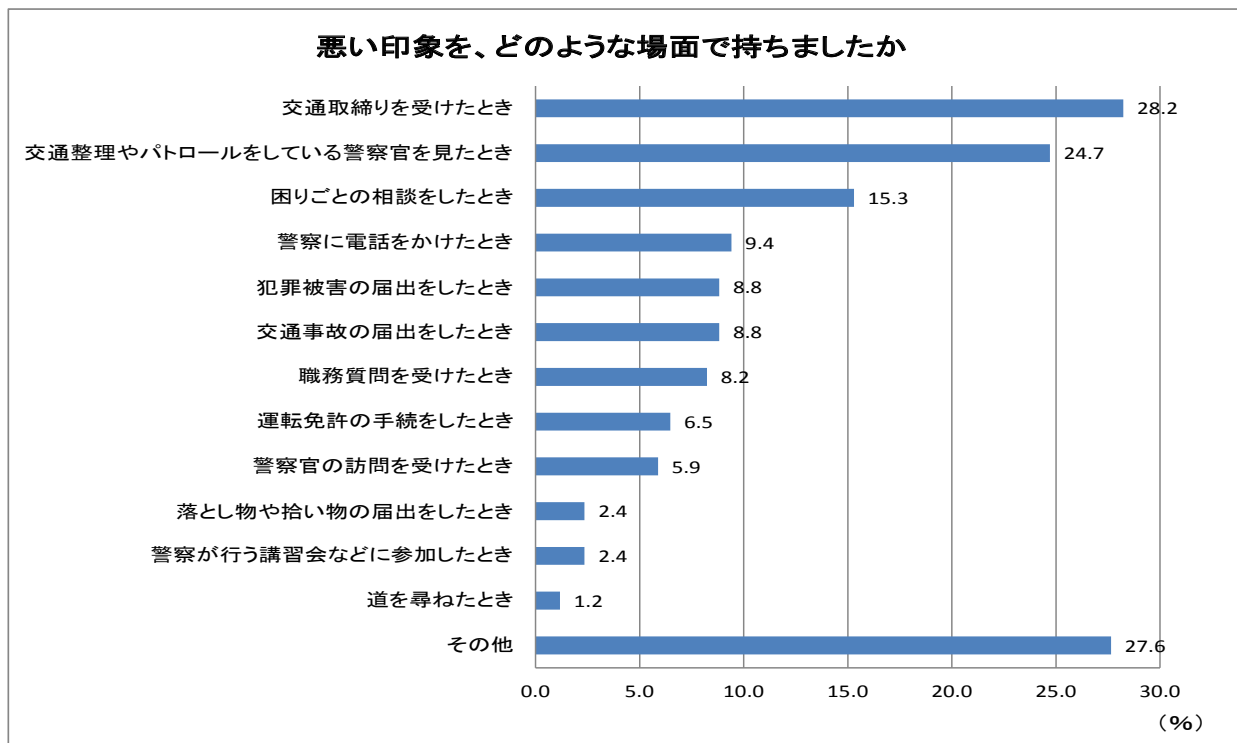
□問5 (問2で「4どちらかといえば、悪い印象を持っている」「5悪い印象を持っている」「6非常に悪い印象を持っている」と答えた方だけにお聞きします)

あなたは、その印象をどのような場面で持ちましたか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「交通取締りを受けたとき」の割合が28.2%で一番高く、続いて「交通整理やパトロールをしている警察官を見たとき」の割合が24.7%、「困りごとの相談をしたとき」の割合が15.3%となっている。

回答者の属性別にみると、男性は「交通取締りを受けたとき」、「職務質問を受けたとき」の割合が女性に比べて12ポイント以上高いという特徴がある。年齢別では、「交通取締りを受けたとき」、「交通整理やパトロールをしている警察官を見たとき」の割合は、20代が他の年代より10ポイント以上高い。

「その他」の内容は「報道された特定事件」、「未解決事件」に関するものが多い。



(単位:件、%)

		合計	交通取締りを受けたとき	交通整理やパトロールをしている警察官を見たとき	困りごとの相談をしたとき	警察に電話をかけたとき	犯罪被害の届出をしたとき	交通事故の届出をしたとき	職務質問を受けたとき	運転免許の手続をしたとき	警察官の訪問を受けたとき	落とし物や拾い物の届出をしたとき	警察が行う講習会などに参加したとき	道を尋ねたとき	その他
全体		170	28.2	24.7	15.3	9.4	8.8	8.8	8.2	6.5	5.9	2.4	2.4	1.2	27.6
性別	男性	94	30.9	24.5	17.0	11.7	10.6	10.6	13.8	3.2	4.3	2.1	2.1	2.1	26.6
	女性	76	18.4	19.7	9.2	6.6	6.6	6.6	1.3	7.9	5.3	2.6	2.6	0.0	26.3

※無回答 0

年齢	20~29歳	19	42.1	52.6	26.3	5.3	10.5	15.8	0.0	10.5	21.1	0.0	0.0	5.3	26.3
	30~39歳	35	31.4	31.4	20.0	11.4	11.4	2.9	17.1	8.6	0.0	0.0	2.9	0.0	31.4
	40~49歳	27	29.6	18.5	3.7	7.4	3.7	7.4	14.8	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	25.9
	50~59歳	38	23.7	21.1	21.1	10.5	13.2	10.5	2.6	2.6	2.6	5.3	0.0	2.6	34.2
	60~69歳	29	27.6	27.6	10.3	10.3	3.4	10.3	6.9	10.3	6.9	6.9	10.3	0.0	31.0
	70歳以上	21	19.0	0.0	9.5	9.5	9.5	4.8	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	9.5

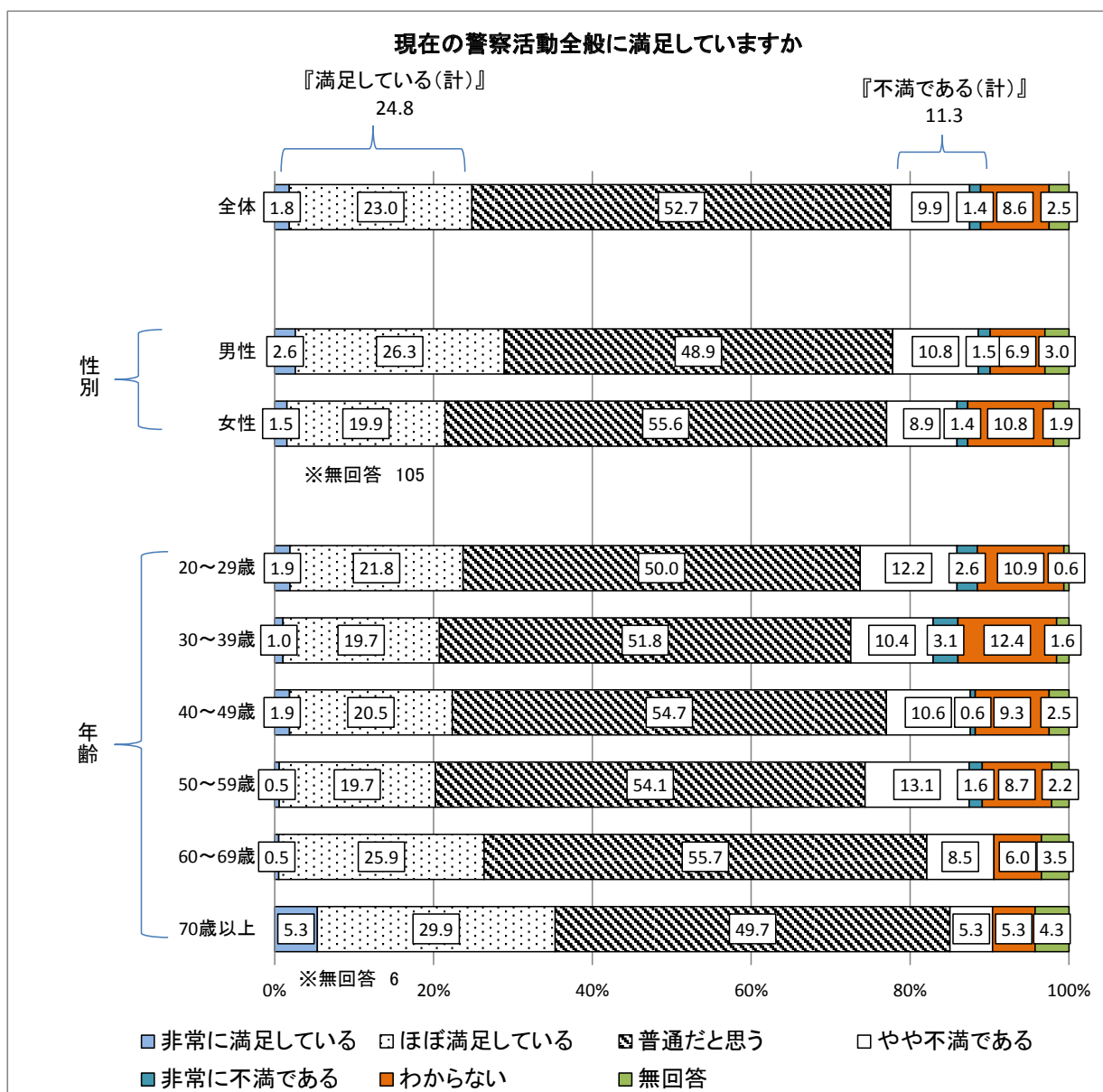
※無回答 1

□問6 (全員にお聞きします)

あなたは、現在の警察活動全般に満足していますか。

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が52.7%と5割を超えた。それ以外では、「非常に満足している」、「ほぼ満足している」の割合の合計(以下、「満足している(計)」と表記)は24.8%、「非常に不満である」、「やや不満である」の割合の合計(以下、「不満である(計)」と表記)は11.3%であり、満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、「満足している(計)」は男性が女性より7.5ポイント高い。「普通だと思う」の割合は女性が男性より6.7ポイント高い。年齢別では、「満足している(計)」は、60代が26.4%、70歳以上が35.3%で他の年代より高く、高齢者ほど警察活動全般に満足している人が多い傾向がある。

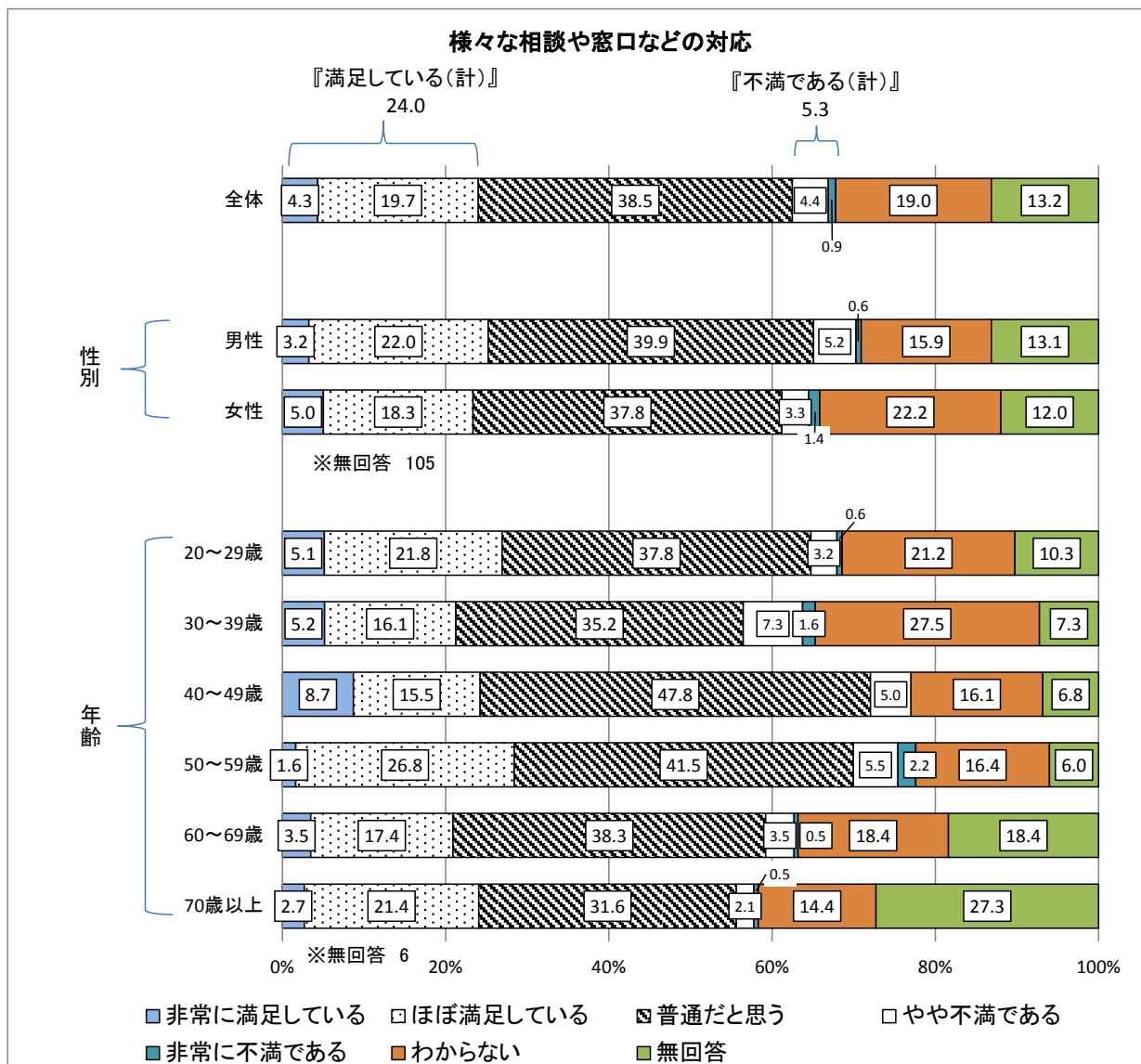


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

①様々な相談や窓口などの対応

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が38.5%で最も高い。それ以外では、「非常に満足している」、「ほぼ満足している」の割合の合計（以下、「満足している（計）」と表記）が24.0%、「非常に不満である」、「やや不満である」の割合の合計（以下、「不満である（計）」と表記）が5.3%と満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、大きな違いはない。また年齢別では、各年代とも「普通だと思う」の割合が最も高い。また、各年代とも「満足している（計）」が「不満である（計）」を大きく上回っている。

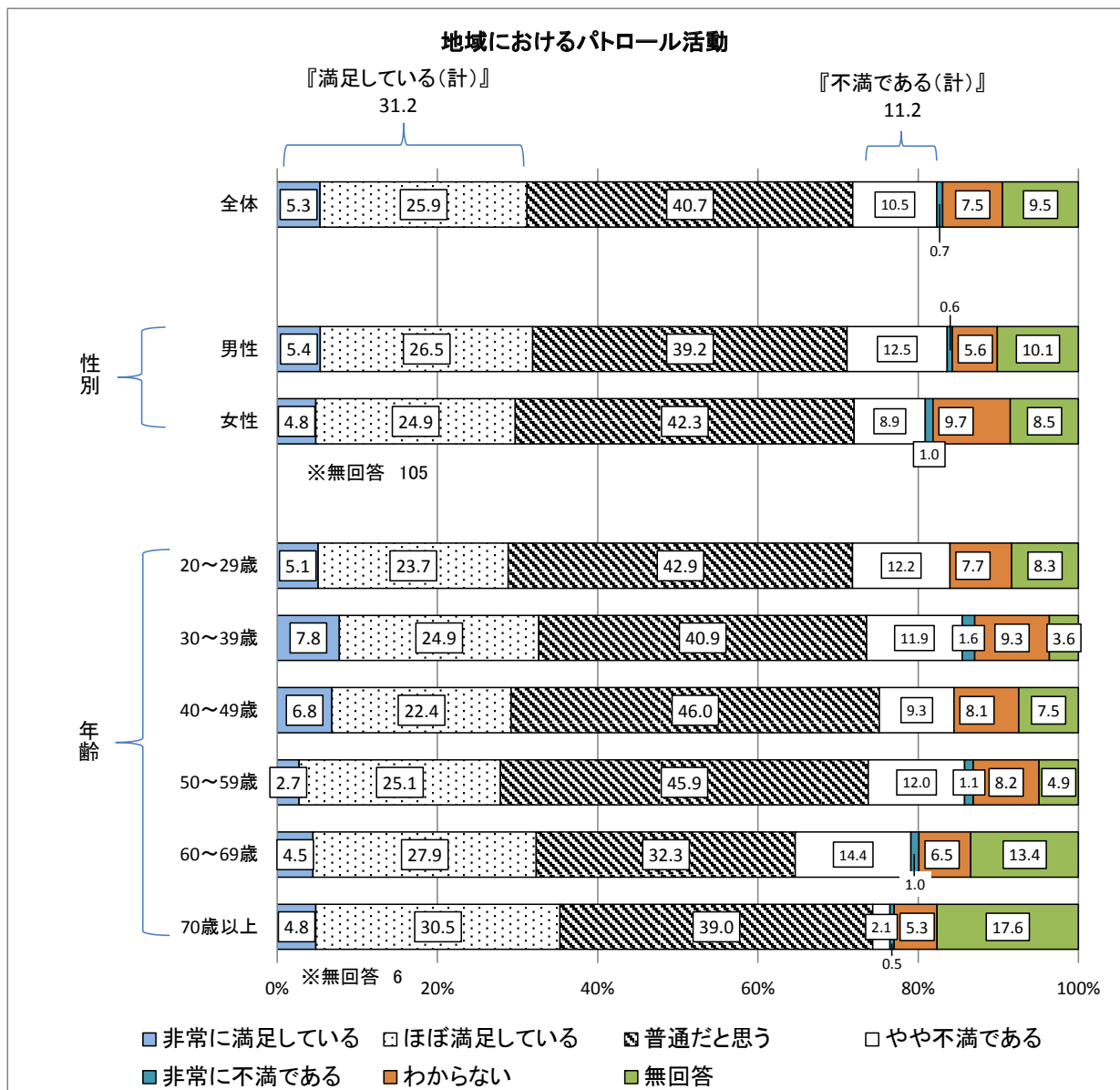


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

②地域におけるパトロール活動

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が40.7%と最も高い。それ以外では、「満足している（計）」が31.2%、「不満である（計）」が11.2%と満足している人の方が多い。また、「満足している（計）」の割合31.2%は問7の活動項目の中で最も高く、他の活動項目に比べて県民の満足度が高い。

回答者の属性別にみると、男女別では大きな違いはみられない。年齢別では、「満足している（計）」の割合は70歳以上が35.3%であり年代別で最も高い。60代は、「不満である（計）」が15.4%で他の年代より高く、「普通だと思う」の割合は32.3%で他の年代より低い。

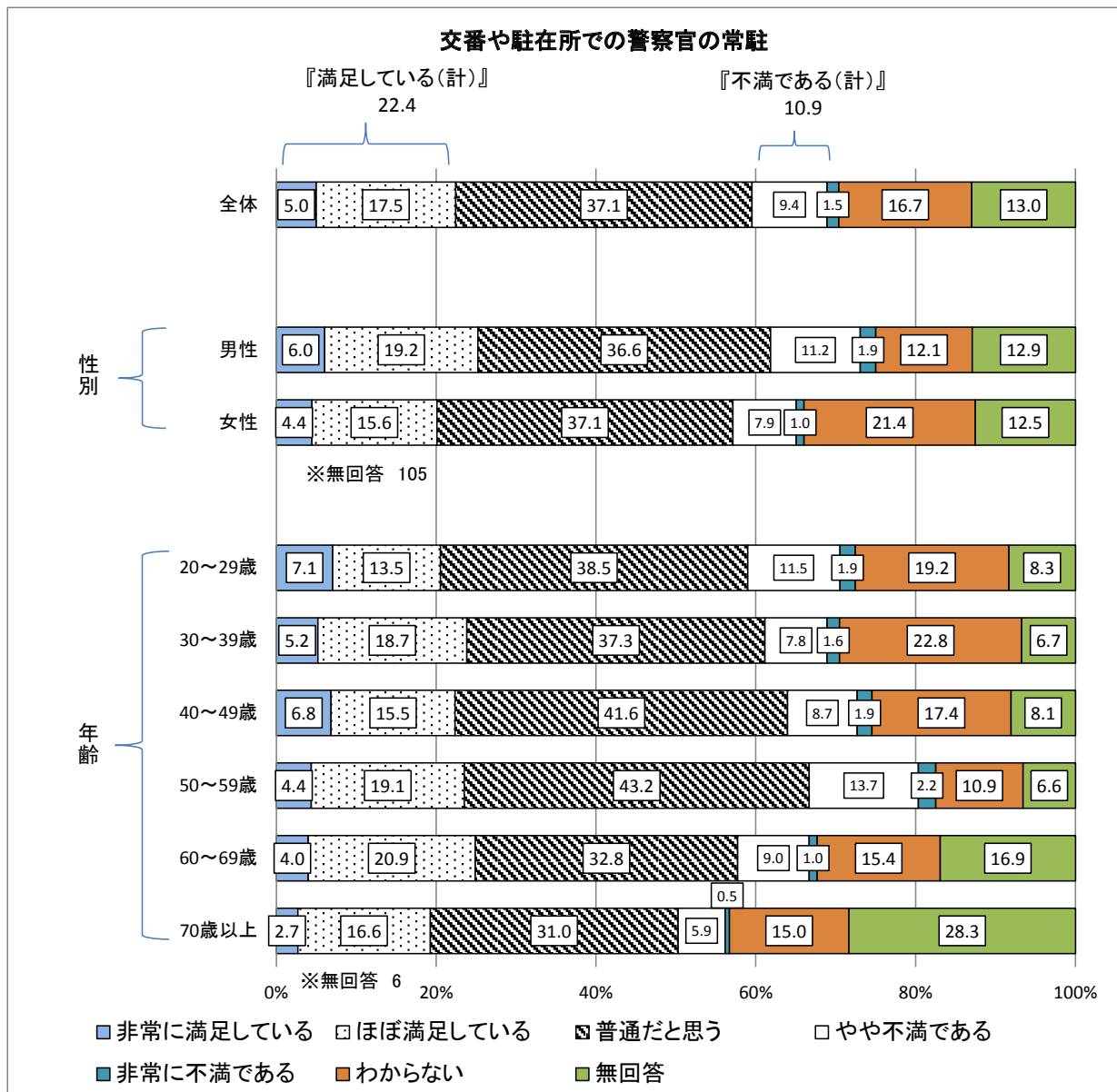


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

③交番や駐在所での警察官の常駐

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が37.1%で最も高い。また、「満足している（計）」が22.4%、「不満である（計）」が10.9%であり、満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している（計）」が5.1ポイント、「不満である（計）」が4.2ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも9.3ポイント高い。年齢別では、「満足している（計）」の割合が最も高いのが60代で24.9%、「不満である（計）」の割合が最も高いのが50代で15.8%である。40代と50代は「普通だと思う」の割合が40%台で他の年代よりも高い。

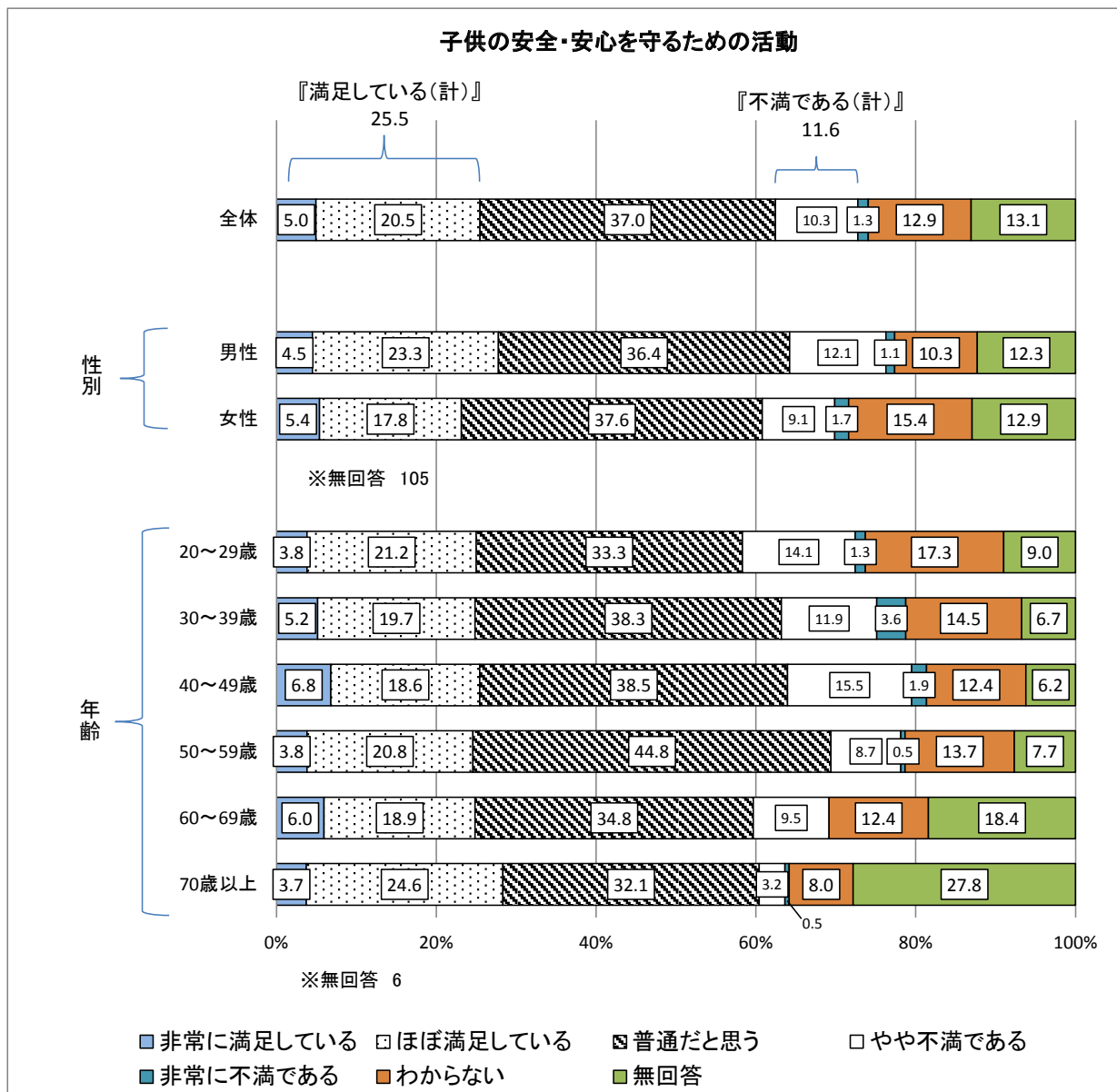


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

④子供の安全・安心を守るための活動

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が37.0%で最も高い。また、「満足している（計）」が25.5%、「不満である（計）」が11.6%であり、満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している（計）」が4.6ポイント、「不満である（計）」が2.3ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも5.1ポイント高い。年齢別では、「満足している（計）」は70歳以上で最も高く28.3%である。「不満である（計）」は子育て世代に当たる20代、30代、40代が15.4%～17.4%であり、50代以上が10%未満なのと比較すると若い年代の方が不満を感じている割合が高い。

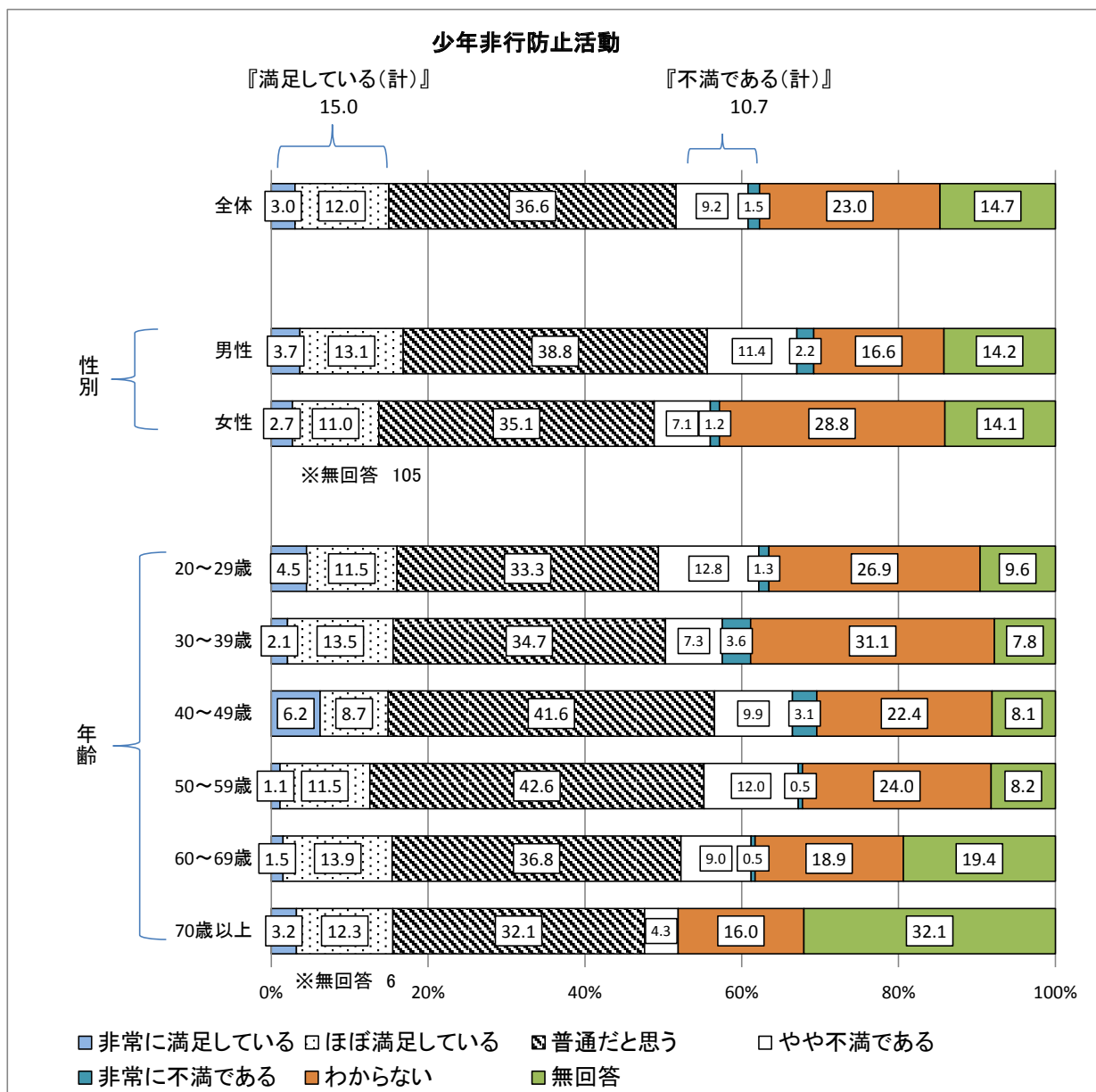


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑤少年非行防止活動

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が36.6%で最も高い。また、「満足している（計）」が15.0%、「不満である（計）」が10.7%と満足している人の方がやや多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している（計）」が3.1ポイント、「不満である（計）」が5.3ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも12.2ポイント高い。年齢別では、「満足している（計）」に関してはあまり大きな違いはない。「不満である（計）」は20代～50代が10%を超え、50代以下の年代は高齢者に比べ不満を感じている割合が高い傾向がある。

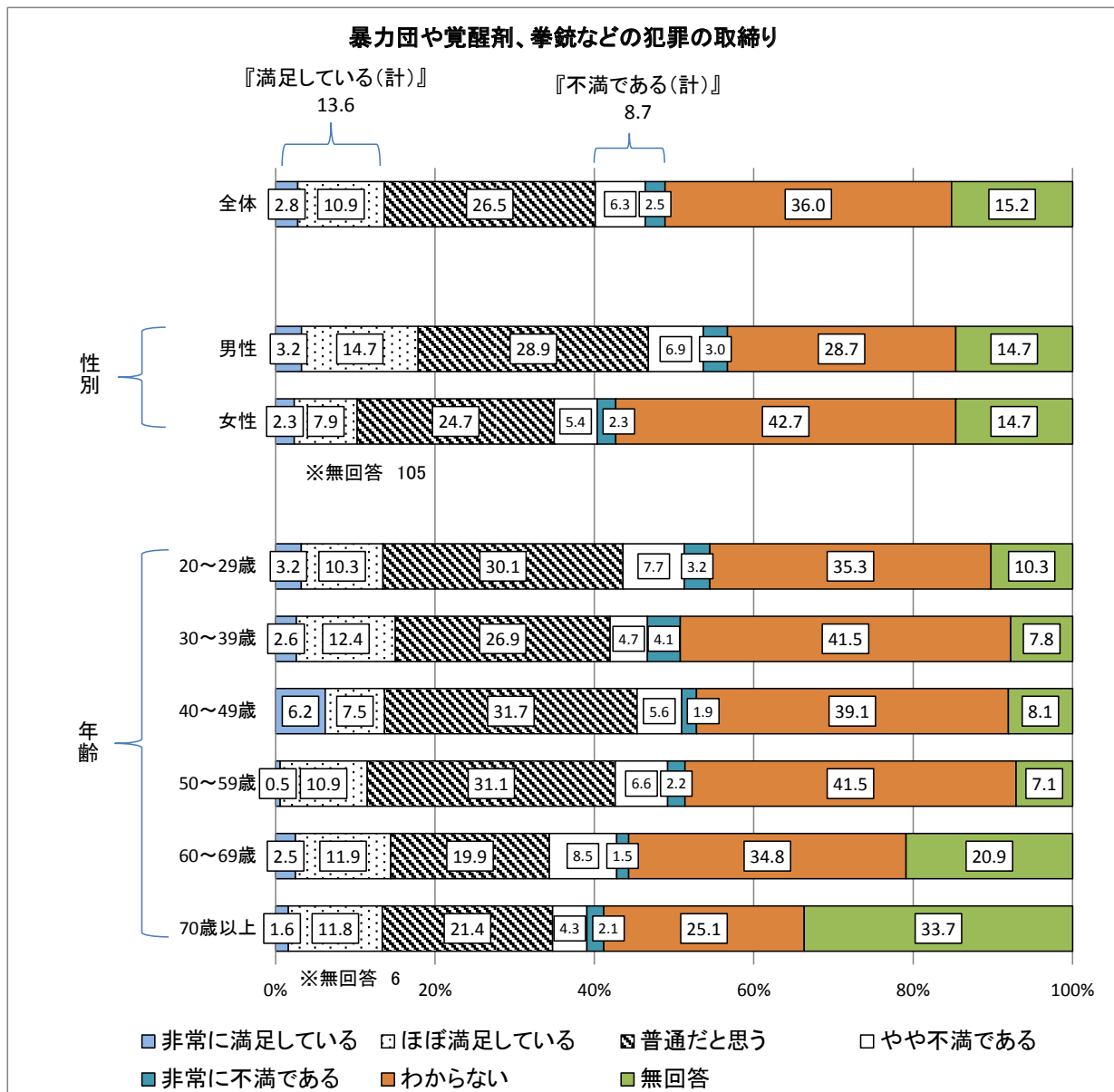


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑥暴力団や覚醒剤、拳銃などの犯罪の取締り

回答者全体では、「わからない」の割合が36.0%で最も高いのが特徴である。あまり身近な活動と感じられていないことが推測される。続いて「普通だと思う」が26.5%と高い。それ以外では、「満足している（計）」が13.6%、「不満である（計）」が8.7%と満足している人の方がやや多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している（計）」が7.7ポイント、「不満である（計）」が2.2ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも14.0ポイント高い。年齢別では、各年代とも「わからない」の割合が最も高く、「満足している（計）」と「不満である（計）」に関しては大きな違いはみられない。

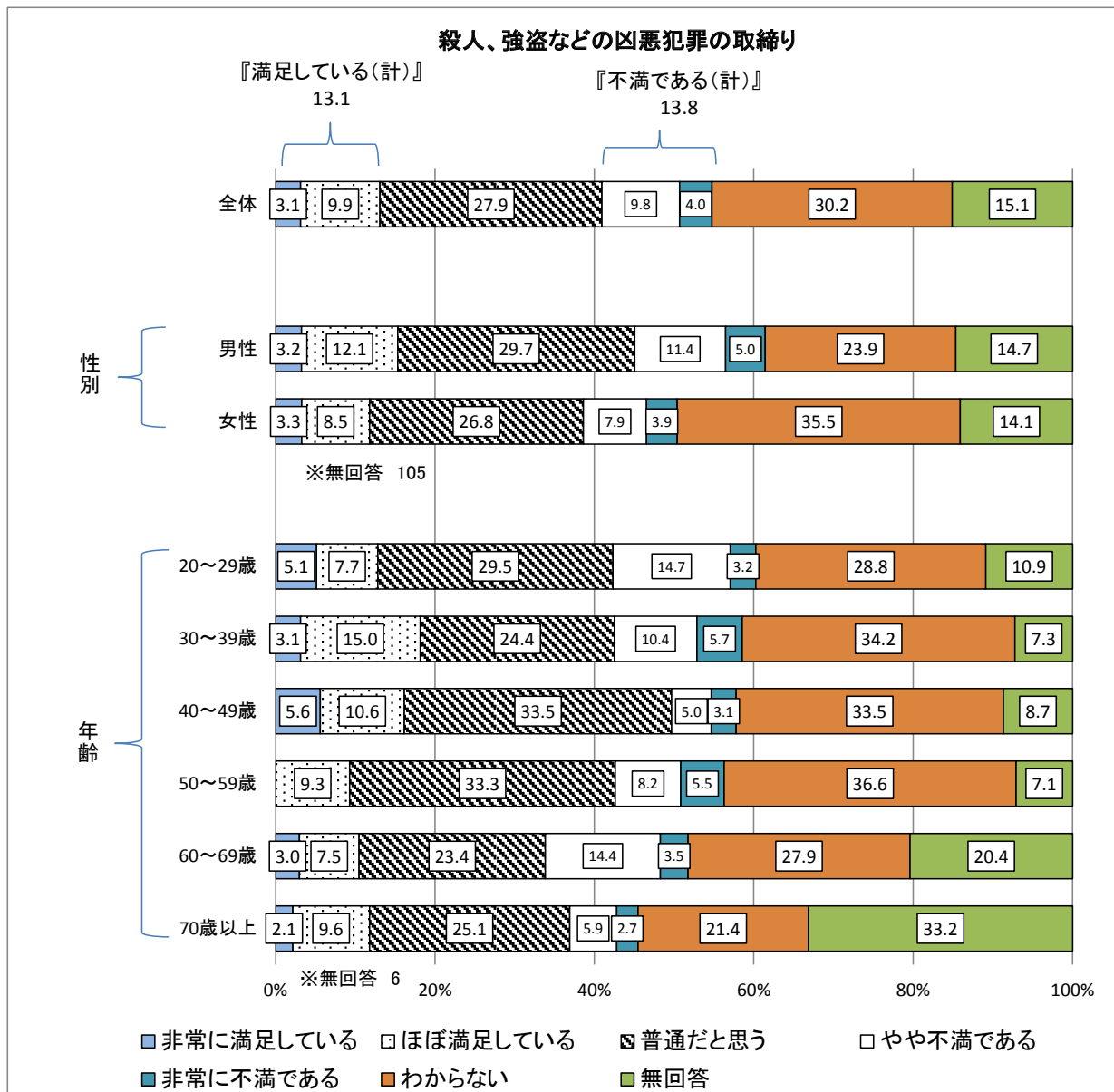


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑦殺人、強盗などの凶悪犯罪の取締り

回答者全体では、「わからない」の割合が30.2%で最も高い。「⑥暴力団や覚醒剤、拳銃などの犯罪の取締り」と同様に、あまり身近な活動と感じられていないことが推測される。続いて「普通だと思う」が27.9%と高い。それ以外では、「不満である（計）」が13.8%であり「満足している（計）」の13.1%を上回っている点の特徴である。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「わからない」の割合が女性よりも11.6ポイント低く、「満足している（計）」が3.5ポイント、「不満である（計）」が4.6ポイント女性より高い。年齢別では、各年代とも「わからない」や「普通だと思う」の割合が高く、「満足している（計）」と「不満である（計）」は20%を下回る。

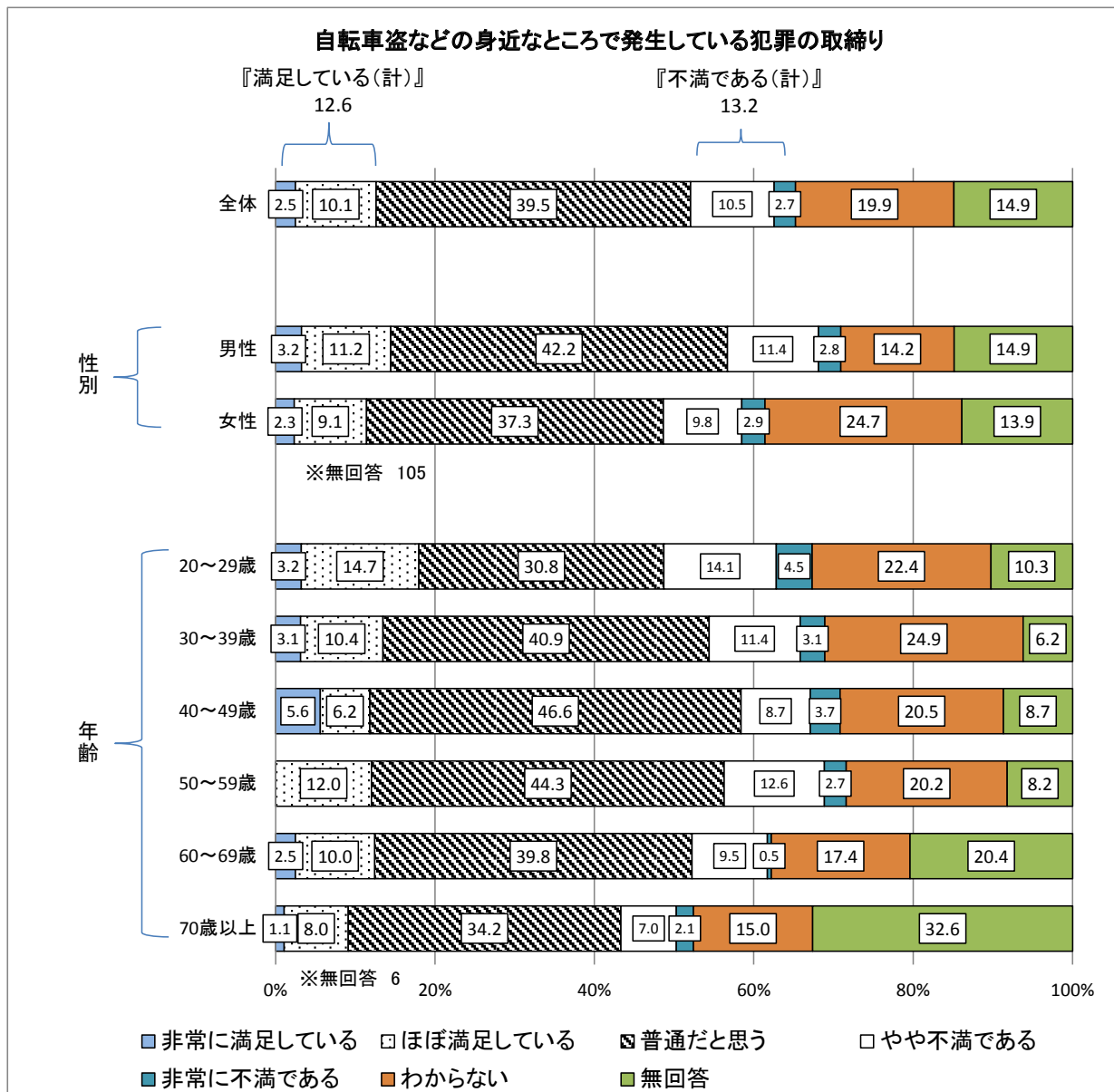


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑧自転車盗などの身近なところで発生している犯罪の取締り

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が39.5%で最も高い。続いて「わからない」が19.9%である。それ以外では、「不満である(計)」が13.2%であり「満足している(計)」の12.6%を上回っている点が特徴である。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「わからない」の割合が女性よりも10.5ポイント低く、「満足している(計)」が3.0ポイント、「不満である(計)」が1.5ポイント女性より高い。年齢別では、各年代とも「普通だと思う」の割合が最も高い。20代は「普通だと思う」の割合が他の年代より低く、「満足している(計)」と「不満である(計)」がともに高いという特徴がある。

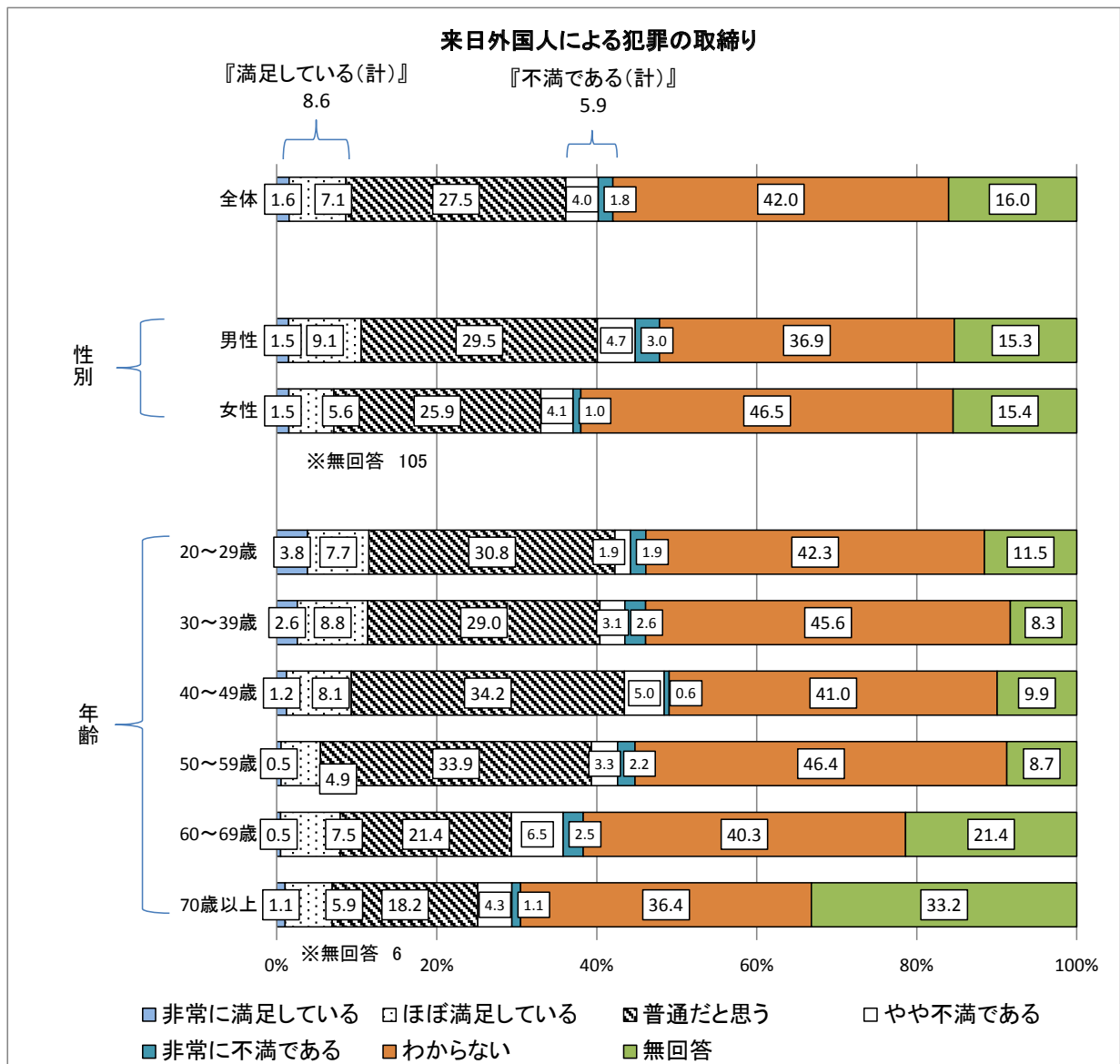


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑨来日外国人による犯罪の取締り

回答者全体では、「わからない」の割合が42.0%で最も高い。「⑥暴力団や覚醒剤、拳銃などの犯罪の取締り」、「⑦殺人、強盗などの凶悪犯罪の取締り」と同様に、あまり身近な活動と感じられていないことが推測される。続いて「普通だと思う」が27.5%と高い。それ以外では、「満足している(計)」と「不満である(計)」はどちらも10%を下回る。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している(計)」が3.5ポイント、「不満である(計)」が2.8ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも9.6ポイント高い。年齢別では、各年代とも「わからない」や「普通だと思う」の割合が高く、「満足している(計)」と「不満である(計)」は12%を下回る。

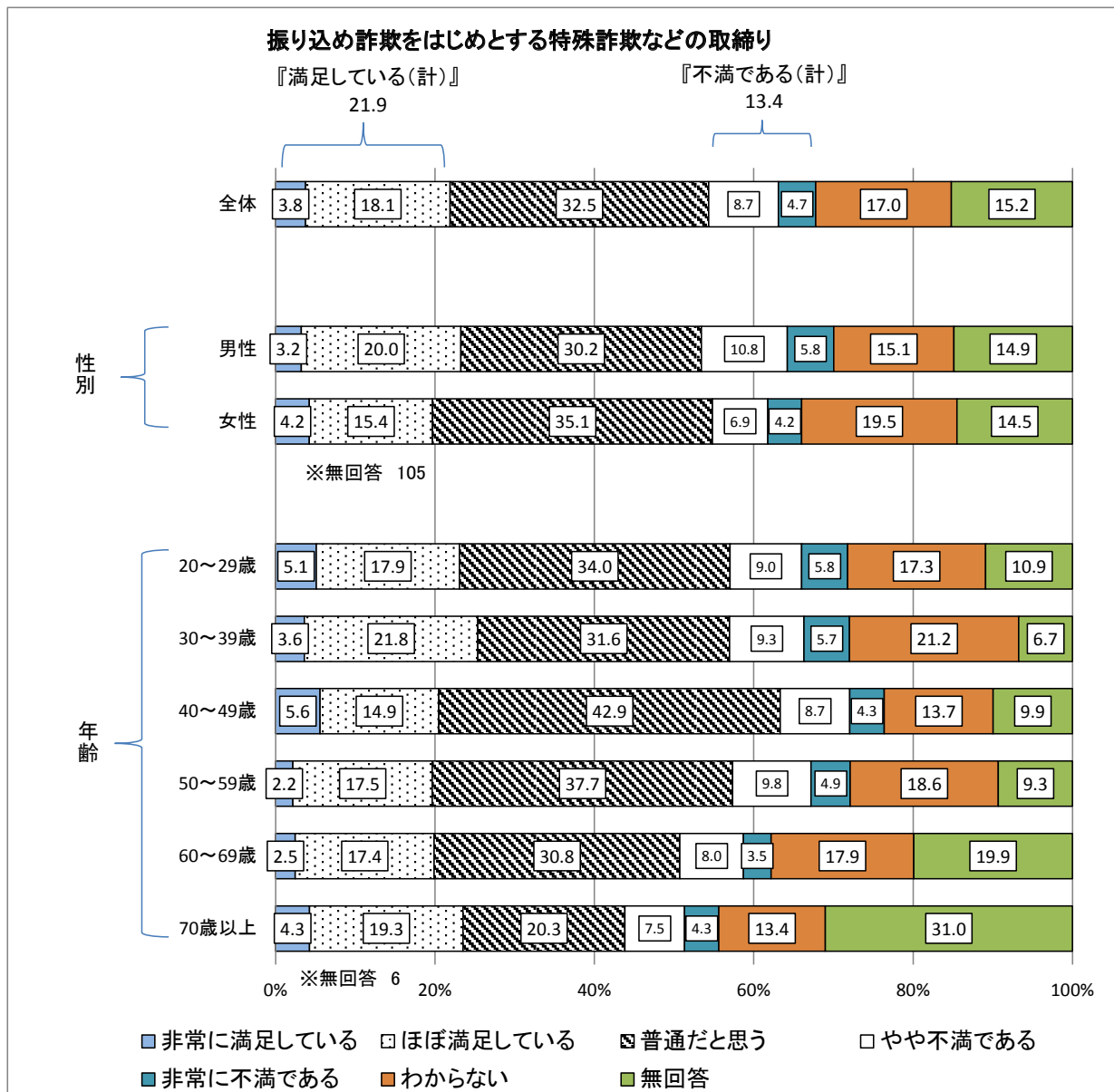


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑩振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺などの取締り

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が32.5%で最も高い。「満足している（計）」は21.9%、「不満である（計）」は13.4%であり、満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している（計）」が3.6ポイント、「不満である（計）」が5.4ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも4.4ポイント高い。年齢別では、各年代とも「普通だと思う」の割合が最も高い。「満足している（計）」と「不満である（計）」に関しては大きな違いはみられない。

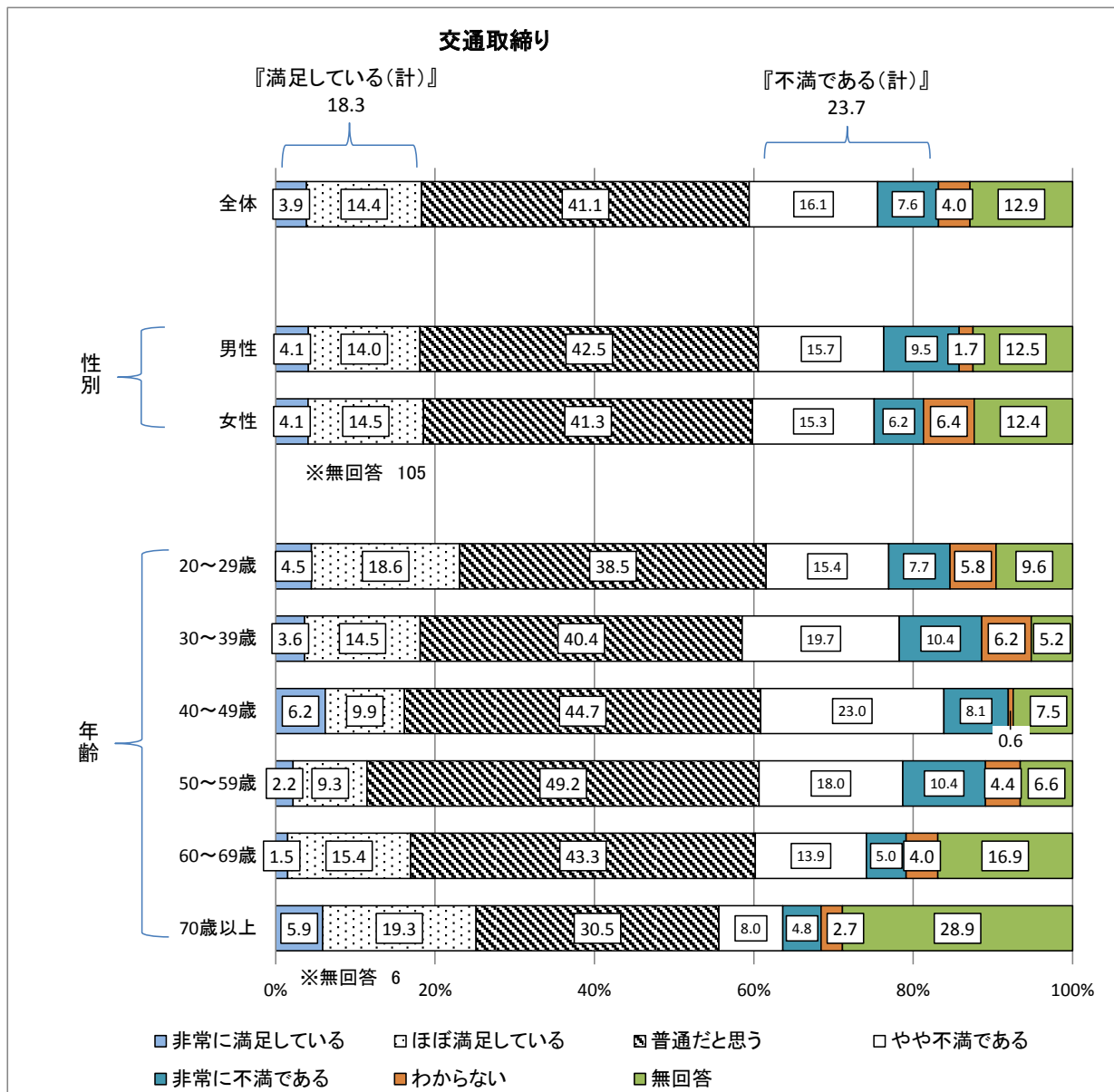


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑪交通取締り

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が41.1%で最も高い。「不満である（計）」は23.7%で「満足している（計）」の18.3%を5.4ポイント上回り、問7の活動項目の中で最も不満を感じている割合が高い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「不満である（計）」が3.8ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも4.7ポイント高い。「満足している（計）」については大きな差がない。年齢別では、各年代とも「普通だと思う」の割合が最も高い。30代、40代、50代は、「不満である（計）」が28.4%～31.1%と高く、かつ「満足している（計）」との差が12ポイント以上と大きいことから、この年代では不満を感じている人が多い。

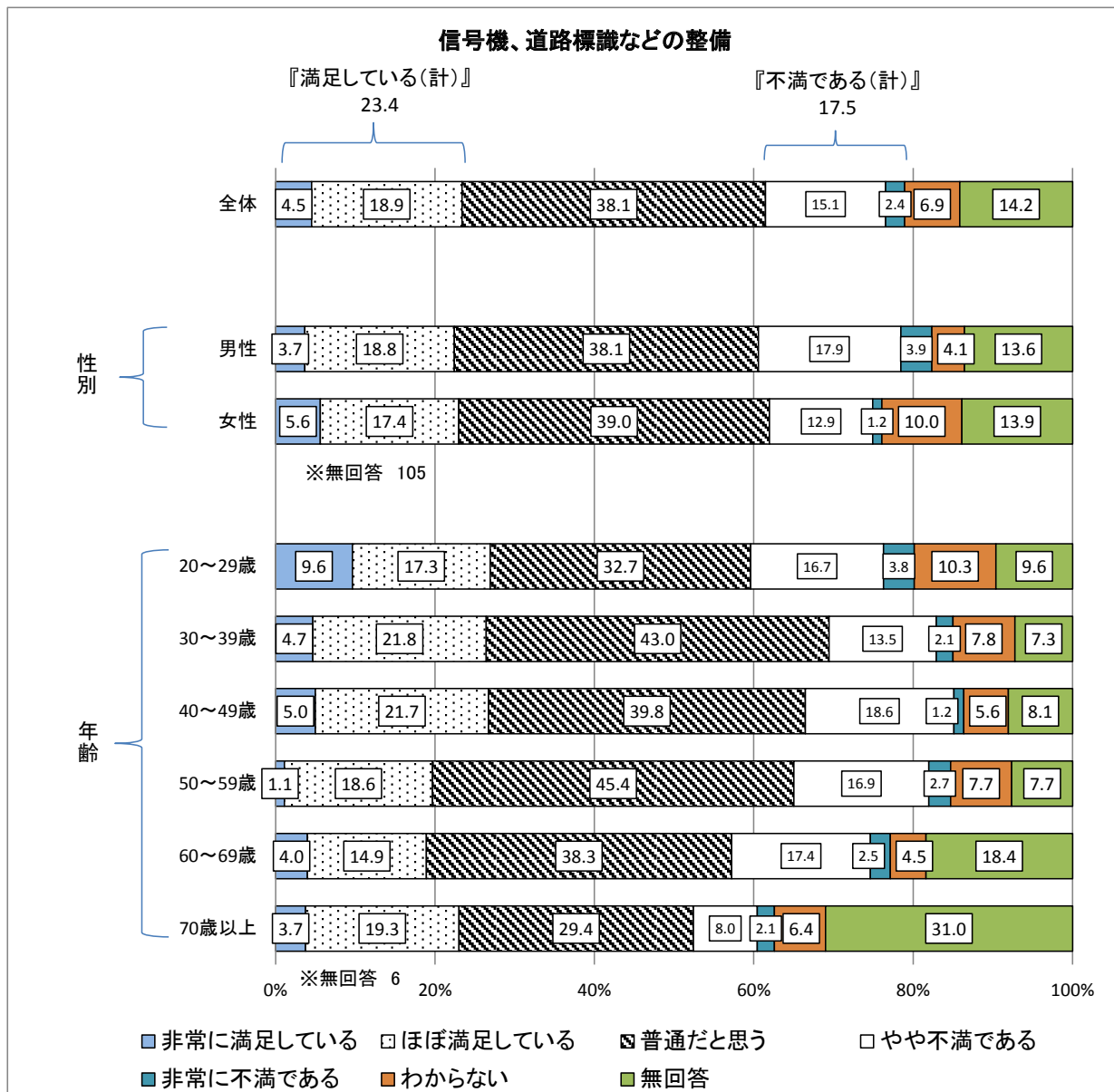


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑫信号機、道路標識などの整備

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が38.1%で最も高い。それ以外では、「満足している(計)」は23.4%、「不満である(計)」は17.5%であり、満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「不満である(計)」が7.7ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも5.9ポイント高い。「満足している(計)」については大きな差がない。年齢別では、各年代とも「普通だと思う」の割合が最も高い。40代以下と70歳以上は、「満足している(計)」が「不満である(計)」を上回るが、50代は「満足している(計)」と「不満である(計)」が19.7%で同率、60代は「不満である(計)」が19.9%で「満足している(計)」の18.9%を上回る。

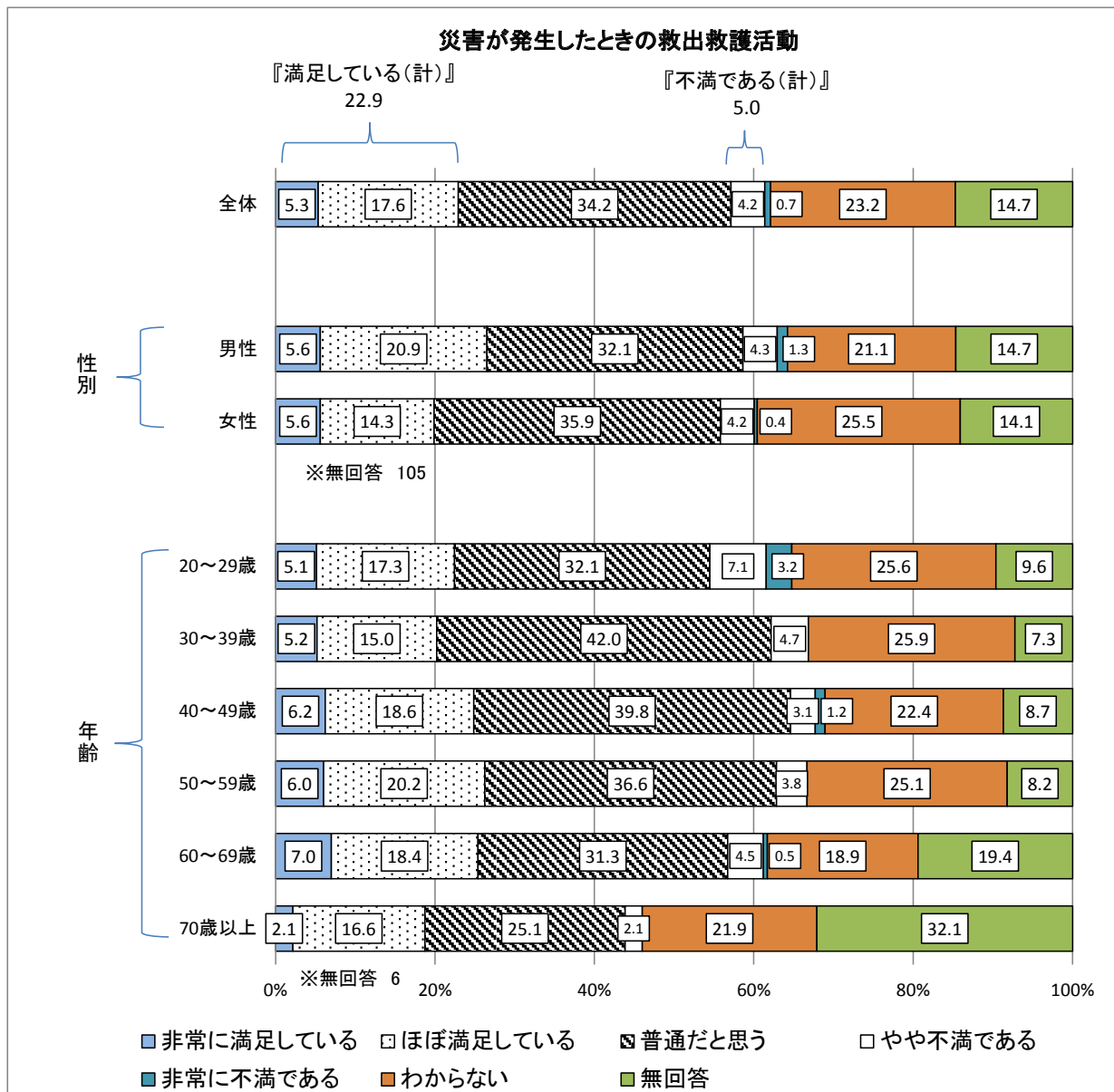


□問7 あなたは、次の①～⑬の警察活動についてどの程度満足していますか。

⑬災害が発生したときの救出救護活動

回答者全体では、「普通だと思う」の割合が34.2%で最も高い。続いて「わからない」が23.2%と高い。それ以外では、「満足している（計）」は22.9%、「不満である（計）」は5.0%であり、満足している人の方が多い。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「満足している（計）」が6.6ポイント女性より高い。女性は「わからない」の割合が男性よりも4.4ポイント高い。年齢別では、各年代とも「普通だと思う」の割合が最も高い。また、各年代とも「満足している（計）」が「不満である（計）」よりも10ポイント以上高く、満足している人の方が多い。

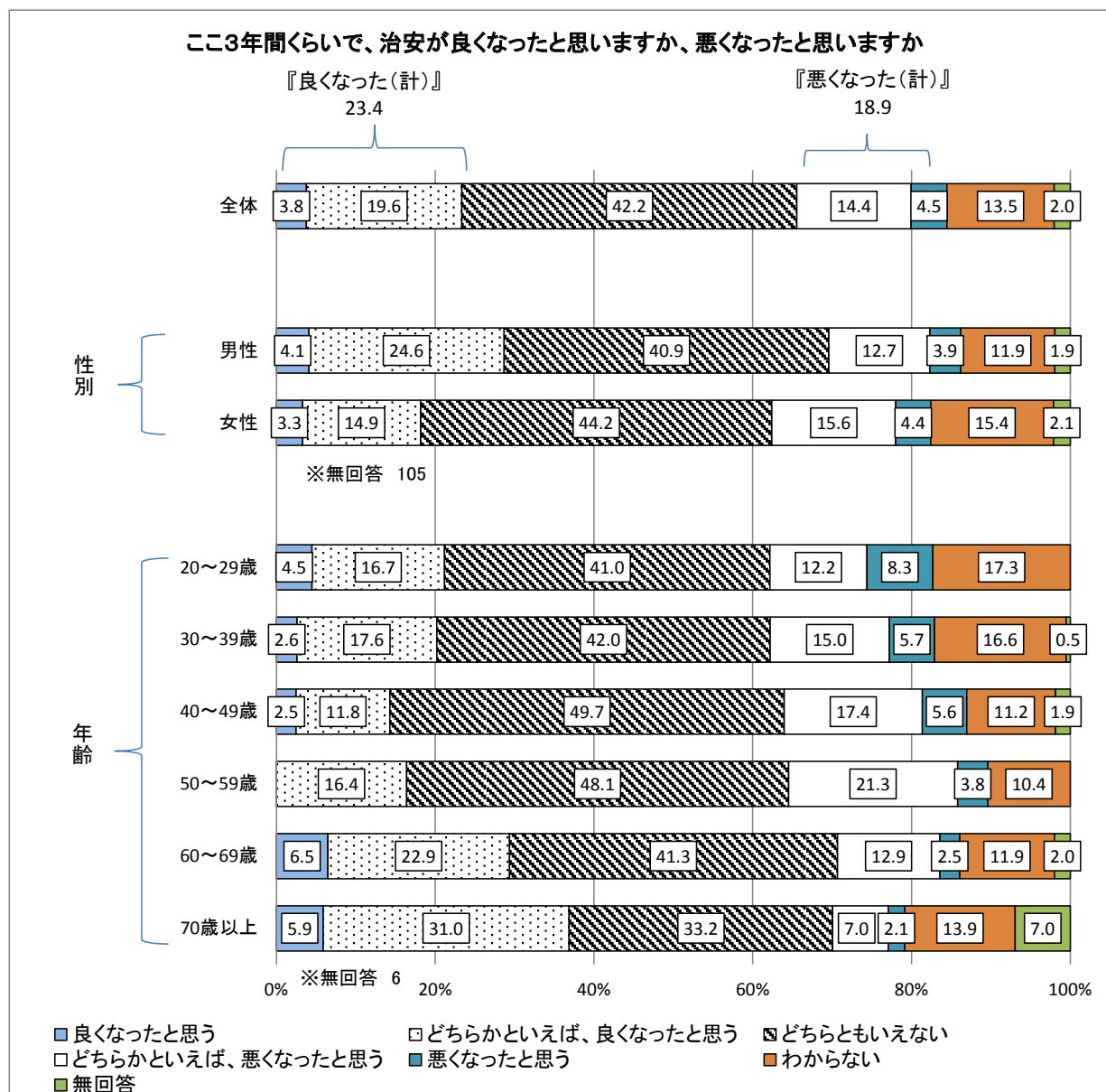


3 安全で安心なまちづくりについて

□問8 あなたは、ここ3年間くらいで、治安が良くなったと思いますか、悪くなったと思いますか。

回答者全体では、「良くなったと思う」、「どちらかといえば、良くなったと思う」の割合の合計（以下、「良くなった（計）」と表記）が23.4%、「悪くなったと思う」、「どちらかといえば、悪くなったと思う」の割合の合計（以下、「悪くなった（計）」と表記）が18.9%であり、治安が良くなったと感じている県民の方が多い。

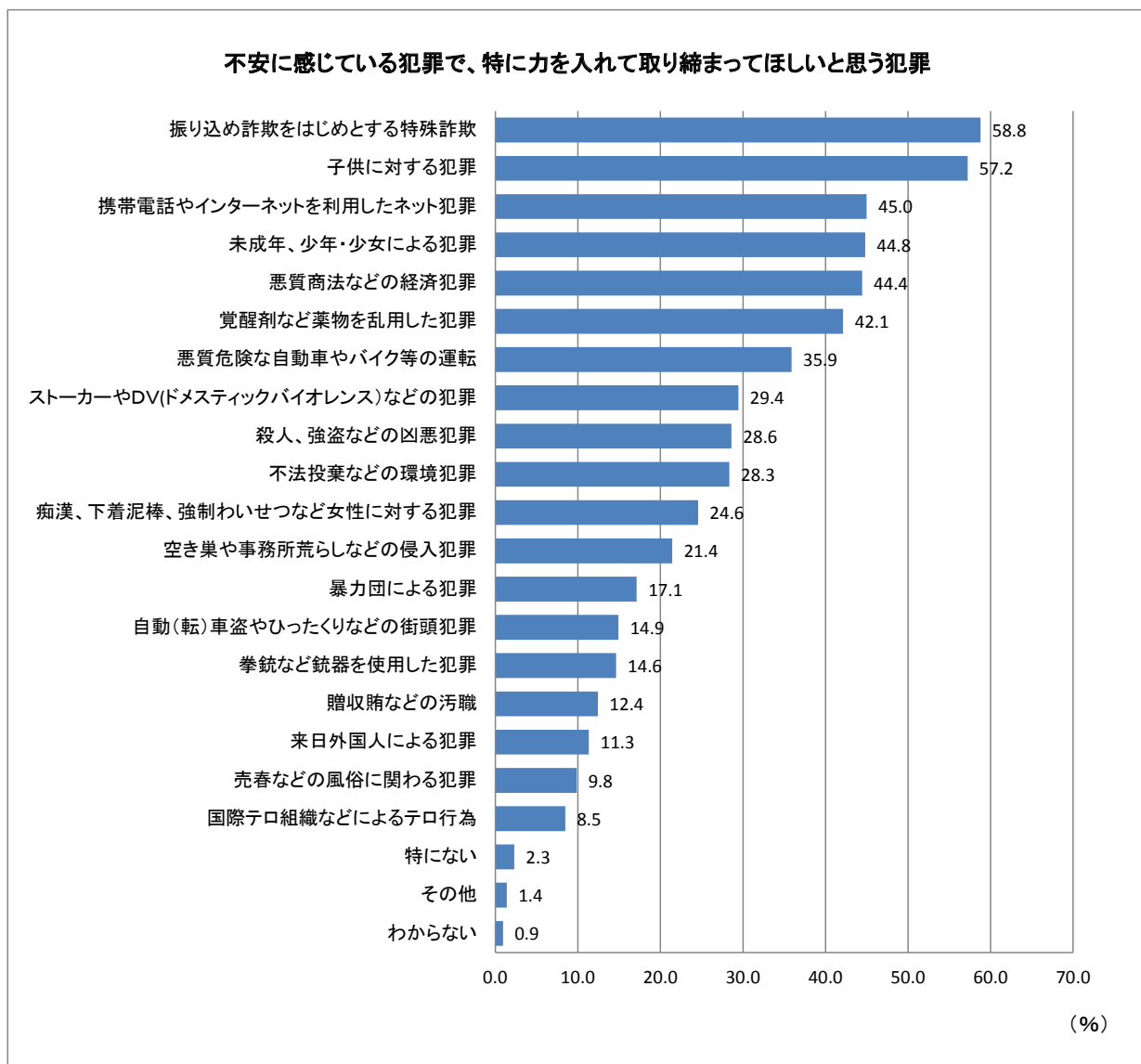
回答者の属性別にみると、男女別では、「良くなった（計）」は男性が女性を10.6ポイント上回る。年齢別では、「良くなった（計）」は60代以上が他の年代より高く、高齢者ほど治安が良くなったと感じている。一方、30代～50代は「悪くなった（計）」が「良くなった（計）」を上回り、治安が悪くなったと感じている人の方が多い。



□問9 あなたが不安に感じている犯罪で、警察に特に力を入れて取り締まってほしいと思うことはどのような犯罪ですか。(〇はいくつでも)

(1) 全体

回答者全体では、「振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺」と「子供に対する犯罪」の割合が50%を超え、これらの犯罪に対して不安を感じている人が多い。続いて、「携帯電話やインターネットを利用したネット犯罪」、「未成年、少年・少女による犯罪」、「悪質商法などの経済犯罪」、「覚醒剤など薬物を乱用した犯罪」の4つが40%を超え、「悪質危険な自動車やバイク等の運転」も30%を超えており、これらの犯罪に対しても不安を感じている人が多い。



(2) 性別、年齢別

回答者の属性別にみると、男女別では、「暴力団による犯罪」、「来日外国人による犯罪」は男性の方が7ポイント以上高く、「ストーカーやDVなどの犯罪」、「子供に対する犯罪」、「痴漢、下着泥棒、強制わいせつなど女性に対する犯罪」、「携帯電話やインターネットを利用したネット犯罪」は女性の方が7ポイント以上高い。

年齢別では、「子供に対する犯罪」は30代～50代が60%を超え、「携帯電話やインターネットを利用したネット犯罪」は40代が60%を超える。また「悪質商法などの経済犯罪」は50代が50%を超える。「ストーカーやDVなどの犯罪」は20代～50代が30%を超え60代以上よりも高い。

不安に感じている犯罪で、特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪(複数回答)

(単位: 件、%)

	合計	振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺	子供に対する犯罪	携帯電話やインターネットを利用したネット犯罪	未成年、少年・少女による犯罪	悪質商法などの経済犯罪	覚醒剤など薬物を乱用した犯罪	悪質危険な自動車やバイク等の運転	ストーカーやDV(ドメスティックバイオレンス)などの犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	不法投棄などの環境犯罪	痴漢、下着泥棒、強制わいせつなど女性に対する犯罪
全体	1,087	58.8	57.2	45.0	44.8	44.4	42.1	35.9	29.4	28.6	28.3	24.6
性別												
男性	464	60.3	53.0	41.4	43.5	47.4	45.0	36.0	25.2	29.7	31.0	20.0
女性	518	56.9	61.0	48.8	45.6	42.5	40.2	36.1	33.4	28.6	24.7	28.2

※無回答 105

	空き巣や事務所荒らしなどの侵入犯罪	暴力団による犯罪	自動(転)車盗やひったくりなどの街頭犯罪	拳銃など銃器を使用した犯罪	贈収賄などの汚職	来日外国人による犯罪	売春などの風俗に関わる犯罪	国際テロ組織などによるテロ行為	特にない	その他	わからない
全体	21.4	17.1	14.9	14.6	12.4	11.3	9.8	8.5	2.3	1.4	0.9
性別											
男性	20.5	22.8	14.2	17.2	15.3	15.3	9.5	9.5	3.4	1.3	0.6
女性	22.6	12.2	15.8	12.5	10.0	8.3	10.6	8.3	1.5	1.5	1.4

(単位: 件、%)

	合計	振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺	子供に対する犯罪	携帯電話やインターネットを利用したネット犯罪	未成年、少年・少女による犯罪	悪質商法などの経済犯罪	覚醒剤など薬物を乱用した犯罪	悪質危険な自動車やバイク等の運転	ストーカーやDV(ドメスティックバイオレンス)などの犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	不法投棄などの環境犯罪	痴漢、下着泥棒、強制わいせつなど女性に対する犯罪
年齢												
20～29歳	156	57.1	57.7	41.7	42.9	33.3	44.2	38.5	35.9	36.5	32.1	35.9
30～39歳	193	59.1	61.7	46.6	40.4	42.0	38.3	34.7	38.9	29.5	25.9	24.9
40～49歳	161	60.9	65.8	63.4	49.7	47.2	42.2	36.6	32.9	24.2	26.1	23.6
50～59歳	183	59.6	60.1	48.1	44.8	51.4	44.3	40.4	34.4	28.4	28.4	26.2
60～69歳	201	58.2	51.2	37.8	45.3	49.3	44.8	35.3	22.4	25.4	30.8	15.9
70歳以上	187	57.8	48.1	35.3	46.0	41.7	40.1	31.0	13.9	28.9	26.2	23.5

※無回答 6

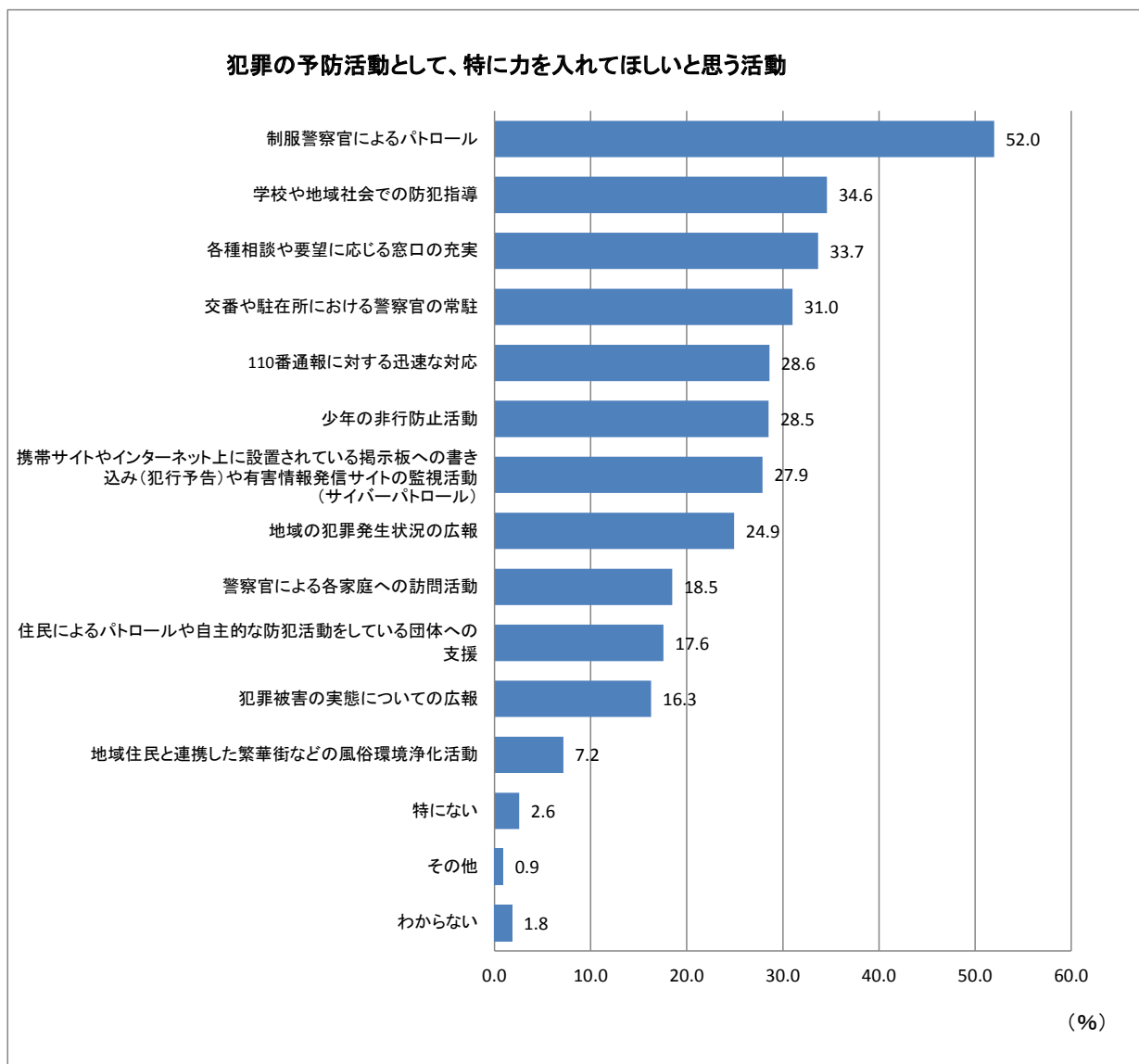
	空き巣や事務所荒らしなどの侵入犯罪	暴力団による犯罪	自動(転)車盗やひったくりなどの街頭犯罪	拳銃など銃器を使用した犯罪	贈収賄などの汚職	来日外国人による犯罪	売春などの風俗に関わる犯罪	国際テロ組織などによるテロ行為	特にない	その他	わからない
年齢											
20～29歳	26.9	19.2	18.6	16.0	13.5	11.5	12.8	9.6	2.6	1.3	0.0
30～39歳	21.8	15.5	16.6	14.5	15.0	12.4	9.3	9.3	2.1	2.1	0.5
40～49歳	16.8	15.5	16.1	15.5	10.6	13.7	9.9	8.7	1.9	1.2	0.0
50～59歳	23.0	19.7	16.4	17.5	9.8	13.1	9.8	8.7	1.6	1.6	1.6
60～69歳	21.4	12.9	10.4	12.4	13.4	10.4	8.5	6.0	2.5	0.5	0.5
70歳以上	19.8	20.3	12.3	12.8	11.2	7.5	9.6	9.1	3.2	1.6	2.7

□問 10 あなたが、犯罪の予防活動として、警察に特に力を入れてほしいと思うことはどのような活動ですか。(〇はいくつでも)

(1) 全体

回答者全体では、「制服警察官によるパトロール」が50%を超えて特に高い。続いて「学校や地域社会での防犯指導」、「各種相談や要望に応じる窓口の充実」、「交番や駐在所における警察官の常駐」が30%を超える。

これらに続くのが、「110番通報に対する迅速な対応」、「少年の非行防止活動」、「携帯サイトやインターネット上に設置されている掲示板への書き込み(犯行予告)や有害情報発信サイトの監視活動(サイバーパトロール)」、「地域の犯罪発生状況の広報」等で20%台となっている。



(2) 性別、年齢別

男女別にみると、違いが大きいのが「警察官による各家庭への訪問活動」で、男性の割合が21.6%で女性の15.3%を6.3ポイント上回っている。

年齢別では、「交番や駐在所における警察官の常駐」は30代、40代は20%台であり、他の年代よりも低い。「110番通報に対する迅速な対応」は20代が40.4%と最も高く、概して年齢が若いほど割合が高い傾向がある。「携帯サイトやインターネット上に設置されている掲示板への書き込みや有害情報発信サイトの監視活動」は30代、40代が30%を超え、他の年代よりも高い。「警察官による各家庭への訪問活動」は60代以上が20%を超え、他の年代よりも高い。

犯罪の予防活動として、特に力を入れてほしいと思う活動(複数回答)

(単位:件、%)

		合計	制服警察官によるパトロール	学校や地域社会での防犯指導	各種相談や要望に応じる窓口の充実	交番や駐在所における警察官の常駐	110番通報に対する迅速な対応	少年の非行防止活動	携帯サイトやインターネット上に設置されている掲示板への書き込み(犯行予告)や有害情報発信サイトの監視活動(サイバーパトロール)
全体		1,087	52.0	34.6	33.7	31.0	28.6	28.5	27.9
性別	男性	464	52.4	32.5	32.8	32.5	28.7	30.2	28.7
	女性	518	50.2	34.7	34.0	30.7	29.0	27.8	28.0

※無回答 105

		地域の犯罪発生状況の広報	警察官による各家庭への訪問活動	住民によるパトロールや自主的な防犯活動をしている団体への支援	犯罪被害の実態についての広報	地域住民と連携した繁華街などの風俗環境浄化活動	特にない	その他	わからない
全体		24.9	18.5	17.6	16.3	7.2	2.6	0.9	1.8
性別	男性	23.9	21.6	16.2	15.9	8.8	3.7	1.1	0.6
	女性	24.7	15.3	17.6	15.3	6.2	1.9	1.0	3.3

(単位:件、%)

		合計	制服警察官によるパトロール	学校や地域社会での防犯指導	各種相談や要望に応じる窓口の充実	交番や駐在所における警察官の常駐	110番通報に対する迅速な対応	少年の非行防止活動	携帯サイトやインターネット上に設置されている掲示板への書き込み(犯行予告)や有害情報発信サイトの監視活動(サイバーパトロール)
年齢	20～29歳	156	51.3	33.3	37.2	31.4	40.4	27.6	28.2
	30～39歳	193	51.8	34.7	38.3	24.9	30.6	29.5	32.1
	40～49歳	161	50.9	39.1	36.6	23.6	33.5	25.5	41.6
	50～59歳	183	54.6	32.8	38.8	41.0	25.7	27.9	29.5
	60～69歳	201	54.7	34.8	32.8	30.8	22.4	30.8	21.9
	70歳以上	187	48.1	32.6	19.3	34.2	21.9	29.4	16.6

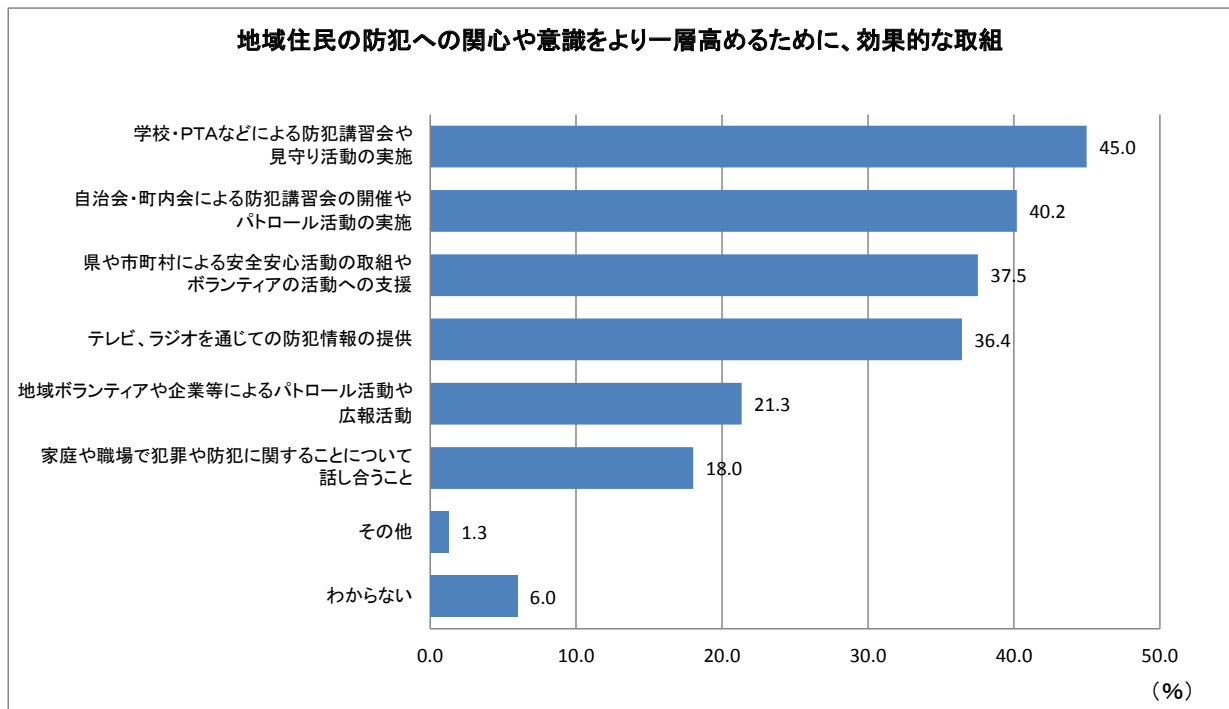
※無回答 6

		地域の犯罪発生状況の広報	警察官による各家庭への訪問活動	住民によるパトロールや自主的な防犯活動をしている団体への支援	犯罪被害の実態についての広報	地域住民と連携した繁華街などの風俗環境浄化活動	特にない	その他	わからない
年齢	20～29歳	28.2	17.9	20.5	19.2	10.3	2.6	1.3	2.6
	30～39歳	28.0	11.4	15.0	22.8	5.7	1.6	1.0	2.1
	40～49歳	22.4	12.4	10.6	15.5	6.2	1.2	0.6	2.5
	50～59歳	26.2	13.7	18.6	16.9	4.4	2.7	1.1	0.5
	60～69歳	24.9	24.9	19.4	13.4	7.5	4.0	0.5	2.0
	70歳以上	20.9	29.4	20.3	10.7	9.1	3.2	1.1	1.6

□問 11 あなたは地域住民の防犯への関心や意識をより一層高めるために、警察活動以外にどのような取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「学校・PTAなどによる防犯講習会や見守り活動の実施」、「自治会・町内会による防犯講習会の開催やパトロール活動の実施」が40%を超える。続いて、「県や市町村による安全安心活動の取組やボランティアの活動への支援」、「テレビ、ラジオを通じての防犯情報の提供」が30%を超える。

回答者の属性別にみると、男女別では、「自治会・町内会による防犯講習会の開催やパトロール活動の実施」は男性が女性より8.9ポイント高い。年齢別では、「地域ボランティアや企業等によるパトロール活動や広報活動」は、20代が30.8%で最も高く、概して年齢が若いほど割合が高い傾向がある。



(単位:件、%)

	合計	学校・PTAなどによる防犯講習会や見守り活動の実施	自治会・町内会による防犯講習会の開催やパトロール活動の実施	県や市町村による安全安心活動の取組やボランティアの活動への支援	テレビ、ラジオを通じての防犯情報の提供	地域ボランティアや企業等によるパトロール活動や広報活動	家庭や職場で犯罪や防犯に関する話について話し合うこと	その他	わからない	
全体	1,087	45.0	40.2	37.5	36.4	21.3	18.0	1.3	6.0	
性別	男性	464	47.8	44.4	36.6	35.6	21.6	16.8	2.2	3.9
	女性	518	43.6	35.5	37.5	36.9	21.2	19.7	0.8	8.5

※無回答 105

年齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	156	193	161	183	201	187
	39.1	42.0	47.2	48.6	48.3	44.9
	43.6	29.5	30.4	47.0	50.2	40.1
	41.7	37.8	40.4	40.4	33.8	31.6
	35.9	40.4	36.6	37.2	41.3	27.3
	30.8	24.4	22.4	18.6	19.4	14.4
	19.2	18.7	18.0	19.1	15.4	17.6
	1.9	2.6	0.0	1.1	1.5	0.5
	4.5	3.6	8.7	5.5	5.0	9.1

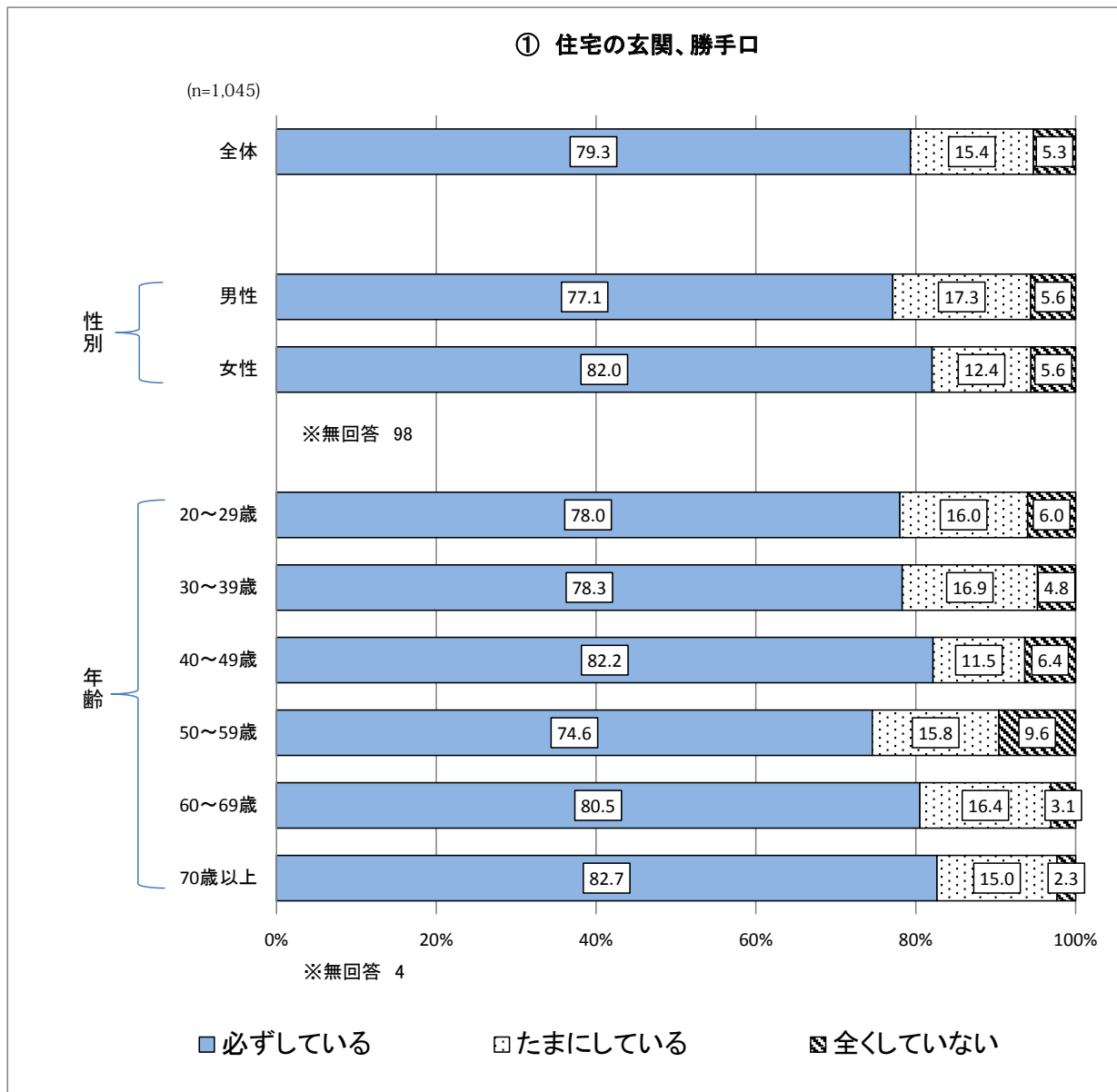
※無回答 6

□問 12 あなたは、盗難被害に遭わないために「鍵掛け」をどの程度していますか。

①住宅の玄関、勝手口

回答者全体では、「必ずしている」が79.3%と8割近い。その一方、「たまにしている」は15.4%、「全くしていない」は5.3%であり、全体の約2割が必ずしも玄関・勝手口の鍵を掛けていないという結果となった。

回答者の属性別にみると、男女別では、女性は「必ずしている」が男性より4.9ポイント高く、より防犯への意識が高い。年齢別では、50代は「必ずしている」が最低の74.6%、「全くしていない」が最高の9.6%と、「鍵掛け」をする割合が年代別で一番低い。

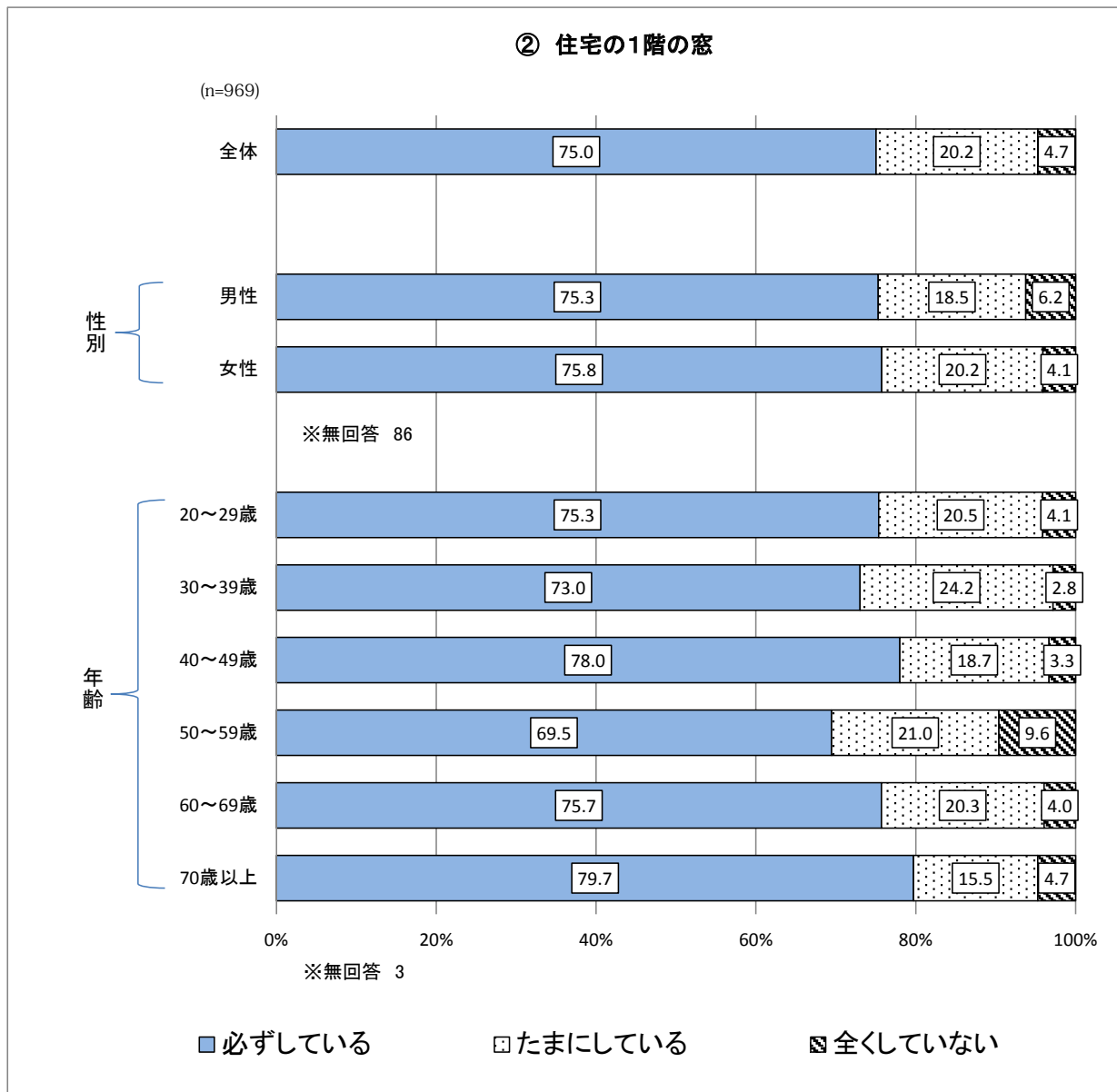


□問 12 あなたは、盗難被害に遭わないために「鍵掛け」をどの程度していますか。

② 住宅の1階の窓

回答者全体では、「必ずしている」が75.0%、「たまにしている」が20.2%と、「鍵掛け」をする割合は玄関・勝手口よりやや低い。

回答者の属性別にみると、男女別ではあまり大きな違いはみられない。年齢別では、50代は「必ずしている」が最低の69.5%、「全くしていない」が最高の9.6%であり、玄関・勝手口と同様に「鍵掛け」をする割合が年代別で一番低い。

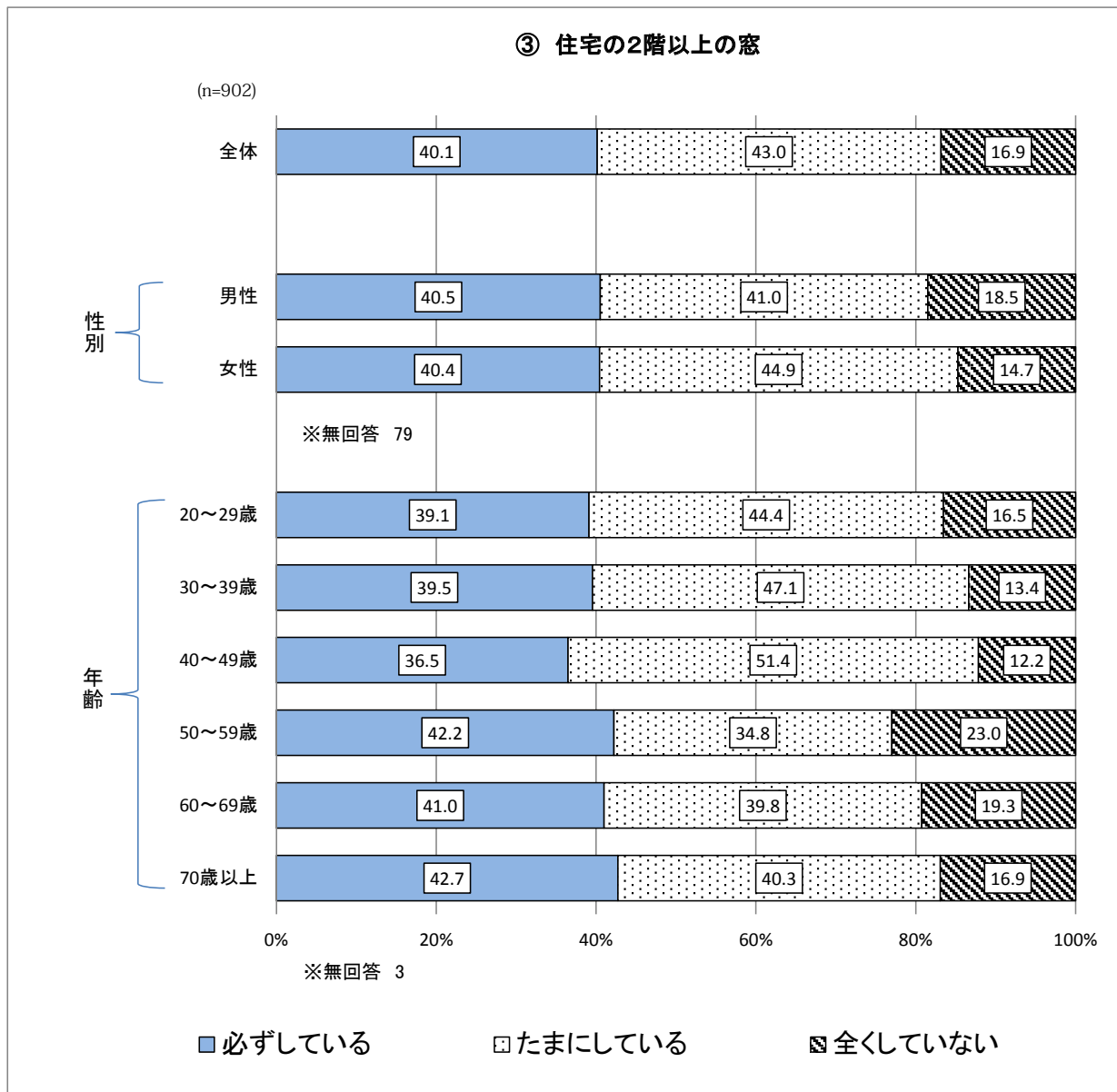


□問 12 あなたは、盗難被害に遭わないために「鍵掛け」をどの程度していますか。

③ 住宅の2階以上の窓

回答者全体では、「必ずしている」の割合は40.1%で「②住宅の1階の窓」に比べ34.9ポイント低い。一方、「たまにしている」は43.0%で「必ずしている」を上回る。2階以上の窓に関しては1階の窓ほど「鍵掛け」がされていないことが分かる。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「全くしていない」が女性より3.8ポイント高く、より防犯への意識が低い傾向がある。年齢別では、50代以上は「必ずしている」が40%を超え40代以下よりも高いものの、一方では、「全くしていない」の割合も40代以下より高く、防犯への意識が高い人と低い人に分かれる傾向がある。

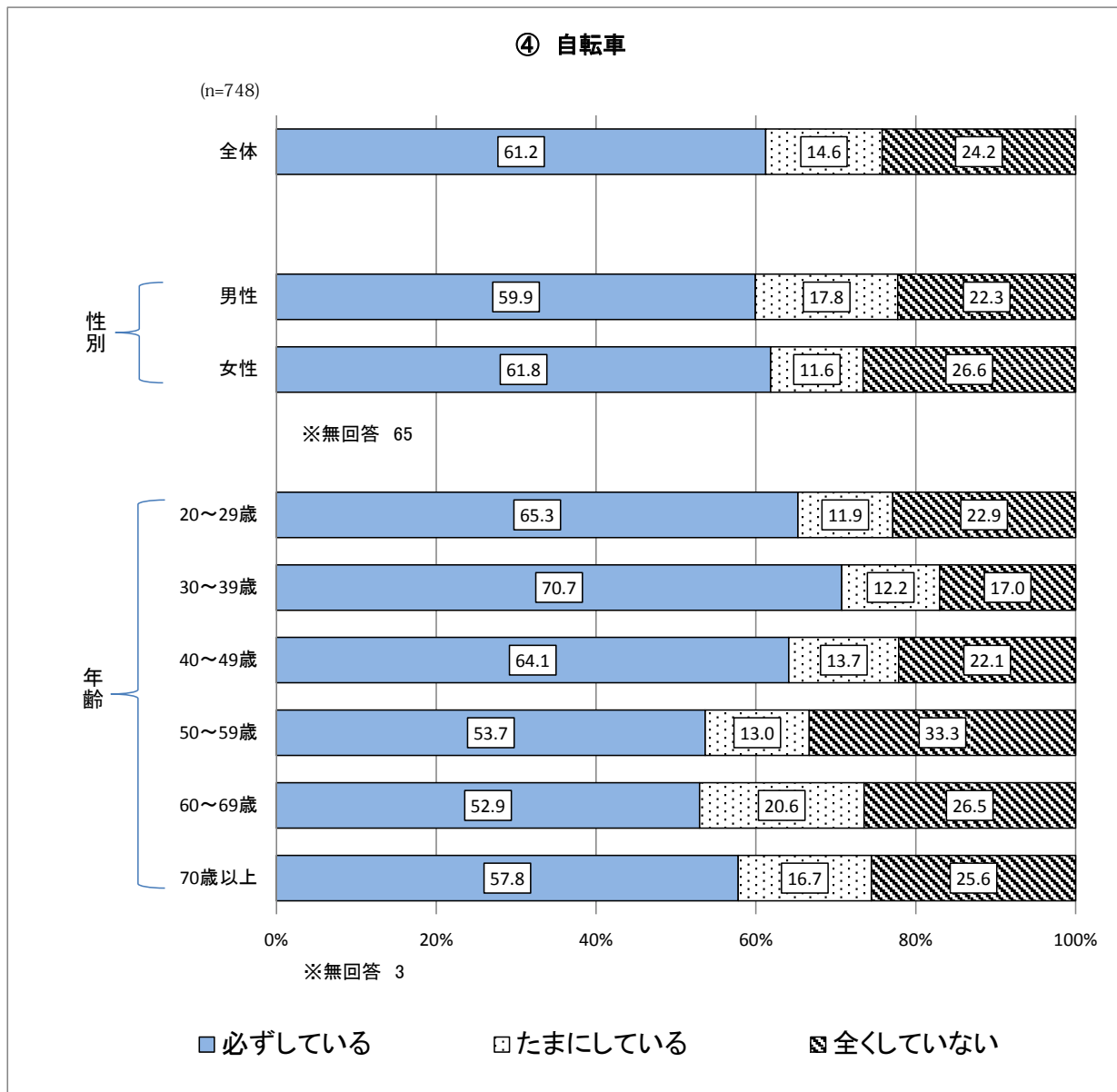


□問 12 あなたは、盗難被害に遭わないために「鍵掛け」をどの程度していますか。

④ 自転車

回答者全体では、「必ずしている」が61.2%、「全くしていない」は24.2%であり、「①住宅の玄関・勝手口」、「②住宅の1階の窓」に比べて「鍵掛け」をしている割合が低い。

回答者の属性別にみると、男女別では、女性は男性に比べ「たまにしている」の割合が低く、「必ずしている」、「全くしていない」の割合が高いことから、両極端に分かれる傾向がある。年齢別では、20代～40代は、「必ずしている」が60%を超え、50代以上より高く、「全くしていない」は50代以上より低いことから、40代以下は「鍵掛け」をする割合がより高いことが分かる。

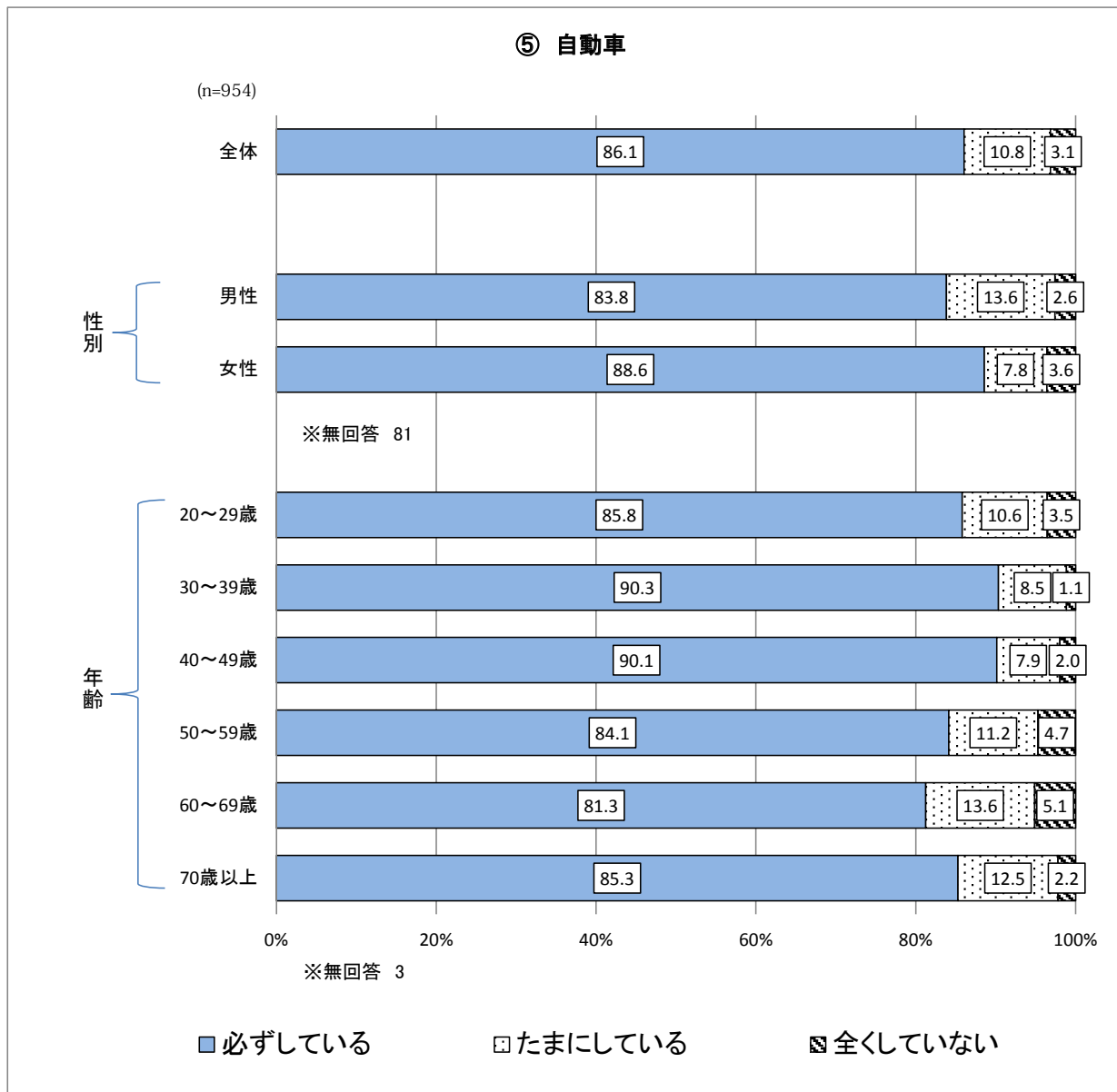


□問 12 あなたは、盗難被害に遭わないために「鍵掛け」をどの程度していますか。

⑤ 自動車

回答者全体では、「必ずしている」が 86.1%と問 12 の項目中で最も高い。「全くしていない」は 3.1%で問 12 の項目中で最も低い。自動車に関しては最も防犯への意識が高く「鍵掛け」がされていることが分かる。

回答者の属性別にみると、男女別では、女性は「必ずしている」が男性より 4.8 ポイント高く、より防犯への意識が高い。年齢別では、30 代、40 代は「必ずしている」が 90%を超え、他の年代に比べて「鍵掛け」をする割合が高い。

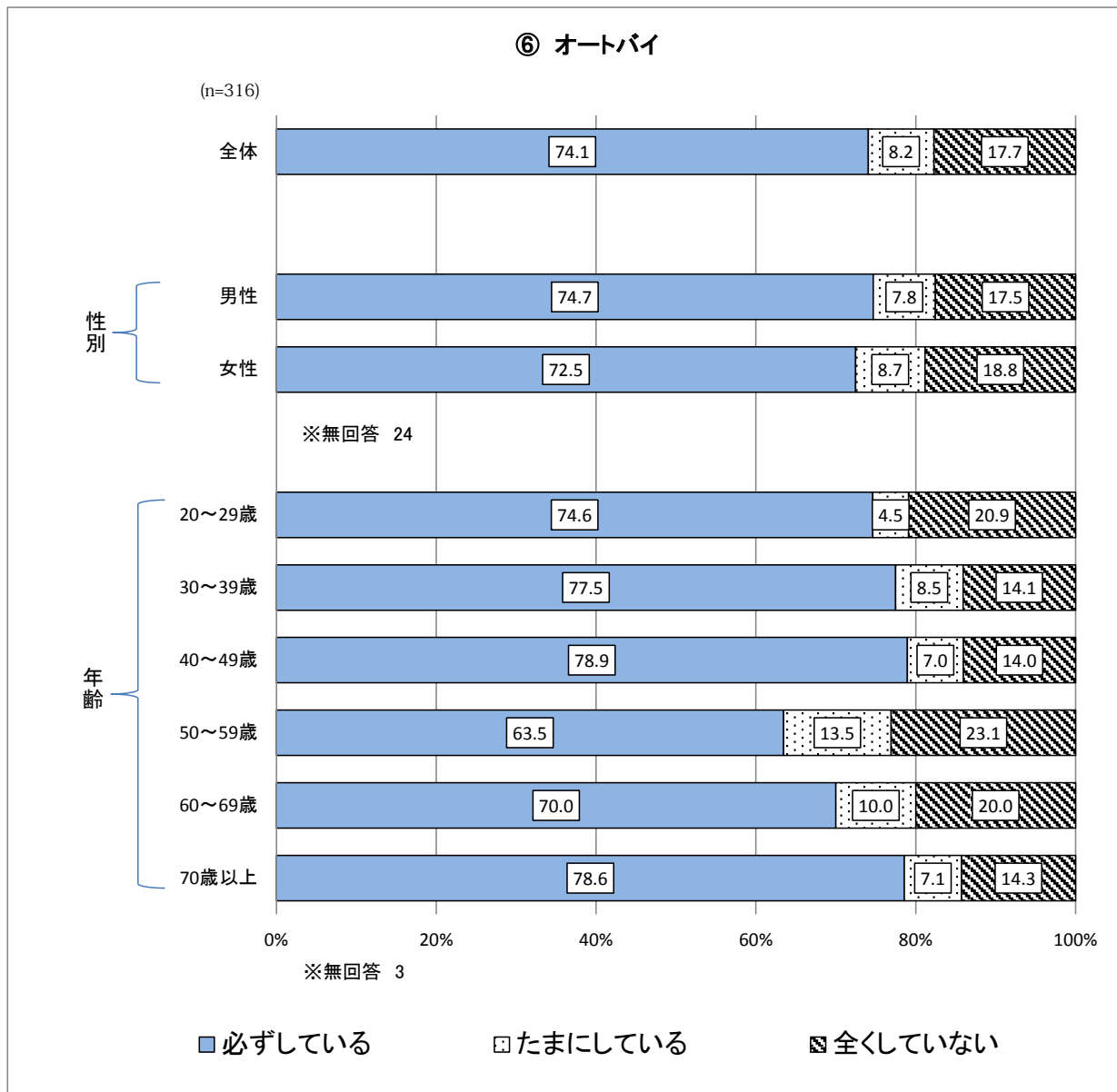


□問 12 あなたは、盗難被害に遭わないために「鍵掛け」をどの程度していますか。

⑥ オートバイ

回答者全体では、「必ずしている」は74.1%であり、「⑤自動車」よりも低いものの「②住宅の1階の窓」と同程度の割合となっている。一方、「全くしていない」も17.7%ある。

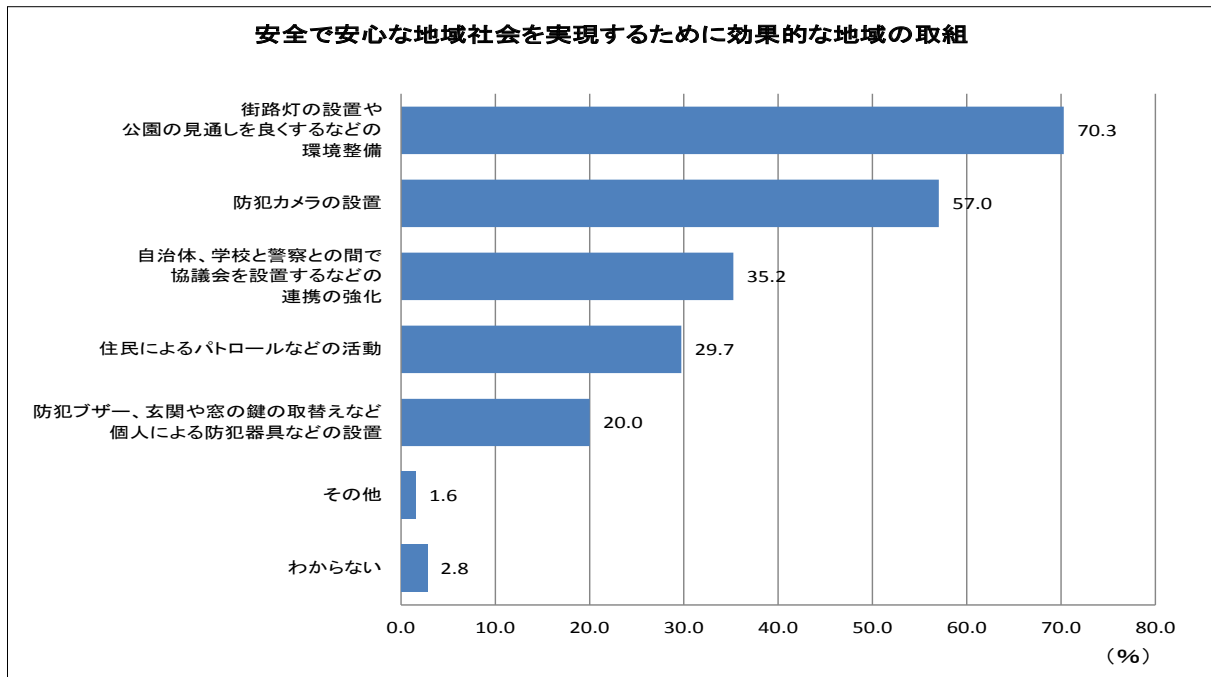
回答者の属性別にみると、男女別では、あまり大きな違いはみられない。年齢別では、50代、60代で「必ずしている」割合が低い。特に50代は、「全くしていない」が年代別で最も高く、「鍵掛け」をしていない傾向が強い。



□問 13 あなたは、安全で安心な地域社会を実現するための地域の取組として、どのようなものが効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「街路灯の設置や公園の見通しを良くするなどの環境整備」が70.3%で最も高い。続いて「防犯カメラの設置」が57.0%で高い。

回答者の属性別にみると、男女別ではあまり大きな違いはみられない。年齢別では、「防犯ブザー、玄関や窓の鍵の取替えなど個人による防犯器具などの設置」は40代以下が20%を超え、50代以上よりも高い。



(単位: 件、%)

	合計	街路灯の設置や公園の見通しを良くするなどの環境整備	防犯カメラの設置	自治体、学校と警察との間で協議会を設置するなどの連携の強化	住民によるパトロールなどの活動	防犯ブザー、玄関や窓の鍵の取替えなど個人による防犯器具などの設置	その他	わからない	
全体	1,087	70.3	57.0	35.2	29.7	20.0	1.6	2.8	
性別	男性	464	68.1	57.8	35.8	31.0	18.3	2.2	2.4
	女性	518	71.2	55.6	33.8	28.6	21.4	1.2	3.7

※無回答 105

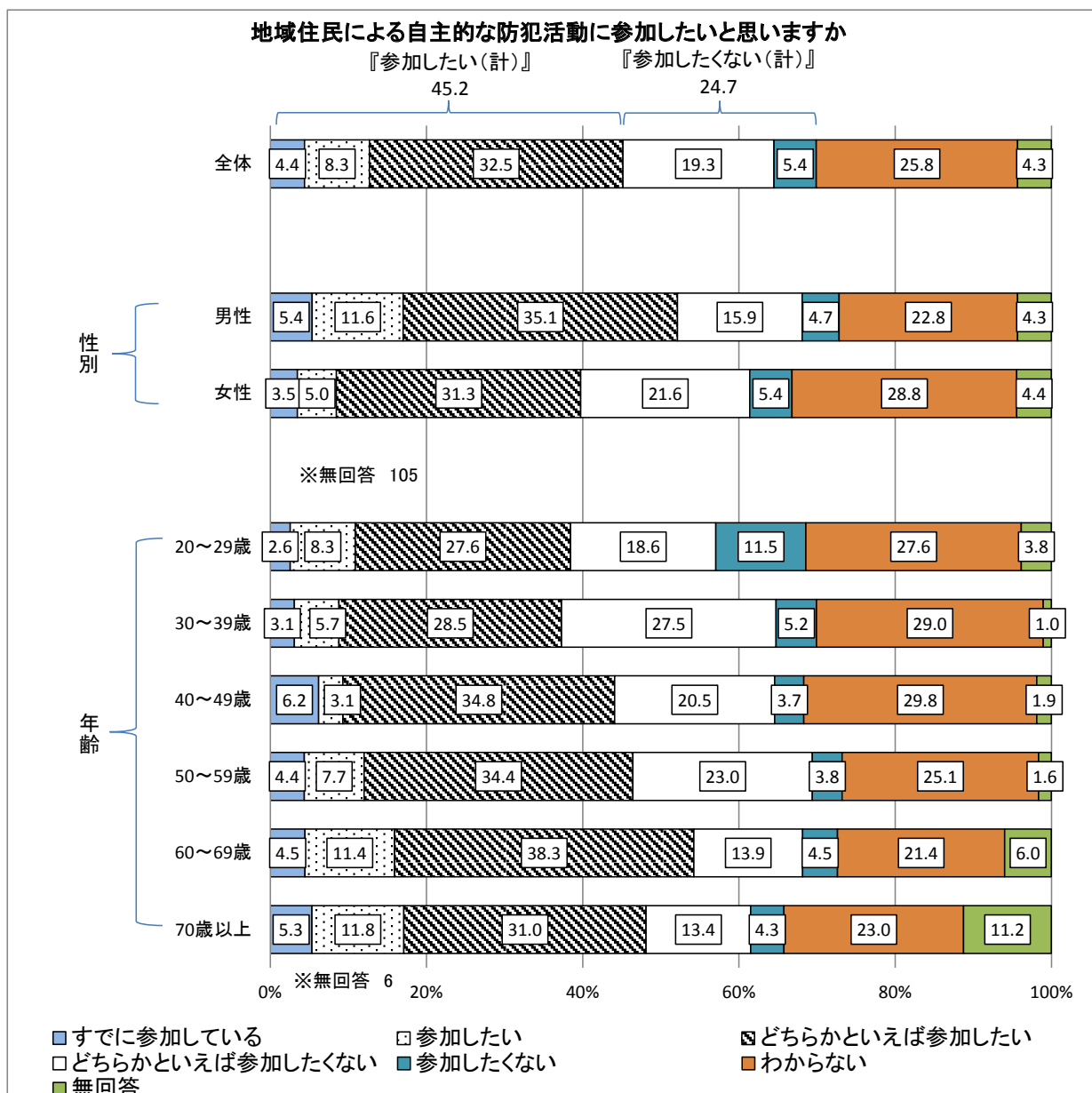
年齢	20～29歳	156	73.7	54.5	34.6	34.6	26.9	2.6	1.3
	30～39歳	193	71.0	58.5	35.2	31.1	26.9	1.0	1.6
40～49歳	161	68.3	60.9	31.1	21.7	20.5	1.2	3.1	
50～59歳	183	68.9	61.2	31.1	25.7	15.8	3.3	3.3	
60～69歳	201	73.1	57.7	40.8	31.8	17.4	0.0	2.0	
70歳以上	187	66.3	50.3	36.9	32.1	13.9	1.6	5.3	

※無回答 6

□問 14 あなたは、地域住民による自主的な防犯活動に参加したいと思いますか。

回答者全体では、「すでに参加している」、「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」の合計（以下、「参加したい（計）」と表記）は 45.2%であり、全体の半数近くが自主的な防犯活動に積極的である。これに対し「どちらかといえば参加したくない」、「参加したくない」の合計は 24.7%である。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「参加したい（計）」が女性より 12.3 ポイント高く、より参加に積極的である。年齢別では、「参加したい（計）」は 60 代が最も高く 54.2%である。50 代以上は 45%を超え、40 代以下よりも高いことから、年齢が高い層がより参加に積極的な意識を持っている。

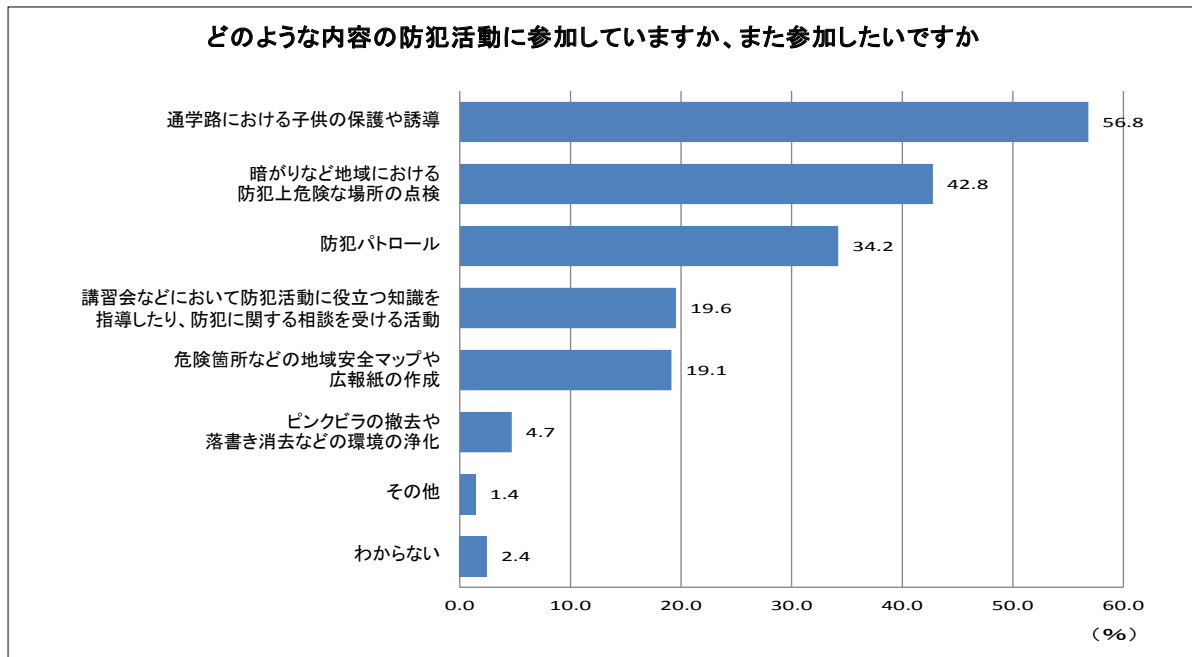


□問 15 (問 14 で「1 すでに参加している」「2 参加したい」「3 どちらかといえば参加したい」と答えた方だけにお聞きします)

あなたは、どのような内容の防犯活動に参加していますか。また、参加したいと思いませんか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「通学路における子供の保護や誘導」が 56.8% で最も高い。「暗がりなど地域における防犯上危険な場所の点検」が 42.8%、「防犯パトロール」が 34.2% で続く。

回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「暗がりなど地域における防犯上危険な場所の点検」、「防犯パトロール」の割合が女性より 10 ポイント以上高い。年齢別では「通学路における子供の保護や誘導」は、40 代以下が 50 代以上に比べ高い。



(単位: 件、%)

		合計	通学路における子供の保護や誘導	暗がりなど地域における防犯上危険な場所の点検	防犯パトロール	講習会などにおいて防犯活動に役立つ知識を指導したり、防犯に関する相談を受ける活動	危険箇所などの地域安全マップや広報紙の作成	ピンクビラの撤去や落書き消去などの環境の浄化	その他	わからない
全体		491	56.8	42.8	34.2	19.6	19.1	4.7	1.4	2.4
性別	男性	242	55.4	49.6	43.8	19.0	21.9	5.0	2.1	1.7
	女性	206	60.2	36.4	21.4	19.4	15.5	5.3	1.0	3.9

※無回答 43

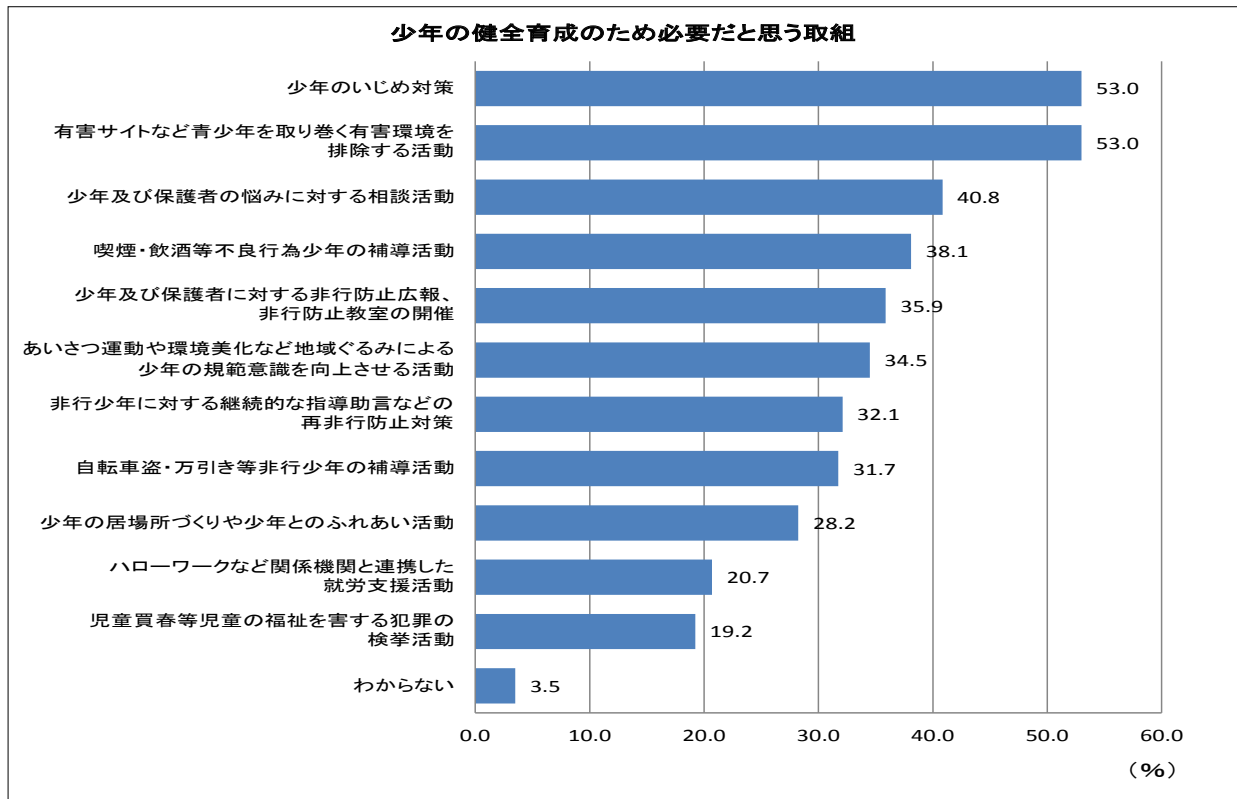
年齢	20～29歳	60	58.3	36.7	45.0	20.0	18.3	3.3	3.3	1.7
	30～39歳	72	62.5	37.5	34.7	25.0	22.2	6.9	1.4	1.4
	40～49歳	71	66.2	36.6	35.2	14.1	5.6	4.2	2.8	2.8
	50～59歳	85	52.9	43.5	32.9	22.4	22.4	3.5	0.0	2.4
	60～69歳	109	51.4	48.6	31.2	21.1	25.7	6.4	0.0	3.7
	70歳以上	90	54.4	48.9	31.1	15.6	16.7	3.3	2.2	2.2

※無回答 4

□問 16 あなたが、少年の健全育成のため必要だと思う取組はどのような取組ですか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「少年のいじめ対策」、「有害サイトなど青少年を取り巻く有害環境を排除する活動」が 53.0%と高い。「少年及び保護者の悩みに対する相談活動」が 40.8%で続く。

回答者の属性別にみると、男女別では、女性は「有害サイトなど青少年を取り巻く有害環境を排除する活動」が男性より 6.6 ポイント高い。年齢別では、「少年のいじめ対策」、「有害サイトなど青少年を取り巻く有害環境を排除する活動」とも 40 代以下の割合が 50 代以上より高い。



(単位:件、%)

	合計	少年のいじめ対策	有害サイトなど青少年を取り巻く有害環境を排除する活動	少年及び保護者の悩みに対する相談活動	喫煙・飲酒等不良行為少年の補導活動	少年及び保護者に対する非行防止広報、非行防止教室の開催	あいさつ運動や環境美化など地域ぐるみによる少年の規範意識を向上させる活動	非行少年に対する継続的な指導助言などの再非行防止対策	自転車盗・万引き等非行少年の補導活動	少年の居場所づくりや少年とのふれあい活動	ハローワークなど関係機関と連携した就労支援活動	児童買春等児童の福祉を害する犯罪の検挙活動	わからない
全体	1,087	53.0	53.0	40.8	38.1	35.9	34.5	32.1	31.7	28.2	20.7	19.2	3.5
性別													
男性	464	52.2	49.4	38.1	37.9	37.5	36.9	31.5	31.5	25.0	17.9	19.4	3.9
女性	518	53.7	56.0	41.9	37.8	32.6	31.7	32.8	31.5	30.1	21.8	18.7	3.7

※無回答 105

年齢	人数	少年のいじめ対策	有害サイトなど青少年を取り巻く有害環境を排除する活動	少年及び保護者の悩みに対する相談活動	喫煙・飲酒等不良行為少年の補導活動	少年及び保護者に対する非行防止広報、非行防止教室の開催	あいさつ運動や環境美化など地域ぐるみによる少年の規範意識を向上させる活動	非行少年に対する継続的な指導助言などの再非行防止対策	自転車盗・万引き等非行少年の補導活動	少年の居場所づくりや少年とのふれあい活動	ハローワークなど関係機関と連携した就労支援活動	児童買春等児童の福祉を害する犯罪の検挙活動	わからない
20~29歳	156	59.6	56.4	47.4	43.6	35.9	37.2	35.3	37.8	32.1	23.7	21.8	2.6
30~39歳	193	62.7	57.0	43.5	44.0	39.9	34.2	35.8	36.8	35.2	23.8	23.3	0.5
40~49歳	161	60.2	64.0	37.9	32.9	29.2	28.0	29.8	30.4	28.6	19.3	20.5	3.7
50~59歳	183	47.5	50.8	44.8	33.3	34.4	29.5	35.0	29.5	24.0	24.6	14.2	5.5
60~69歳	201	55.2	53.7	39.8	33.3	35.3	39.8	30.8	30.8	26.4	19.9	16.4	2.5
70歳以上	187	34.2	38.0	32.1	42.8	39.0	37.4	27.3	26.2	24.1	13.9	19.8	6.4

※無回答 6

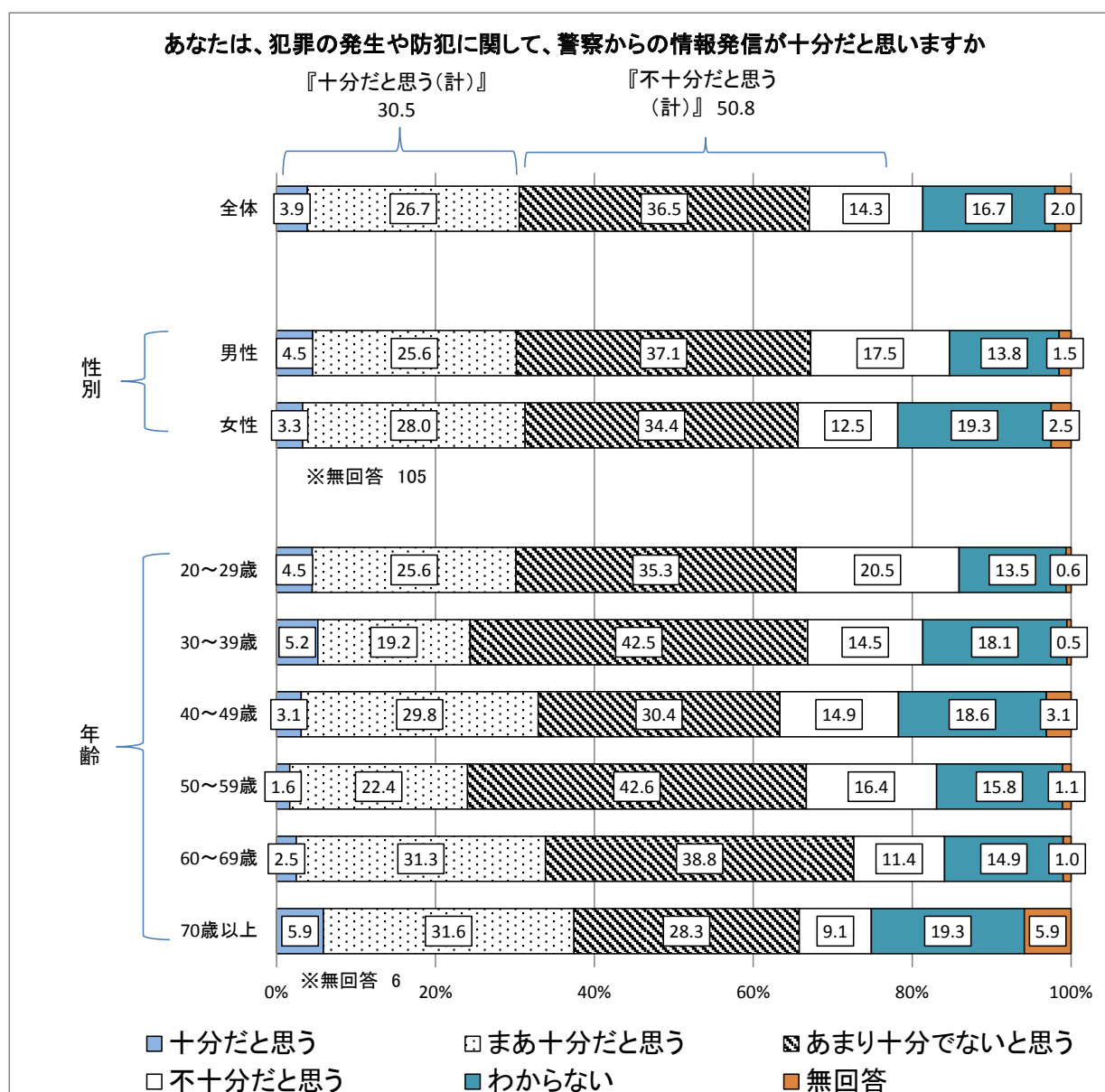
4 広報広聴について

□問 17 (全員にお聞きします)

あなたは、犯罪の発生や防犯に関して、警察からの情報発信が十分だと思いますか。

回答者全体では、「十分だと思う」、「まあ十分だと思う」の割合の合計(以下、「十分だと思う(計)」と表記)は30.5%、一方、「あまり十分でないと思う」、「不十分だと思う」の割合の合計(以下、「不十分だと思う(計)」と表記)は50.8%と半分を超え、不十分だと思っている人の方が多い。

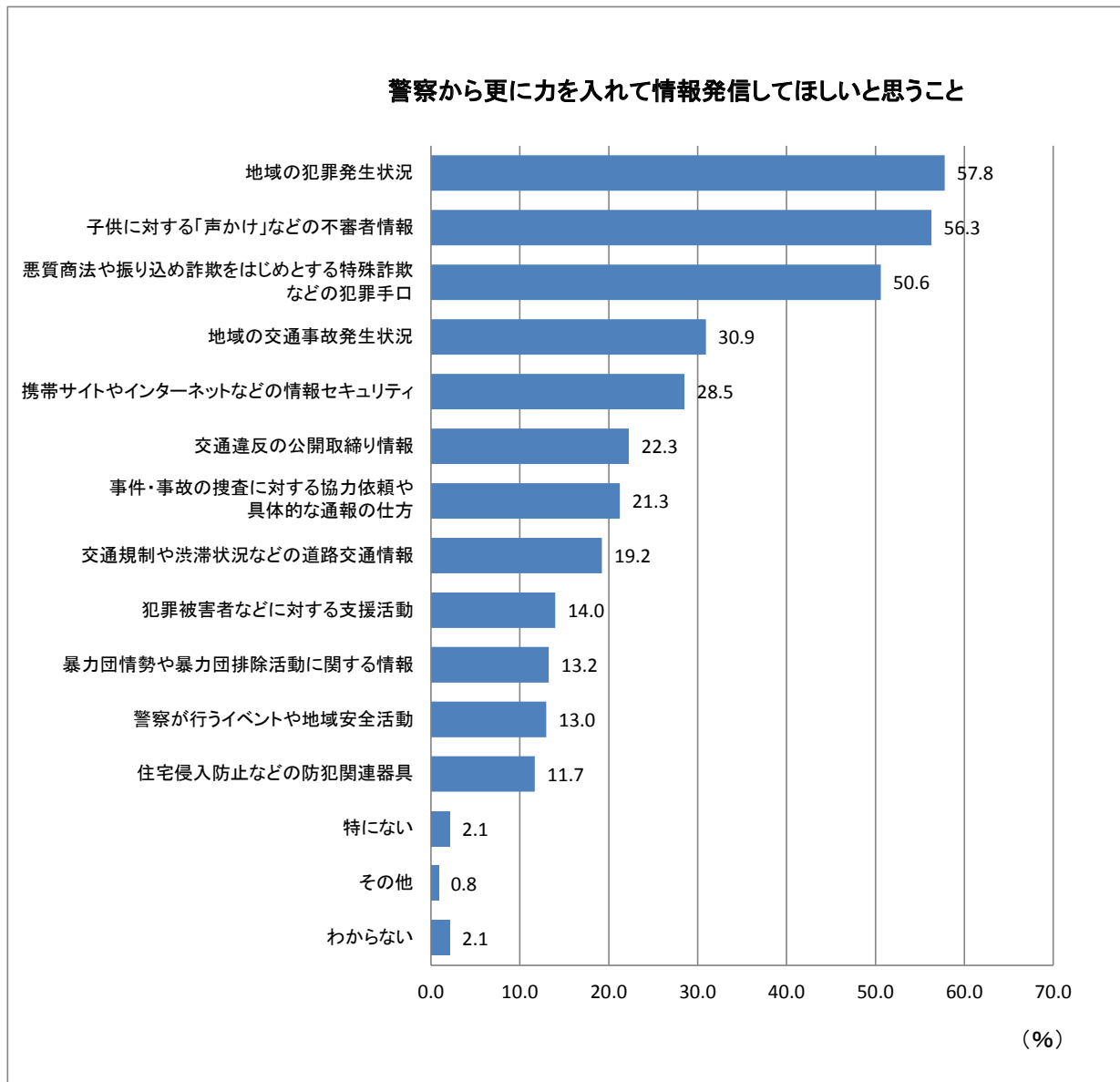
回答者の属性別にみると、男女別では、男性は「不十分だと思う(計)」が女性より7.6ポイント高い。年齢別では、60代以下は「不十分だと思う(計)」が「十分だと思う(計)」を10ポイント以上上回るが、70歳以上は「不十分だと思う(計)」と「十分だと思う(計)」が同率の37.4%で他の年代に比べ十分だと思う人が多い。



□問 18 あなたが安全で安心して暮らすために、警察から更に力を入れて情報発信してほしいと思うことはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

(1) 全体

「地域の犯罪発生状況」、「子供に対する『声かけ』などの不審者情報」、「悪質商法や振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺などの犯罪手口」が50%を超え、情報発信を要望する人が多い。続いて「地域の交通事故発生状況」が30%を超え、「携帯サイトやインターネットなどの情報セキュリティ」、「交通違反の公開取締り情報」、「事件・事故の捜査に対する協力依頼や具体的な通報の仕方」が20%台となっている。



(2) 年齢、性別

回答者の属性別にみると、男女別では、「子供に対する『声かけ』などの不審者情報」、「携帯サイトやインターネットなどの情報セキュリティ」の割合は、女性が男性より7ポイント以上高く、「交通違反の公開取締り情報」、「暴力団情勢や暴力団排除活動に関する情報」、「交通規制や渋滞状況などの道路交通情報」の割合は、男性が女性より7ポイント以上高い。

年齢別では、「地域の犯罪発生状況」、「地域の交通事故発生状況」、「事件・事故の捜査に対する協力依頼や具体的な通報の仕方」は、年齢が若いほど割合が高い傾向があり、「悪質商法や振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺などの犯罪手口」は年齢が高いほど割合が高い傾向がある。「子供に対する『声かけ』などの不審者情報」は30代、40代の子育て世代の割合が高い。

警察から更に力を入れて情報発信してほしいと思うこと(複数回答)

(単位:件、%)

		合計	地域の犯罪発生状況	子供に対する「声かけ」などの不審者情報	悪質商法や振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺などの犯罪手口	地域の交通事故発生状況	携帯サイトやインターネットなどの情報セキュリティ	交通違反の公開取締り情報	事件・事故の捜査に対する協力依頼や具体的な通報の仕方
全体		1,087	57.8	56.3	50.6	30.9	28.5	22.3	21.3
性別	男性	464	58.0	50.9	51.9	33.2	24.8	27.6	22.4
	女性	518	56.0	60.8	49.0	28.4	32.6	18.3	20.3

※無回答 105

		交通規制や渋滞状況などの道路交通情報	犯罪被害者などに対する支援活動	暴力団情勢や暴力団排除活動に関する情報	警察が行うイベントや地域安全活動	住宅侵入防止などの防犯関連器具	特にない	その他	わからない
全体		19.2	14.0	13.2	13.0	11.7	2.1	0.8	2.1
性別	男性	23.5	14.9	17.5	14.0	11.4	3.2	1.3	1.5
	女性	15.8	13.1	8.9	12.0	12.4	1.5	0.6	3.1

(単位:件、%)

		合計	地域の犯罪発生状況	子供に対する「声かけ」などの不審者情報	悪質商法や振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺などの犯罪手口	地域の交通事故発生状況	携帯サイトやインターネットなどの情報セキュリティ	交通違反の公開取締り情報	事件・事故の捜査に対する協力依頼や具体的な通報の仕方
年齢	20～29歳	156	66.0	51.9	46.2	44.2	32.1	23.7	26.9
	30～39歳	193	63.7	65.8	48.2	36.3	33.2	25.9	24.4
	40～49歳	161	62.1	63.4	52.2	29.2	40.4	26.1	20.5
	50～59歳	183	57.4	50.3	50.3	33.9	28.4	23.0	21.3
	60～69歳	201	50.7	56.2	52.2	25.4	23.9	19.9	19.9
	70歳以上	187	50.3	50.3	53.5	19.3	15.5	16.0	16.0

※無回答 6

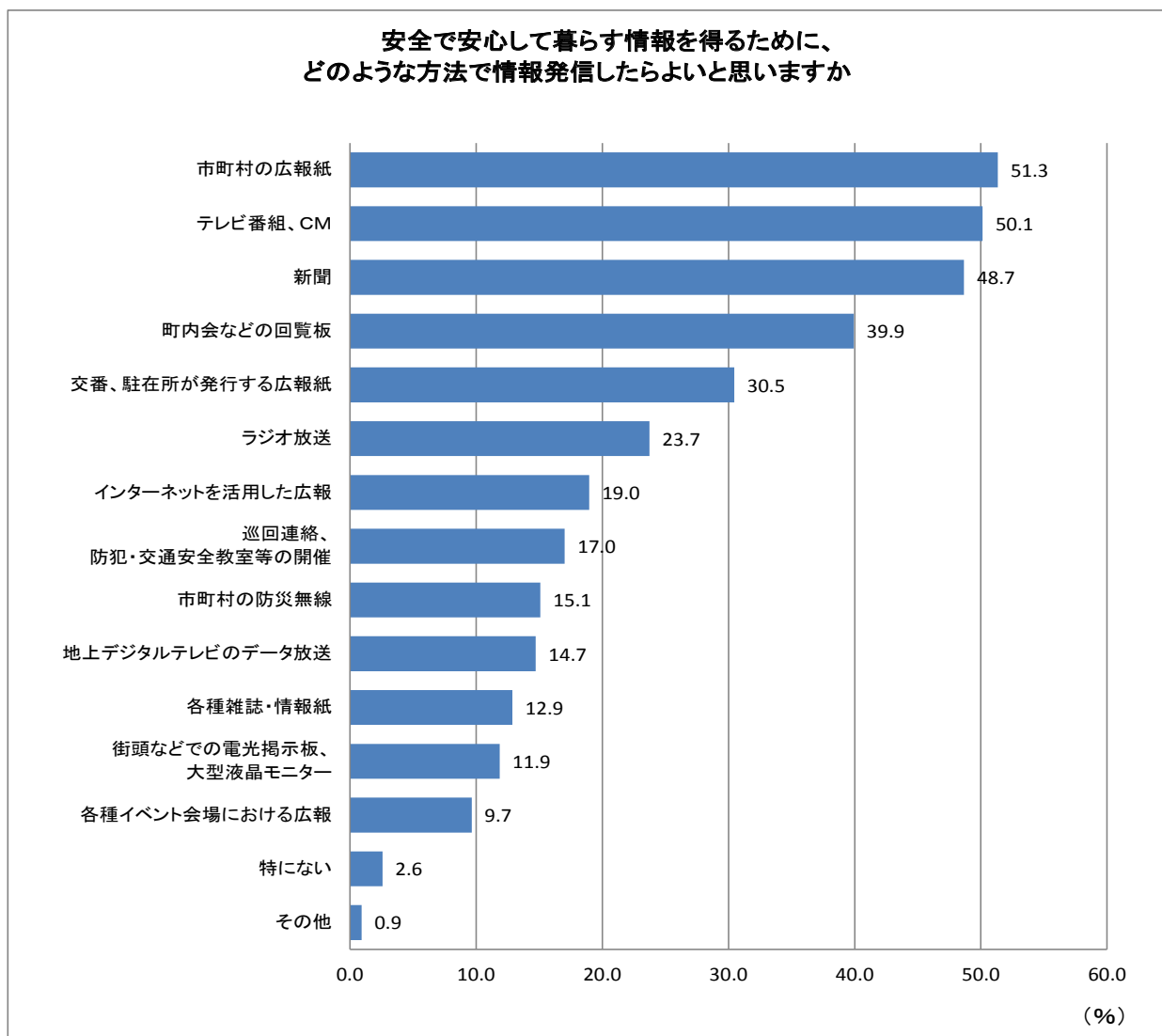
		交通規制や渋滞状況などの道路交通情報	犯罪被害者などに対する支援活動	暴力団情勢や暴力団排除活動に関する情報	警察が行うイベントや地域安全活動	住宅侵入防止などの防犯関連器具	特にない	その他	わからない
年齢	20～29歳	24.4	16.0	16.7	17.3	13.5	1.9	0.0	0.6
	30～39歳	18.7	19.2	16.1	10.9	8.8	1.0	0.5	2.1
	40～49歳	20.5	15.5	14.3	8.7	12.4	1.2	0.6	1.2
	50～59歳	20.2	12.0	7.7	10.9	13.1	1.6	1.6	1.6
	60～69歳	19.4	13.4	10.4	14.9	10.4	3.0	1.5	3.0
	70歳以上	13.4	8.0	14.4	15.5	12.8	3.7	0.5	3.7

□問 19 あなたは、安全で安心して暮らす情報を得るために、警察がどのような方法で情報発信したらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

(1) 全体

「市町村の広報紙」、「テレビ番組、CM」の二つが50%を超え、「新聞」も50%近い割合となっている。続いて、「町内会などの回覧板」、「交番、駐在所が発行する広報紙」が30%台、「ラジオ放送」が20%台の割合となっている。

「インターネットを活用した広報」、「巡回連絡、防犯・交通安全教室等の開催」、「市町村の防災無線」、「地上デジタルテレビのデータ放送」、「各種雑誌・情報紙」、「街頭などでの電光掲示板、大型液晶モニター」は10%台の割合であった。



(2) 性別、年齢別

回答者の属性別にみると、男女別では、「インターネットを活用した広報」、「ラジオ放送」は、男性が女性より8ポイント以上割合が高く、「市町村の広報紙」は女性が男性よりも6.5ポイント高い。

年齢別では、「交番、駐在所が発行する広報紙」は50代以上が30%を超え40代以下の年代に比べて高い。「インターネットを活用した広報」は40代以下が20%を超え、50代以上の年代に比べて高い。「新聞」、「町内会などの回覧板」に関しては、40代が他の年代よりも低いという特徴がある。

安全で安心して暮らす情報を得るために、どのような方法で情報発信したらよいと思いますか(複数回答)

(単位:件、%)

		合計	市町村の 広報紙	テレビ番 組、CM	新聞	町内会な どの回覧 板	交番、駐 在所が発 行する広 報紙	ラジオ放 送	インター ネットを 活用した 広報
全体		1,087	51.3	50.1	48.7	39.9	30.5	23.7	19.0
性別	男性	464	47.6	49.8	48.9	37.9	32.5	27.6	24.1
	女性	518	54.1	50.2	48.5	40.0	28.0	19.5	13.7

※無回答 105

		巡回連 絡、防犯・ 交通安全 教室等の 開催	市町村の 防災無線	地上デジ タルテレビ のデータ 放送	各種雑 誌・情報 紙	街頭など での電光 掲示板、 大型液晶 モニター	各種イベ ント会場に おける広 報	特にな い	その他
全体		17.0	15.1	14.7	12.9	11.9	9.7	2.6	0.9
性別	男性	18.1	13.4	15.5	12.5	14.0	12.3	2.8	0.9
	女性	15.8	16.2	13.9	13.7	10.4	6.6	2.7	1.2

(単位:件、%)

		合計	市町村の 広報紙	テレビ番 組、CM	新聞	町内会な どの回覧 板	交番、駐 在所が発 行する広 報紙	ラジオ放 送	インター ネットを 活用した 広報
年齢	20～29歳	156	53.8	58.3	57.7	47.4	25.0	28.8	30.1
	30～39歳	193	51.8	58.5	47.7	36.3	24.4	25.9	22.8
	40～49歳	161	55.3	45.3	37.9	29.8	19.9	21.7	28.6
	50～59歳	183	47.0	55.2	54.6	32.8	32.2	23.0	19.1
	60～69歳	201	55.7	45.3	44.8	48.8	37.3	24.4	9.5
	70歳以上	187	45.5	40.6	50.3	43.3	41.7	19.3	7.0

※無回答 6

		巡回連 絡、防犯・ 交通安全 教室等の 開催	市町村の 防災無線	地上デジ タルテレビ のデータ 放送	各種雑 誌・情報 紙	街頭など での電光 掲示板、 大型液晶 モニター	各種イベ ント会場に おける広 報	特にな い	その他
年齢	20～29歳	16.0	12.8	19.9	19.9	14.7	11.5	1.3	1.3
	30～39歳	18.1	15.5	16.1	17.1	12.4	10.4	0.5	1.0
	40～49歳	14.9	16.8	18.0	9.9	11.8	8.1	3.7	1.2
	50～59歳	18.0	16.4	12.6	10.9	10.9	11.5	4.4	1.1
	60～69歳	17.9	16.4	11.4	13.4	10.9	9.0	3.5	0.5
	70歳以上	16.6	11.2	11.8	7.0	11.2	7.5	2.1	0.5

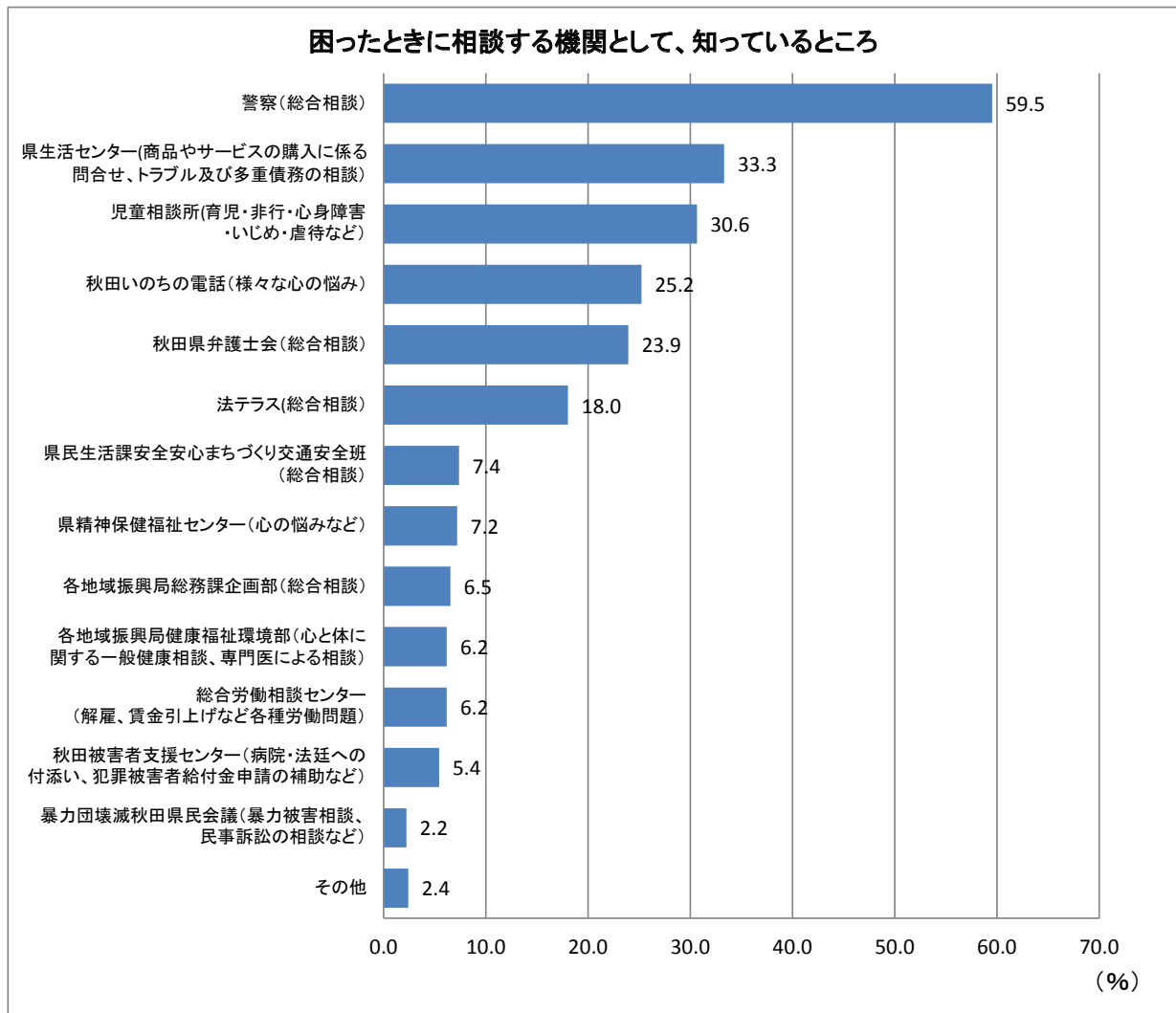
□問 20 あなたが困ったときに相談する機関として、知っているところはどこですか。

(○はいくつでも)

(1) 全体

「警察（総合相談）」が 59.5%で、他の項目を引き離して知っている割合が高い。続いて、「県生活センター（商品やサービスの購入に係る問合せ、トラブル及び多重債務の相談）」、「児童相談所（育児・非行・心身障害・いじめ・虐待など）」が 30%台である。これらに続いて、「秋田いのちの電話（様々な心の悩み）」、「秋田県弁護士会（総合相談）」が 20%台、「法テラス（総合相談）」が 18.0%となっている。

上記以外の「県民生活課安全安心まちづくり交通安全班（総合相談）」などの機関は、知っている割合が 10%以下と低い。



(2) 性別、年齢別

回答者の属性別にみると、男女別では、「秋田いのちの電話」、「児童相談所」は女性が男性より知っている割合が8ポイント以上高く、「県生活センター」は女性が男性よりも4.7ポイント高い。

年齢別では、「警察」、「法テラス」は年齢が若いほど知っている割合が高い傾向がある。「県生活センター」は40代以上が30%を超え、30代以下の年代に比べて知っている割合が高い。「児童相談所」は20代～40代が30%を超え、50代以上の年代より割合が高い。「秋田いのちの電話」は、30代～50代が30%を超え、他の年代に比べて割合が高い。

困ったときに相談する機関として、知っているところ(複数回答)

(単位: 件、%)

	合計	警察(総合相談)	県生活センター(商品やサービスの購入に係る問合せ、トラブル及び多重債務の相談)	児童相談所(育児・非行・心身障害・いじめ・虐待など)	秋田いのちの電話(様々な心の悩み)	秋田県弁護士会(総合相談)	法テラス(総合相談)	県民生活課安全安心まちづくり交通安全班(総合相談)
全体	1,087	59.5	33.3	30.6	25.2	23.9	18.0	7.4
性別								
男性	464	58.0	30.8	26.5	19.0	25.0	17.0	8.6
女性	518	59.7	35.5	34.6	32.4	22.8	19.9	6.2

※無回答 105

	県精神保健福祉センター(心の悩みなど)	各地域振興局総務課企画部(総合相談)	各地域振興局健康福祉環境部(心と体に関する一般健康相談、専門医による相談)	総合労働相談センター(解雇、賃金引上げなど各種労働問題)	秋田被害者支援センター(病院・法廷への付添い、犯罪被害者給付金申請の補助など)	暴力団壊滅秋田県民会議(暴力被害相談、民事訴訟の相談など)	その他
全体	7.2	6.5	6.2	6.2	5.4	2.2	2.4
性別							
男性	6.5	8.2	6.5	9.3	6.3	3.4	2.6
女性	7.5	4.6	6.4	4.1	4.8	1.5	2.3

(単位: 件、%)

	合計	警察(総合相談)	県生活センター(商品やサービスの購入に係る問合せ、トラブル及び多重債務の相談)	児童相談所(育児・非行・心身障害・いじめ・虐待など)	秋田いのちの電話(様々な心の悩み)	秋田県弁護士会(総合相談)	法テラス(総合相談)	県民生活課安全安心まちづくり交通安全班(総合相談)
年齢								
20～29歳	156	71.2	19.9	30.8	18.6	23.7	25.0	3.2
30～39歳	193	64.8	29.5	37.3	32.1	23.8	22.8	6.2
40～49歳	161	61.5	37.3	41.0	31.1	28.6	22.4	2.5
50～59歳	183	58.5	42.6	29.0	31.7	23.0	19.1	8.2
60～69歳	201	51.2	36.8	25.9	22.4	23.4	12.9	9.5
70歳以上	187	53.5	32.6	21.4	15.5	21.4	8.0	12.8

※無回答 6

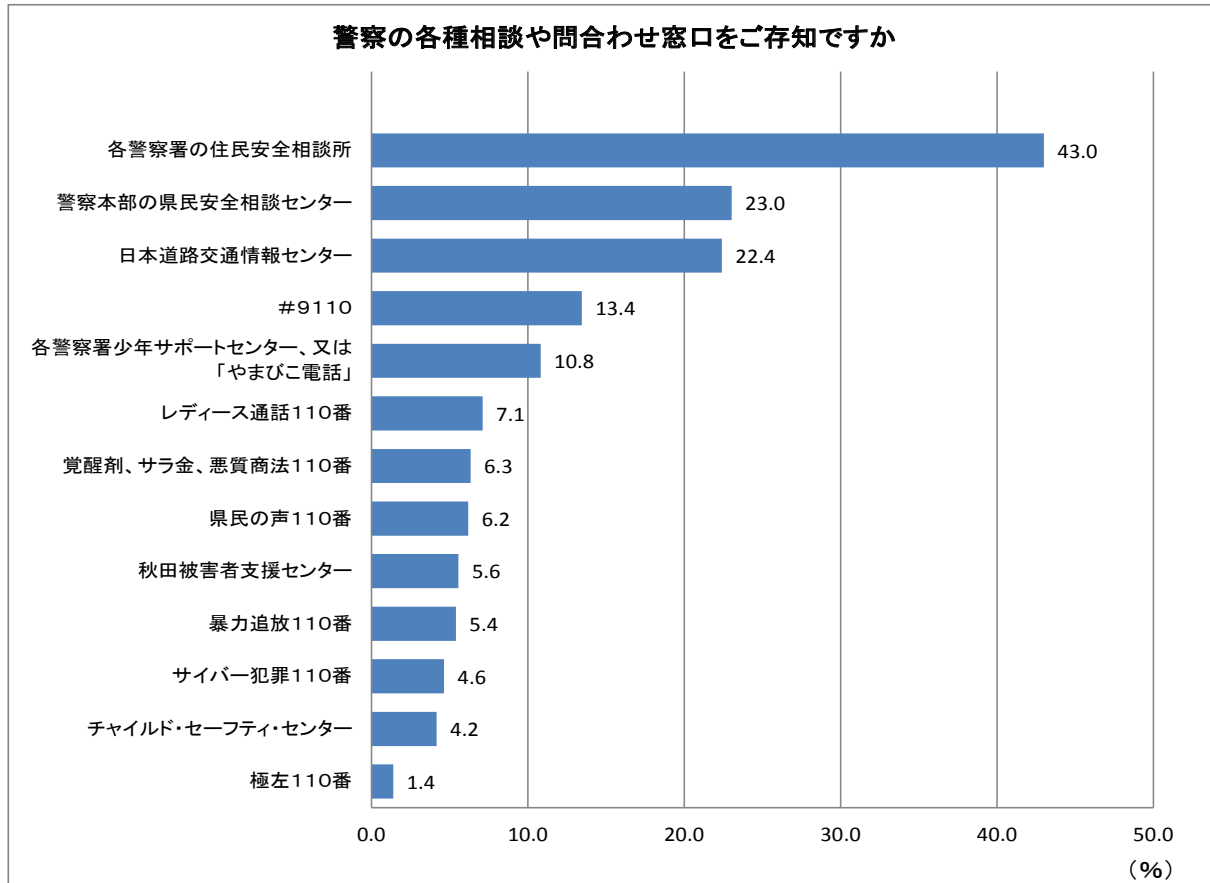
	県精神保健福祉センター(心の悩みなど)	各地域振興局総務課企画部(総合相談)	各地域振興局健康福祉環境部(心と体に関する一般健康相談、専門医による相談)	総合労働相談センター(解雇、賃金引上げなど各種労働問題)	秋田被害者支援センター(病院・法廷への付添い、犯罪被害者給付金申請の補助など)	暴力団壊滅秋田県民会議(暴力被害相談、民事訴訟の相談など)	その他
年齢							
20～29歳	4.5	6.4	3.8	3.8	5.1	0.0	1.9
30～39歳	9.3	5.2	6.2	4.7	4.7	0.5	2.6
40～49歳	9.9	5.6	3.7	5.6	4.3	1.9	0.6
50～59歳	6.0	4.4	5.5	8.2	2.2	1.6	3.8
60～69歳	7.5	9.5	7.0	9.5	7.0	3.5	2.0
70歳以上	5.3	8.0	10.2	4.3	9.1	5.3	3.2

□問 21 (問 20 で「1 警察」と答えた方だけにお聞きします)

警察の各種相談や問合せ窓口をご存知ですか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「各警察署の住民安全相談所」が 43.0%で最も割合が高い。続いて「警察本部の県民安全相談センター」、「日本道路交通情報センター」が 20%台となっている。

回答者の属性別にみると、男女別では、「各警察署の住民安全相談所」、「警察本部の県民安全相談センター」は男性が女性よりも 8 ポイント以上割合が高い。年齢別では、「各警察署の住民安全相談所」は 60 代以上が 50%を超え、他の年代よりも割合が高い。



(単位:件、%)

	合計	各警察署の住民安全相談所	警察本部の県民安全相談センター	日本道路交通情報センター	#9110	各警察署少年サポートセンター、又は「やまびこ電話」	レディース通話110番	覚醒剤、サラ金、悪質商法110番	県民の声110番	秋田被害者支援センター	暴力追放110番	サイバー犯罪110番	チャイルド・セーフティ・センター	極左110番	
全体	647	43.0	23.0	22.4	13.4	10.8	7.1	6.3	6.2	5.6	5.4	4.6	4.2	1.4	
性別	男性	269	48.0	27.5	24.2	17.8	10.0	3.3	10.0	5.6	6.3	8.2	5.9	4.1	1.1
	女性	309	35.0	19.1	20.1	11.7	10.7	9.7	3.9	7.1	4.2	3.2	3.2	3.2	1.3

※無回答 69

年齢	20~29歳	111	38.7	25.2	16.2	9.0	4.5	10.8	1.8	5.4	2.7	2.7	5.4	3.6	0.9
	30~39歳	125	34.4	22.4	29.6	16.8	8.8	12.8	4.0	5.6	8.0	5.6	5.6	6.4	0.8
40~49歳	99	32.3	23.2	23.2	11.1	11.1	3.0	4.0	4.0	6.1	6.1	6.1	6.1	1.0	
50~59歳	107	43.9	23.4	24.3	19.6	15.0	3.7	5.6	4.7	4.7	8.4	2.8	3.7	0.9	
60~69歳	103	53.4	24.3	22.3	15.5	18.4	6.8	12.6	8.7	4.9	2.9	2.9	2.9	2.9	
70歳以上	100	56.0	20.0	17.0	8.0	7.0	3.0	11.0	8.0	7.0	7.0	4.0	2.0	2.0	

※無回答 2

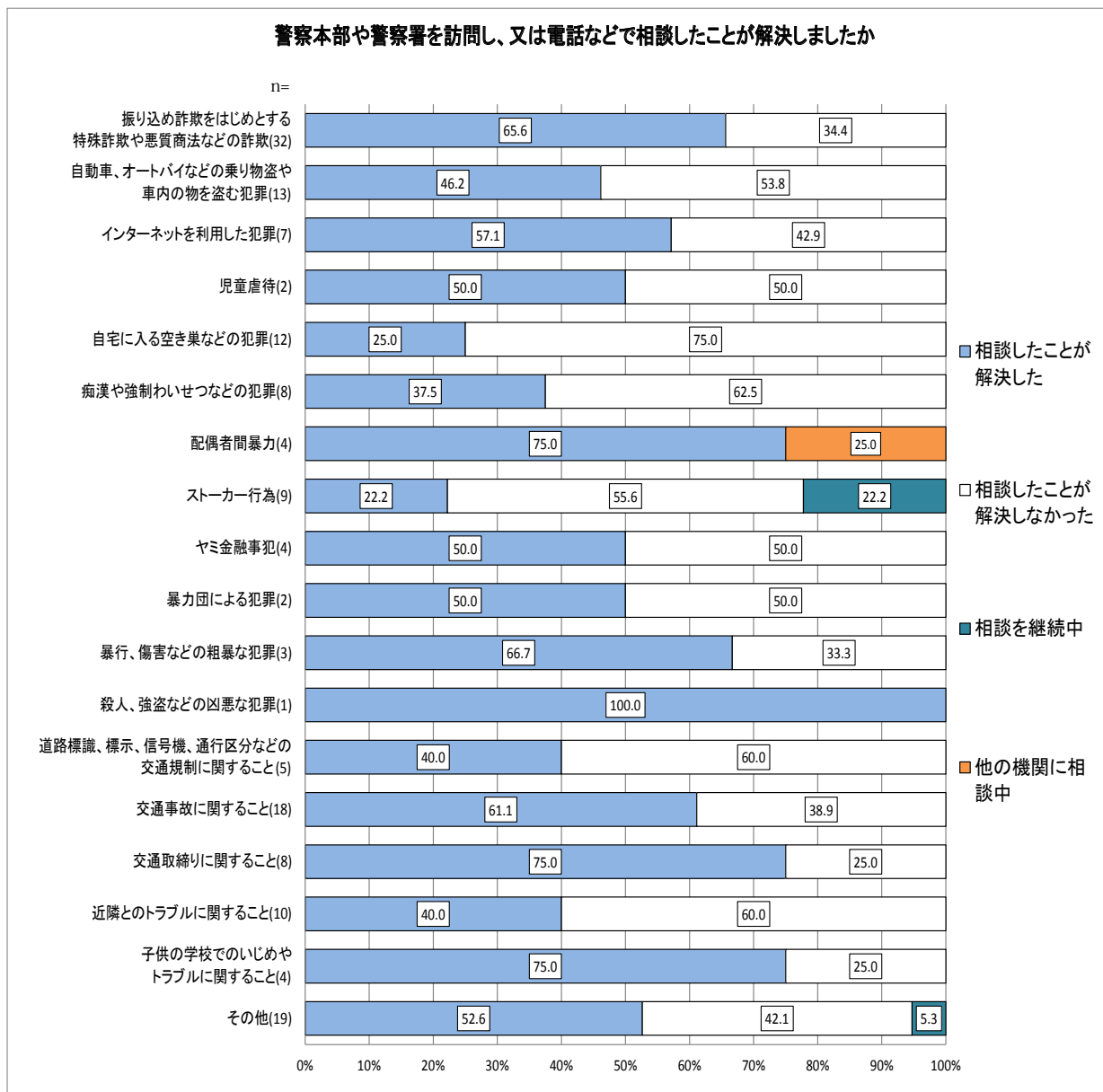
□問 22 (警察に相談したことがある方だけにお聞きします)

警察本部や警察署(交番・駐在所を含む)を訪問し、又は電話などで相談したことが解決しましたか。

回答者の人数が10人超の項目で解決した割合が高いものは、「振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺や悪質商法などの詐欺」65.6%、「交通事故に関する事」61.1%である。

解決した割合が40%以下のものは、「ストーカー行為」22.2%、「自宅に入る空き巣などの犯罪」25.0%、「痴漢や強制わいせつなどの犯罪」37.5%、「道路標識、標示、信号機、通行区分などの交通規制に関する事」、「近隣とのトラブルに関する事」40.0%である。

回答者の人数が1人～8人と少ないものの解決した割合が高いのは、「殺人・強盗などの凶悪な犯罪」の100%、「配偶者間暴力」、「交通取締りに関する事」、「子供の学校でのいじめやトラブルに関する事」の75.0%、「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」の66.7%である。

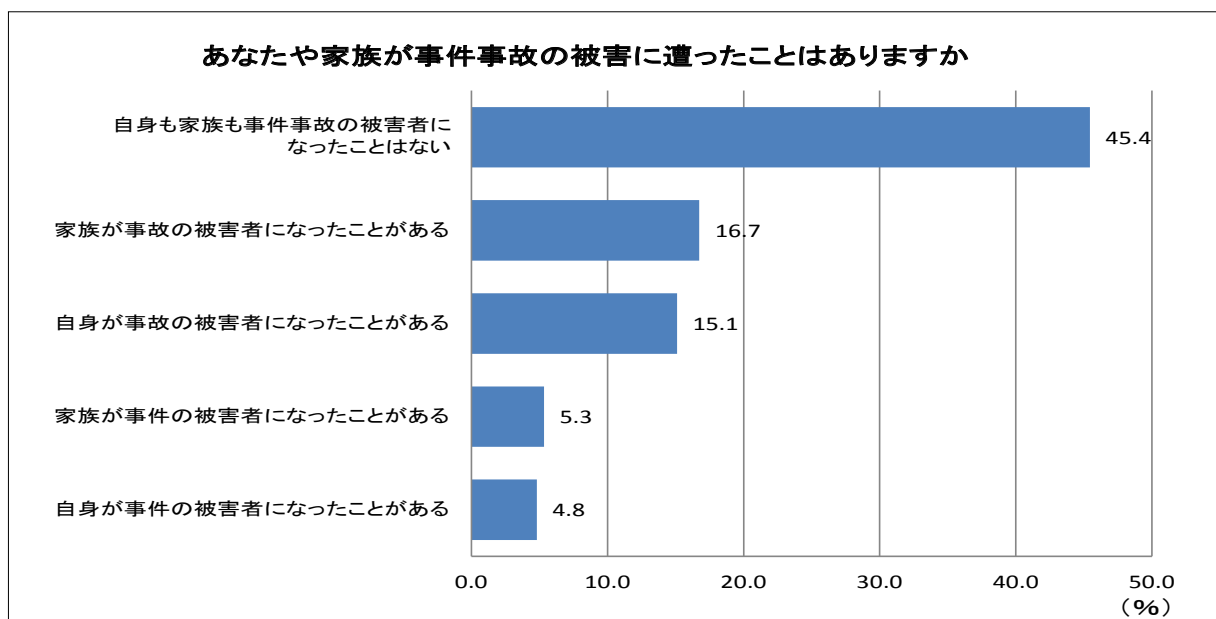


5 犯罪被害者支援について

□問 23 あなたや家族が事件事故の被害に遭ったことはありますか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「自身も家族も事件事故の被害者になったことはない」が45.4%で最も多い。続いて「家族が事故の被害者になったことがある」、「自身が事故の被害者になったことがある」が10%台、「家族が事件の被害者になったことがある」、「自身が事件の被害者になったことがある」は10%以下である。

回答者の属性別にみると、男女別ではあまり大きな違いはない。年齢別では、「自身も家族も事件事故の被害者になったことはない」は年齢が高いほど割合が高い傾向がある。



(単位: 件、%)

		合計	自身も家族も事件事故の被害者になったことはない	家族が事故の被害者になったことがある	自身が事故の被害者になったことがある	家族が事件の被害者になったことがある	自身が事件の被害者になったことがある
全体		1,087	45.4	16.7	15.1	5.3	4.8
性別	男性	464	50.0	16.8	17.0	6.7	4.5
	女性	518	50.6	20.1	16.0	5.2	5.8

※無回答 105

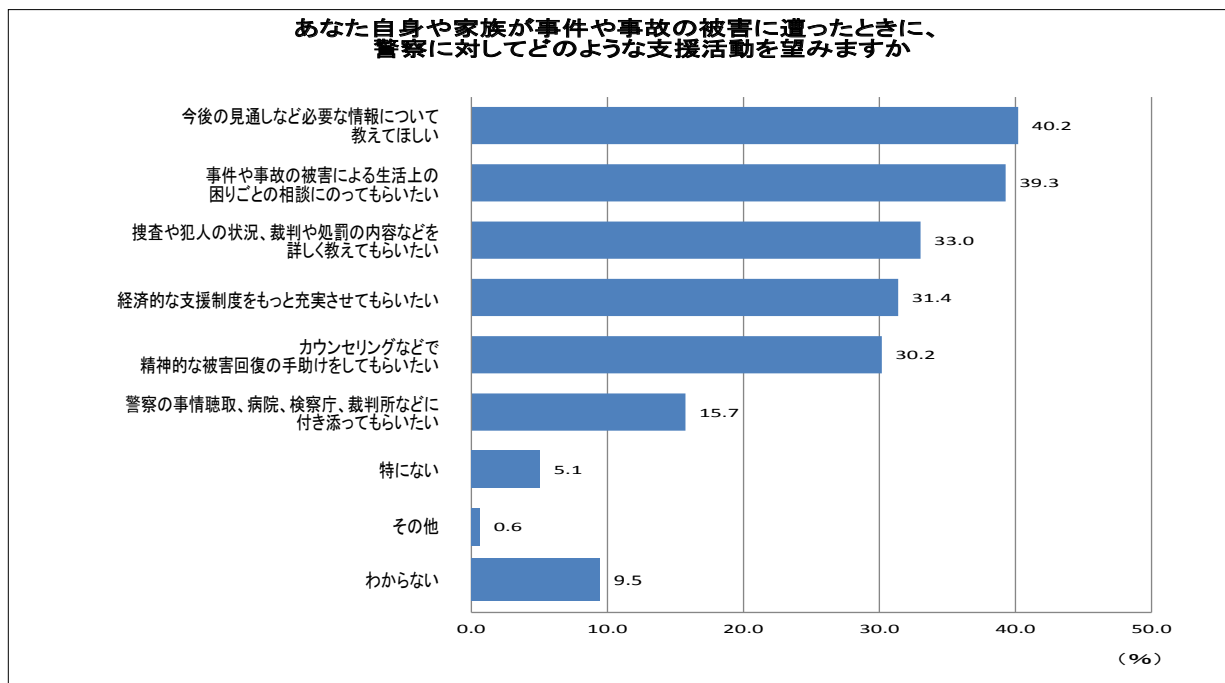
年齢			合計	自身も家族も事件事故の被害者になったことはない	家族が事故の被害者になったことがある	自身が事故の被害者になったことがある	家族が事件の被害者になったことがある	自身が事件の被害者になったことがある
		20～29歳	156	41.0	17.9	13.5	3.8	3.8
	30～39歳	193	43.0	13.5	13.0	5.2	4.7	
	40～49歳	161	44.7	22.4	21.7	5.6	7.5	
	50～59歳	183	46.4	18.6	18.6	8.7	8.2	
	60～69歳	201	46.3	17.4	11.4	4.0	2.0	
	70歳以上	187	51.9	12.3	12.8	4.8	3.2	

※無回答 6

□問 24 警察では、犯罪被害者などが直面する経済的、精神的な負担を少しでも軽減するため、診断書や診察料などを公費で負担したり、心配事の相談にのるなどの支援活動を行っています。もしあなた自身や家族が事件や事故の被害に遭ったときに、警察に対してどのような支援活動を望みますか。(〇はいくつでも)

全体では「今後の見通しなど必要な情報について教えてほしい」、「事件や事故の被害による生活上の困りごとの相談にのってもらいたい」、「捜査や犯人の状況、裁判や処罰の内容などを詳しく教えてほしい」、「経済的な支援制度をもっと充実させてもらいたい」、「カウンセリングなどで精神的な被害回復の手助けをしてもらいたい」が30%以上である。

回答者の属性別にみると、男女別では、「事件や事故の被害による生活上の困りごとの相談にのってもらいたい」、「カウンセリングなどで精神的な被害回復の手助けをしてもらいたい」は女性が男性より6ポイント以上高い。年齢別では、「捜査や犯人の状況、裁判や処罰の内容などを詳しく教えてほしい」は30代～50代が30%を超え他の年代より高い。



(単位:件、%)

	合計	今後の見通しなど必要な情報について教えてほしい	事件や事故の被害による生活上の困りごとの相談にのってもらいたい	捜査や犯人の状況、裁判や処罰の内容などを詳しく教えてほしい	経済的な支援制度をもっと充実させてもらいたい	カウンセリングなどで精神的な被害回復の手助けをしてもらいたい	警察の事情聴取、病院、検察庁、裁判所などに付き添ってもらいたい	特にない	その他	わからない	
全体	1,087	40.2	39.3	33.0	31.4	30.2	15.7	5.1	0.6	9.5	
性別	男性	464	43.5	34.7	35.6	34.9	27.6	16.6	6.5	0.2	9.5
	女性	518	45.2	42.9	33.8	33.4	34.4	17.0	4.8	1.2	11.4

※無回答 105

年齢	20～29歳	156	32.7	38.5	26.9	35.3	37.2	17.3	3.2	0.6	6.4
	30～39歳	193	34.2	43.5	37.3	38.9	34.2	16.6	0.5	0.5	7.3
	40～49歳	161	47.8	37.9	39.1	38.5	30.4	24.2	2.5	0.6	8.7
	50～59歳	183	47.5	47.5	41.5	32.2	35.5	17.5	4.4	0.5	9.3
	60～69歳	201	42.8	38.8	29.4	26.4	28.4	10.9	7.0	0.5	10.9
	70歳以上	187	36.9	29.9	24.6	19.3	16.6	9.1	12.3	1.1	13.9

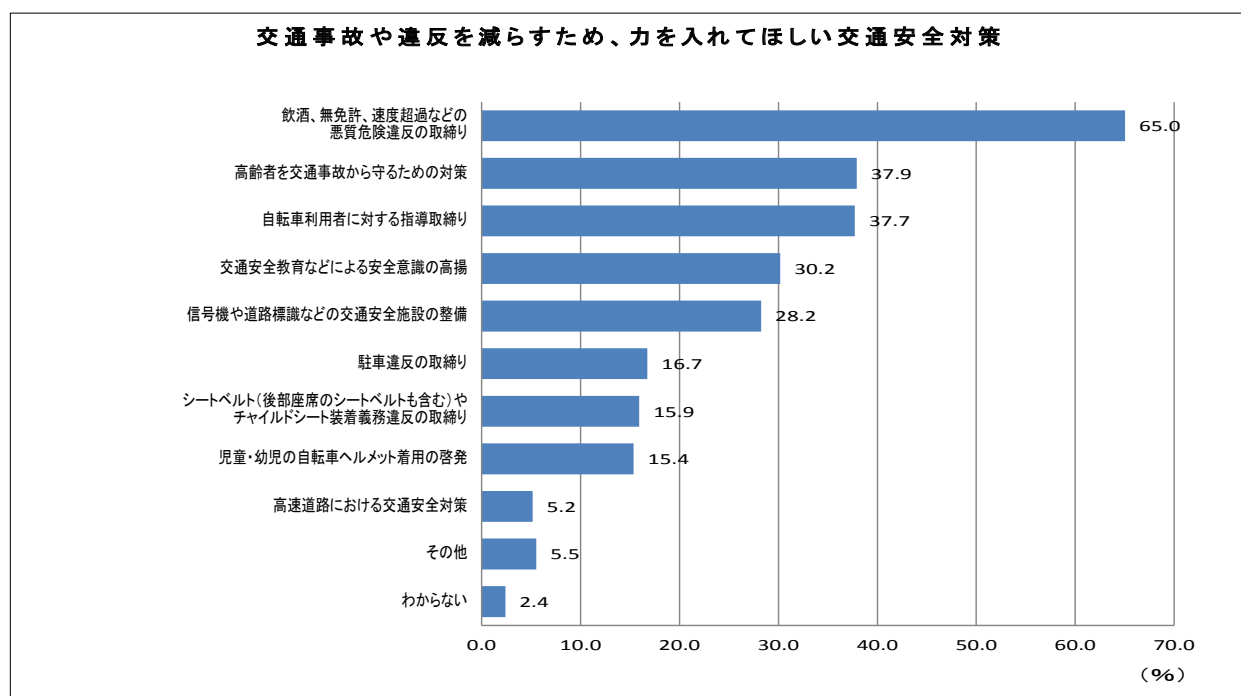
※無回答 6

6 交通安全対策について

□問 25 あなたが、交通事故や違反を減らすために、警察に特に力を入れてほしいと思うのは、どのような交通安全対策ですか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「飲酒、無免許、速度超過などの悪質危険違反の取締り」が65.0%と最も高く、「高齢者を交通事故から守るための対策」、「自転車利用者に対する指導取締り」、「交通安全教育などによる安全意識の高揚」が30%を超える。

回答者の属性別にみると、「信号機や道路標識などの交通安全施設の整備」は男性が女性より12.6ポイント高く、「飲酒、無免許、速度超過などの悪質危険違反の取締り」は女性が男性より8.0ポイント高い。年齢別では、「飲酒、無免許、速度超過などの悪質危険違反の取締り」、「高齢者を交通事故から守るための対策」は年齢が高いほど割合が高い傾向がある。



(単位:件、%)

	合計	飲酒、無免許、速度超過などの悪質危険違反の取締り	高齢者を交通事故から守るための対策	自転車利用者に対する指導取締り	交通安全教育などによる安全意識の高揚	信号機や道路標識などの交通安全施設の整備	駐車違反の取締り	シートベルト(後部座席のシートベルトも含む)やチャイルドシート装着義務違反の取締り	児童・幼児の自転車ヘルメット着用の啓発	高速道路における交通安全対策	その他	わからない	
全体	1,087	65.0	37.9	37.7	30.2	28.2	16.7	15.9	15.4	5.2	5.5	2.4	
性別	男性	464	64.4	43.1	39.7	29.7	37.3	15.7	16.4	11.0	6.3	7.1	1.9
	女性	518	72.4	40.7	35.9	26.1	24.7	15.6	14.3	13.9	4.4	5.2	3.3

※無回答 105

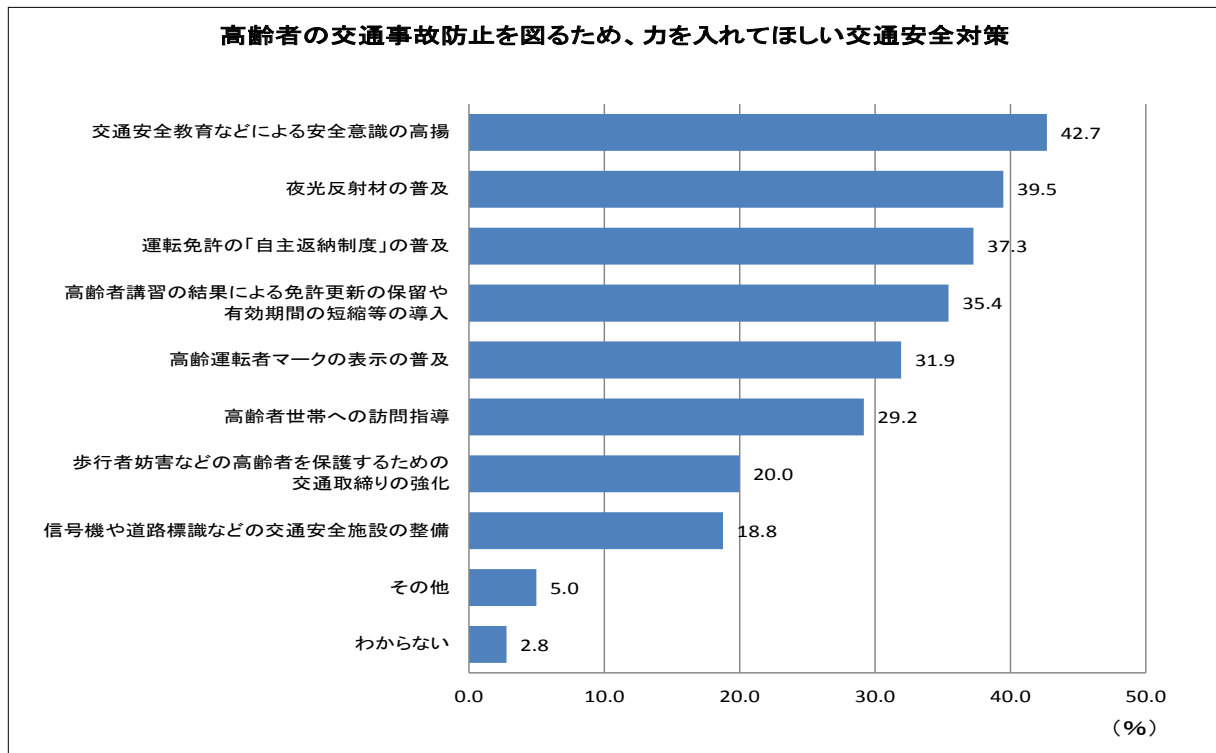
年齢	合計	飲酒、無免許、速度超過などの悪質危険違反の取締り	高齢者を交通事故から守るための対策	自転車利用者に対する指導取締り	交通安全教育などによる安全意識の高揚	信号機や道路標識などの交通安全施設の整備	駐車違反の取締り	シートベルト(後部座席のシートベルトも含む)やチャイルドシート装着義務違反の取締り	児童・幼児の自転車ヘルメット着用の啓発	高速道路における交通安全対策	その他	わからない
20~29歳	156	57.7	35.3	37.2	34.0	26.3	24.4	18.6	21.8	6.4	1.3	0.6
30~39歳	193	59.1	29.0	33.2	33.2	22.3	18.1	18.1	24.4	6.7	5.7	1.6
40~49歳	161	64.6	37.3	36.0	26.7	29.8	13.7	14.3	13.7	2.5	9.3	3.1
50~59歳	183	66.7	41.0	41.5	30.6	30.1	14.2	13.1	10.4	4.4	9.3	3.8
60~69歳	201	67.7	41.8	37.3	30.3	32.3	14.4	15.4	13.9	6.5	5.0	2.5
70歳以上	187	73.3	43.9	40.6	26.2	28.3	16.6	16.0	9.1	4.3	2.7	2.7

※無回答 6

□問 26 あなたが、高齢者の交通事故防止を図るため、警察に特に力を入れてほしいと思うのは、どのような交通安全対策ですか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「交通安全教育などによる安全意識の高揚」が42.7%で最も高く、「夜光反射材の普及」、「運転免許の『自主返納制度』の普及」、「高齢者講習の結果による免許更新の保留や有効期間の短縮等の導入」、「高齢運転者マークの表示の普及」が30%を超える。

回答者の属性別では、男女別では、「交通安全教育などによる安全意識の高揚」は男性が女性より7.7ポイント高い。年齢別では、「運転免許の『自主返納制度』の普及」は30代～50代が40%を超え、「高齢運転者マークの表示の普及」は20代～40代が30%超と高い。



(単位:件、%)

	合計	交通安全教育などによる安全意識の高揚	夜光反射材の普及	運転免許の「自主返納制度」の普及	高齢者講習の結果による免許更新の保留や有効期間の短縮等の導入	高齢運転者マークの表示の普及	高齢者世帯への訪問指導	歩行者妨害などの高齢者を保護するための交通取締りの強化	信号機や道路標識などの交通安全施設の整備	その他	わからない
全体	1,087	42.7	39.5	37.3	35.4	31.9	29.2	20.0	18.8	5.0	2.8
性別											
男性	464	43.8	38.1	38.4	36.4	29.5	32.3	19.6	18.8	2.6	2.6
女性	518	36.1	44.0	40.0	40.3	31.9	29.7	17.6	13.9	1.2	2.7

※無回答 105

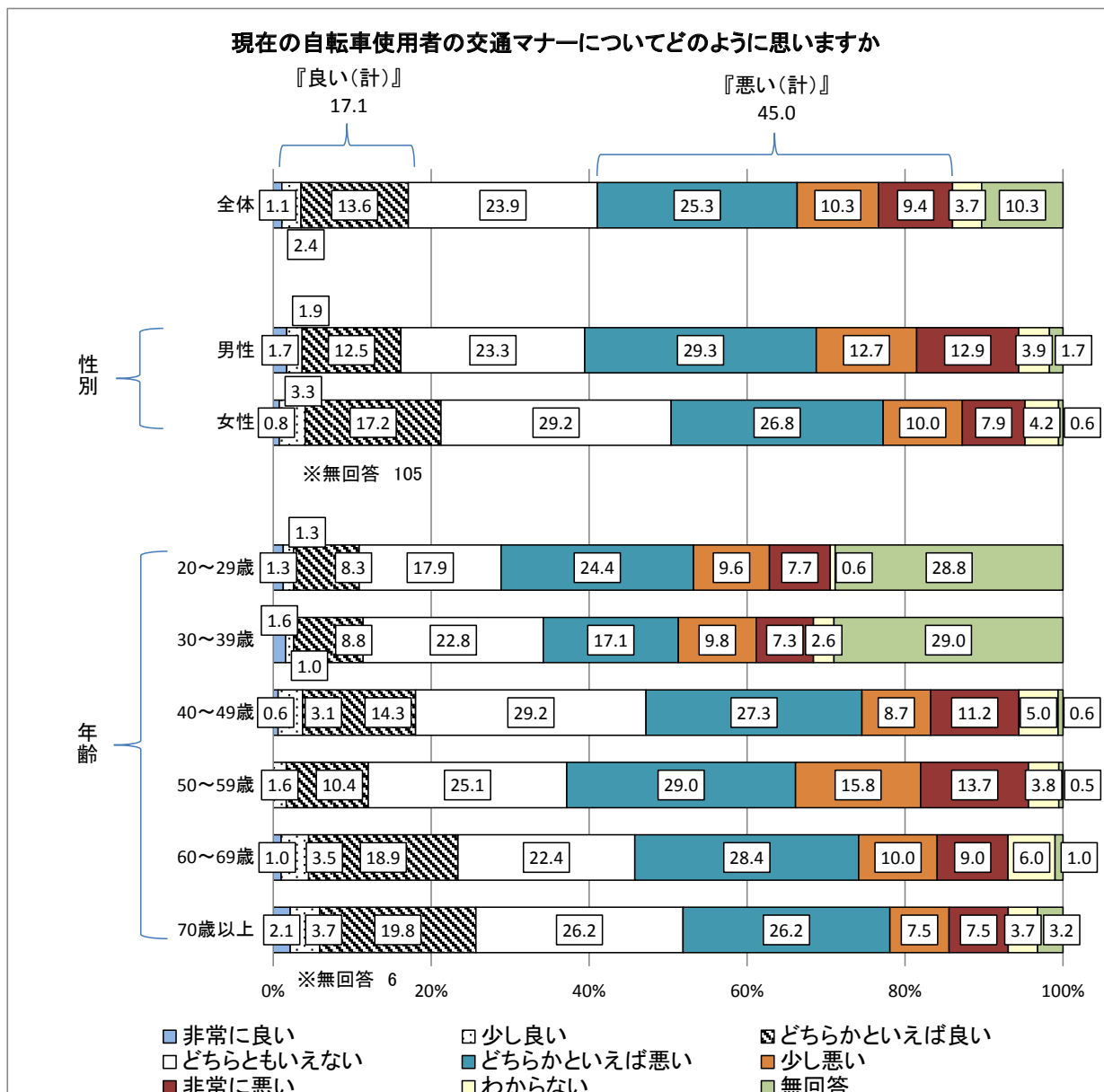
年齢	合計	交通安全教育などによる安全意識の高揚	夜光反射材の普及	運転免許の「自主返納制度」の普及	高齢者講習の結果による免許更新の保留や有効期間の短縮等の導入	高齢運転者マークの表示の普及	高齢者世帯への訪問指導	歩行者妨害などの高齢者を保護するための交通取締りの強化	信号機や道路標識などの交通安全施設の整備	その他	わからない
20～29歳	156	48.7	41.0	32.7	25.6	37.8	28.8	26.3	26.3	11.5	2.6
30～39歳	193	52.8	35.8	45.6	34.7	37.3	31.1	26.4	22.8	13.0	1.6
40～49歳	161	27.3	41.6	46.6	43.5	37.9	33.5	15.5	13.7	1.9	3.1
50～59歳	183	45.9	41.5	46.4	45.4	27.9	30.1	13.1	13.7	1.1	2.2
60～69歳	201	41.3	40.8	33.8	39.3	25.9	29.9	17.9	15.4	1.0	4.5
70歳以上	187	39.0	36.9	18.2	23.0	26.7	22.5	21.4	21.9	2.1	2.7

※無回答 6

□問 27 あなたは、現在の自転車使用者の交通マナーについてどのように思いますか。

回答者全体では、「非常に良い」、「少し良い」、「どちらかといえば良い」の合計（以下、「良い（計）」と表記）は 17.1%、「非常に悪い」、「少し悪い」、「どちらかといえば悪い」の合計（以下、「悪い（計）」と表記）は、45.0%と悪いと感じている人の方が多い。

回答者を属性別にみると、男女別では、「悪い（計）」は男性が女性を 10.2 ポイント上回り、「良い（計）」は女性が男性を 5.0 ポイント上回る。年齢別では、各年代とも「悪い（計）」が「良い（計）」を 10 ポイント以上上回り、特に 50 代は「悪い（計）」の割合が 58.5%と高い。一方、70 歳以上は「良い（計）」が 25.7%で年齢別で最も高い。

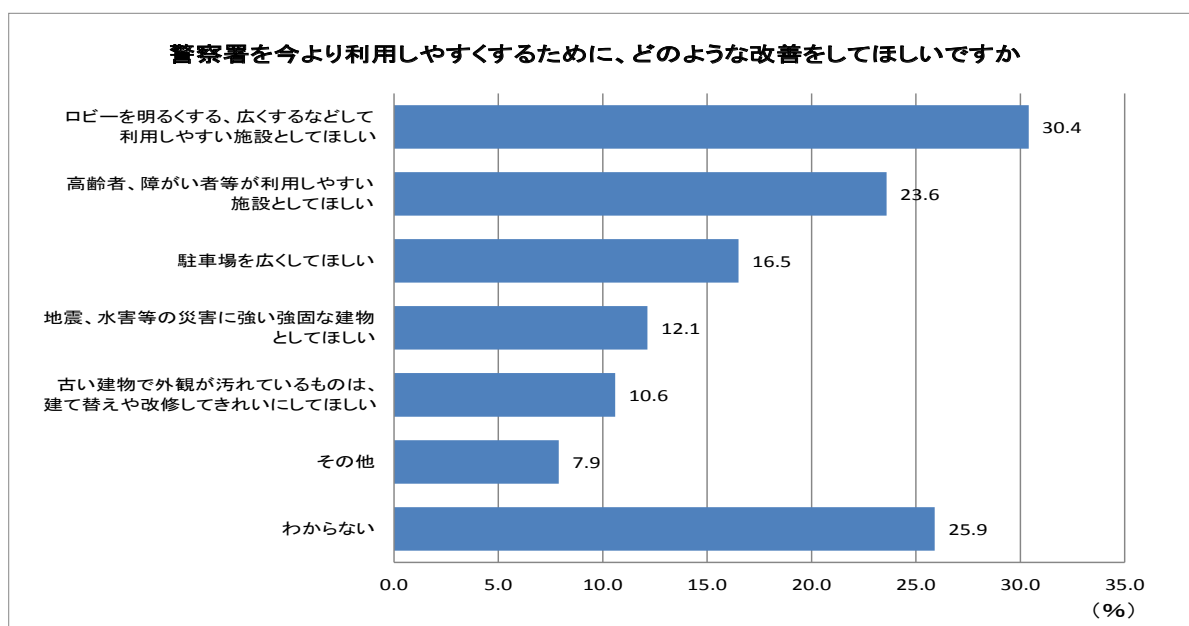


7 警察の施設について

□問 28 あなたは、警察署を今より利用しやすくするために、どのような改善をしてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「ロビーを明るくする、広くするなどして利用しやすい施設としてほしい」が30.4%で最も高い。続いて、「高齢者、障がい者等が利用しやすい施設としてほしい」が23.6%である。

回答者の属性別にみると、男女別では、「駐車場を広くしてほしい」は男性が女性より7.9ポイント高い。年齢別では、「高齢者、障がい者等が利用しやすい施設としてほしい」は50代以上が40代以下に比べて高く、「駐車場を広くしてほしい」は50代、60代が高い。



		合計	ロビーを明るくする、広くするなどして利用しやすい施設としてほしい	高齢者、障がい者等が利用しやすい施設としてほしい	駐車場を広くしてほしい	地震、水害等の災害に強い強固な建物としてほしい	古い建物で外観が汚れているものは、建て替えや改修してきれいにしてほしい	その他	わからない
全体		1,087	30.4	23.6	16.5	12.1	10.6	7.9	25.9
性別	男性	464	33.6	24.8	22.0	12.5	9.9	8.6	22.4
	女性	518	28.4	24.3	14.1	14.1	8.3	7.3	30.5

※無回答 105

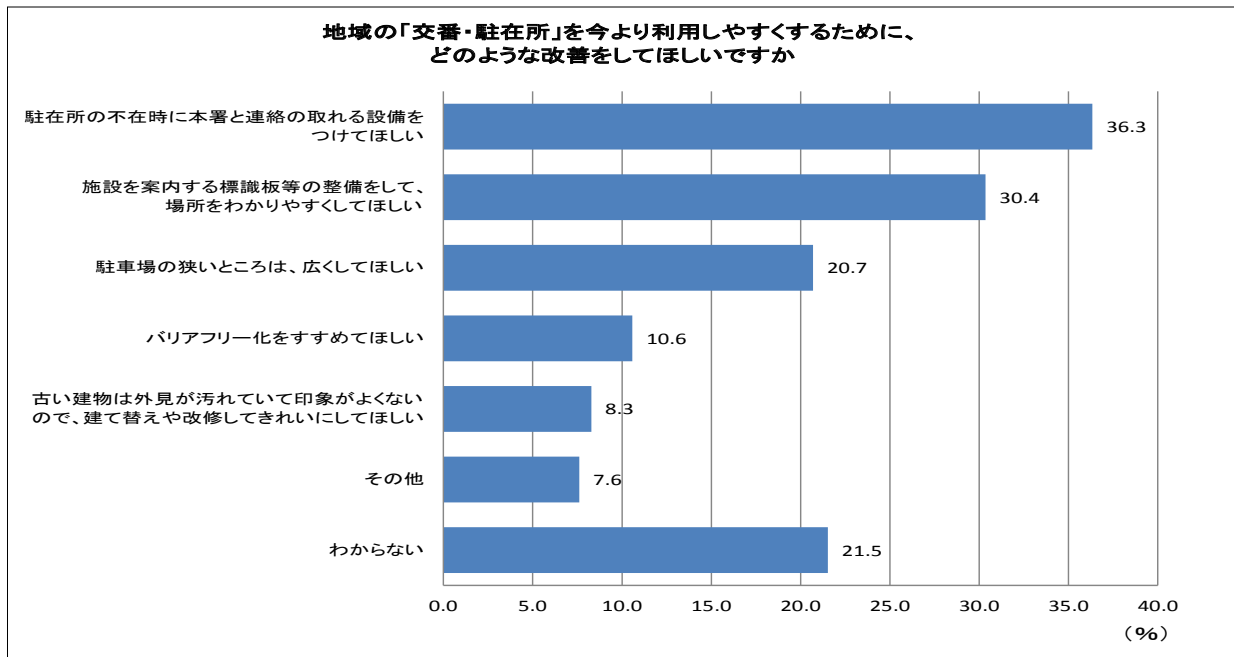
年齢	20～29歳	156	35.3	20.5	9.6	15.4	19.9	7.7	28.2
	30～39歳	193	30.6	19.2	10.4	13.0	14.0	8.8	25.4
	40～49歳	161	31.1	16.8	16.1	9.3	9.3	9.9	31.7
	50～59歳	183	32.8	23.0	23.0	12.0	6.0	10.4	19.7
	60～69歳	201	30.3	27.9	24.4	10.9	7.5	7.0	26.4
	70歳以上	187	23.5	33.2	13.9	12.3	8.0	4.3	25.1

※無回答 6

□問 29 あなたは、地域の「交番・駐在所」を今より利用しやすくするために、どのような改善をしてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者全体では、「駐在所の不在時に本署と連絡の取れる設備をつけてほしい」、「施設を案内する標識板等の整備をして、場所をわかりやすくしてほしい」が30%を超え、続いて「駐車場の狭いところは、広くしてほしい」が20.7%である。

回答者の属性別にみると、男女別では、「駐車場の狭いところは、広くしてほしい」は男性が女性より5.8ポイント高い。年齢別では、「駐在所の不在時に本署と連絡の取れる設備をつけてほしい」は40代、50代が高く、「施設を案内する標識板等の整備をして、場所をわかりやすくしてほしい」は60代以上が30%を超え高い。



(単位:件、%)

		合計	駐在所の不在時に本署と連絡の取れる設備をつけてほしい	施設を案内する標識板等の整備をして、場所をわかりやすくしてほしい	駐車場の狭いところは、広くしてほしい	バリアフリー化をすすめてほしい	古い建物は外見が汚れていて印象がよくないので、建て替えや改修してきれいにしてほしい	その他	わからない
全体		1,087	36.3	30.4	20.7	10.6	8.3	7.6	21.5
性別	男性	464	39.0	33.6	24.1	8.0	9.9	9.5	16.4
	女性	518	36.3	30.5	18.3	8.9	6.8	5.8	26.3

※無回答 105

年齢	20～29歳	156	29.5	26.9	22.4	16.7	11.5	7.7	23.7
	30～39歳	193	34.7	25.9	18.1	15.5	5.2	10.9	23.8
	40～49歳	161	43.5	29.8	18.0	6.2	8.1	8.1	18.6
	50～59歳	183	43.7	28.4	23.5	6.0	7.1	7.1	21.9
	60～69歳	201	34.8	35.8	24.4	9.5	10.4	6.5	19.9
	70歳以上	187	32.1	34.2	18.2	10.2	8.0	5.9	21.4

※無回答 6